

1820迄 (2692件)

1811年-08:00|インドネシア| |||<就任>ハンテン摂政「Pangeran Ahmad」(~1813年)  
1811年-08:00|インドネシア| |||<即位>スマタラ君主「Sultan Paku Nataningrat」(~1854年)  
1811年-08:00|インドネシア| |||<即位>ティール・スルタン「Muhammad Tahir」(~1821年)  
1811年-08:00|インドネシア| |||<即位>リアウリンガ・スルタン「Abdul Rahman」(~1832年)  
1811年-07:00|ラオス| |||<死去>チャンパ・サク王「ファイナ」  
1811年-07:00|タイ| |||<就任>ソクラ知事(プーラ・ウイセトファクティ)「ティエンジ・オン・ナ・ソクラ」(~1817年)  
1811年-07:00|ラオス| |||<即位>チャンパ・サク王「ノムオン」(3日数)⇒「チャノウ」(1813年没)  
1811年-07:00|ラオス/タイ| |||チャンパ・サクをタイが占領(~1813年)  
1811年-06:00|プータン| |||<就任>プータン摂政「イェー・ギヤルツェン」(~1815年)  
1811年-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「ステ・インファ・チャンド・ランタシハ・ナレンドラ」(1回目~1818年)  
1811年-05:30|インド| |||<就任>コダグ国ラジャ「リンガ・ラジャ2世ウダ・イヤル」(~1820年)  
1811年-05:30|インド| |||<就任>ジャムカントイ国統治者(ラオ)「ゴパール・ラオ・ラムチャンドラ・ラオ」(~18401118没)  
1811年-05:30|インド| |||<就任>ビジャワール国ラジャ「ラタン・シン」(~18331217没)  
1811年-05:30|インド| |||<設立>ジャムカントイ国  
1811年-05:30|インド| |||チャンドリ国はグワリエルに併合(1830年からはハンゾールとして知られる)  
1811年-05:30|インド/ネーデル| |||ハッシャル国をネーデルが占領(~1815年)  
1811年-05:30|インド| |||マサ国、ラサン国はインドのサバル・カンタ(1933年までマヒ・カンタ)準管轄州の一部(~1948年12月)  
1811年-05:00|パキスタン| |||<就任>カイルプール国ミール「ロスタム・アリ・カーン」(~18421220)  
1811年-04:00|ロシア| |||アケティはロシア宗主権下  
1811年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムテッサリフ「リド・ヴァン・アカ」(~1812年)  
1811年-03:00|ウガンダ| |||<即位>ソレ王国国王「Kayungu」⇒摂政「Rwanga」⇒「Gasyonga1世」(~1839年死去)  
1811年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレク・ワリス(総督)「Shemli Raghil Mehmed Pasha」(~1813年)  
1811年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>カメツィ・ポートルスキー軍総督兼ポドリア、ウホルニ行政区域民事主席管理者「Nikolay Alekseyevich Tuchkov」(~1812年死去)  
1811年-01:00|クロアチア/フランス| |||<就任>クロアチア民政・軍政執事(カルシュタット)「フランソワ・ジョセフ・フェルディナント・マルシャル」(~18130826)  
1811年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザール・スルタン「ユスフ・アル・ムッカニ(篡奪者)」(~1831年)  
1811年 00:00|セネガル/イギリス| |||<就任>イギリス領セネガル総督「チャールズ・ウィリアム・マッカーシー」(~1814年)  
1811年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン「アブー・バクル・アムハウス」(ベルベル人の指導者、中央アトラスで反乱~1816年)  
1811年 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サラメント新植民地スパン軍司令官「Venancio Benavidez」(~5. 27)  
1811年 04:00|英領ヴァージン諸島| |||<就任>ヴァージン諸島主席「Richard Hetherington」(~18210808死去)  
1811年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルティス島軍司令官「Juan Rosello」(~1828年死去)  
1811年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ボリビア聴問庁長官「トミンゴ・トリスタン・モスコ」(~1813年)  
1811年 04:00|ボリビア/ペルー| |||ボトシ、ラパスはペルーに併合  
1811年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ植民地総督「フランシスコ・サン・マセト」(~1812年)  
1811年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ファン・ハウティスタ・デ・ラス・カサス」(~同年)  
1811年1月-07:00|カンボジア| |||<就任>カンボジア摂政「アン・エム」(~1812年)  
1811年1月 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ総督「Francisco Javier de Elio」(2期目~11. 18)  
1811年1月 04:00|ボリビア/アルゼンチン| |||ラパスをアルゼンチンが占領(~7月)  
1811年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合評議会議長「ハインリッヒ・ダニエル・バルタサル・ヨーゼフ・グーリム・フォン・ワルテンフェルス」(~12. 31)  
1811年1月1日-01:00|ドイツ/フランス| |||エムス・エンタルをフランスの県として編入  
1811年1月9日 06:00|アメリカ| |||ニュー・オーリンズ近郊で大規模な奴隷の反乱  
1811年1月12日-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・パハン・リアウ・リンガ(ジョホール帝国)スルタン「マフムト3世シャー・アラム・イブニ・アル=マルフム・スルタン・アブドゥル・ジャリル・シャー」  
1811年1月12日-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・リアウ王国スルタン「アブドゥル・ラーマン・ムアッザム・シャー・イブニ・アル=マルフム・スルタン・マフムト・シャー」(~18190206)  
1811年1月17日-01:00|スペイン/メキシコ| |||イタスコ軍、ふたたびメキシコ市にむけて進出/カルデロン橋でスペイン軍を破る  
1811年1月17日-09:00|日本|広島県広島市|文化7年12月23日|佐伯郡草津村出火、272軒(319竈)焼失  
1811年1月19日 03:00|アルゼンチン/ボリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督(名目上)「フランシスコ・サビエル・デ・エリオ」(~18160709)  
1811年1月22日-01:00|セルビア| |||<就任>革命セルビア管理評議会会長「カラジヨルジェ・ペトロビッチ」(~18131003)  
1811年1月22日-01:00|フランス| |||ナポレオンが、カルデノルをフランス帝国に併合  
1811年1月25日-09:00|日本| ||文化8年|天文方に蛸所書和解掛が設置される  
1811年1月25日-09:00|日本| ||文化8年1月|<出版>烏亭焉馬編(勝川春亭の挿画)「花江都歌舞妓年代記」江戸歌舞伎の歴史をまとめたもの  
1811年1月25日-09:00|日本| ||文化8年1月|<出版>歌川国貞「客者評判記」  
1811年1月25日-09:00|日本| ||文化8年1月|<出版>勝川春扇「下界頭会」  
1811年2月-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>アンボン島イギリス総督「ウィリアム・Byam Martin」(~18170325)  
1811年2月 03:00|アルゼンチン| |||ラプラタ副王ペドロ・モンテビデオの要塞にこもりフンタにに宣戦布告  
1811年2月2日 06:00|アメリカ/イギリス| |||アメリカ、イギリスとの通商断絶を再開  
1811年2月4日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>リフレッシュメント島所有者「ジョン・ランバート」(~18120517死去)

1820迄 (2692件)

1811年2月4日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||トリスタン・クーニャ島はリフレッシュメント島に名前を変更  
1811年2月6日-09:00|日本|香川県丸亀市|文化8年1月13日|<死去>讃岐丸亀藩51512石「京極高中」(58歳)⇒3月9日、四男「京極高朗」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年3月7日、隠居)  
1811年2月8日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|文化8年1月15日|<死去>北条氏昉(52歳)前河内狭山藩主  
1811年2月9日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの天文学者マシュー・カスリン/78歳(誕生17321006)ケリニッジ天文台長  
1811年2月10日-01:00|セルビア/ロシア/トルコ| |||ロシア軍がベオグラードを占領  
1811年2月11日-01:00|ドイツ| |||離脱ライオン同盟:アレクセル公国  
1811年2月11日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官代行「マヌエル・カブレロ」(~1812年)  
1811年2月11日-09:00|日本|京都府京都市|文化8年1月18日|<死去>蘭学者稲村三伯(54)  
1811年2月17日-09:00|日本|東京都台東区|文化8年1月24日|浅草茅町より出火、裏河岸柳橋万八楼迄焼く  
1811年2月20日-01:00|オーストリア| |||オーストリア政府が、大陸封鎖令による経済投機とインフレで国内経済が悪化したため、国庫の破産を宣言  
1811年2月20日 05:00|エクトル/スペイン| |||モントゥファルの率いる朴軍、パレト・ヌの闘いでスペイン軍を撃破  
1811年2月23日-09:00|日本| |||文化8年2月|<刊行>オランダ通詞、本木正栄「諸厄利亜言語和解」  
1811年2月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・嘉慶16年2月|黄海道・谷山で民乱  
1811年2月23日-09:00|日本| |||文化8年2月|銭屋五兵衛が日本海岸で廻船業を始める  
1811年2月24日 00:00|イギリス| |||<死去>5代カーティン伯「ジェームズ・ブルデネル」  
1811年2月24日 00:00|イギリス| |||<就任>6代カーティン伯「ロバート・ブルデネル」先代の甥(~18370814死去)  
1811年2月25日-09:00|日本|東京都中央区|文化8年2月3日|<大相撲>文化8年2月場所「江戸山王御旅所茅場町薬師」(10日間)優勝:(西関脇)玉垣,7勝1敗2休  
1811年2月26日-05:30|インド| |||<就任>ジュナガド 国支配者(ナワブ)「モハメド・バハドール・ハンジ-2世」(~18400526没)  
1811年2月28日 03:00|ウルク・アイ| |||ホセ・アルティガ스가、ウルク・アイの独立を求めてスペイン軍、ブラジル軍との戦闘を開始  
1811年3月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督「フアン・ホセ・デ・エストラーダ」(~1812. 6)  
1811年3月 07:00|メキシコ/スペイン| |||独立軍、コアウイラ州モンローパで、フェリックス・マリア・ガシエラの率いるスペイン軍の待伏せ攻撃にあい大敗  
1811年3月1日-02:00|エジプト| |||オスマン朝のエジプト総督ムハンマド・アリーが、カイロの城砦で多くの有力マムルーク(奴隷軍人)を虐殺  
1811年3月2日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア連合総会議長「Felipe Fermin Paul」(~28日)  
1811年3月3日 06:00|アメリカ| |||アメリカ, 第1合衆国銀行閉鎖  
1811年3月5日 06:00|日本|東京都|文化8年2月11日|<江戸市ヶ谷文化8年谷町の大火>申上刻(15時ごろ)市ヶ谷谷町から出火、四谷御門外の堀端の家々が一面全焼し、青山から赤坂溜池、麻布谷町、同市兵衛町、芝から赤羽橋あたりまで焼け、増上寺境内の宿坊を焼いて鎮火/500人死亡、2万軒焼失  
1811年3月7日-09:00|日本|東京都|文化8年2月13日|<死去>村田春海(66歳)国学者、歌人  
1811年3月9日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領代行「ジャン・クリストム・アンペール(財務長官)」(1回目~10日)  
1811年3月10日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「アレクサンドル・サハ・ペション」(2回目~18150309)  
1811年3月13日-01:00|アラブ/イギリス| |||イギリスがリッサを占領  
1811年3月14日 00:00|イギリス| |||<死去>3代グラフトン公「オーガスタス・ヘンリー・フィッツロイ」  
1811年3月14日 00:00|イギリス| |||<就任>4代グラフトン公「ジョージ・ヘンリー・フィッツロイ」(~18440928死去)  
1811年3月14日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ホセ・デ・グスタマン・イ・ゲラ」(~18180328)  
1811年3月17日-08:00|台湾| |||(~18日)台湾で地震/M6.8~7.5、死者21人  
1811年3月19日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン総督代行「ジョン・ウィルソン」(1回目~18120311)  
1811年3月22日-05:00|パキスタン| |||<就任>バハワルプル国対立ワール「サフザダ・フタヤル・カーン」(~同年没)  
1811年3月24日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>クンティナマル州の憲法上大統領および国王を代表する副摂政「ホセ・デ・オサナ」(~9. 29)  
1811年3月24日-09:00|日本| |||文化8年閏2月|猪股伝次左衛門が英語研究書「諸厄利亜語和解(あんげりあごわげ)」第2巻を脱稿/続いて第3巻を岩瀬弥十郎が奉行所に提出  
1811年3月25日-01:00|フランス| |||フランスのフロジェルグが彗星C/1811F1(フロジェルグ大彗星)発見  
1811年3月27日-05:30|インド/イギリス| |||ビジャワール国はイギリス保護領  
1811年3月27日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公代行「イワン・ステパノビッチ・グリエフ」(~18120417)  
1811年3月27日-01:00|デンマーク/イギリス| |||アンホルト島のイギリス軍守備隊がデンマークの侵攻を撃退  
1811年3月28日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア連合最高行政機関「最初の三頭政治:Jose Cristobal Hurtado de Mendoza y Montilla/Juan de Escalona y Ruiz de Arguinzones/Baltasar Padron」(~18120403)  
1811年3月28日 05:00|ハイチ| |||<即位>ハイチ王国国王「アンリ1世」建国(~18201008)  
1811年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マリア・ベルツィ」「マリノ・ベルトーニ」  
1811年4月1日-01:00|オーストリア| |||オーストリアの民法典が制定される  
1811年4月3日-03:00|ベラルーシ/ロシア| |||<就任>ベラルーシのロシア軍総督兼ビテブスキ県・モギリョフ県民事行政長官「ゲルツォーク・アレクサンドル・グエンベルグスキー」(1回目~1812年)  
1811年4月4日 05:00|コロンビア| |||ホセ・レオンによって追放された国王フェルナンド7世を名目上支持するクンティナマル州地方軍事政権が、副王を追放し、地方統治を確立(パナマとサンティアゴはスペインに忠誠を続ける)  
1811年4月4日-09:00|日本|福井県福井市|文化8年閏2月12日|福井城下で火事、侍屋敷足軽家86軒・町家267軒など

1820迄 (2692件)

焼失

- 1811年4月5日 00:00|カナリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カナリヤ諸島総司令官「Pedro Rodriguez de la Buria」(~1820年)
- 1811年4月9日-04:00|モリスヤス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリスヤス総督・最高司令官代行「ヘンリー・ウォーデ」(~18110712)
- 1811年4月10日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ラズ・アーメド・パシャ」(~18120905)
- 1811年4月16日-01:00|ドイツ| |||ドイツ人女性、ヴァルヘルミネ・ライヒルトが、ドイツ人女性として最初に気球で飛行
- 1811年4月23日-09:00|日本| ||文化8年3月|<刊行>間宮林蔵, 北方地理誌「東鞆地方紀行」
- 1811年4月23日-09:00|日本| ||文化8年3月|<刊行>鳥亭(立川) 焉馬「花江都歌舞妓年代記」
- 1811年4月23日-09:00|日本|東京都中央区|文化8年3月|<初演>「越後獅子」三代目中村歌右衛門, 「違櫻千爾波七文字」の一つ、中村座
- 1811年4月25日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事代行「ヘクター・ウィリアム・マンロ」(~18130614)
- 1811年4月26日-04:00|レユニオン/イギリス| |||<就任>ブルボン島知事「Robert Townsend Farquhar」イギリス(2期目~7. 10)
- 1811年4月28日-09:00|日本|東京都中央区|文化8年3月6日|「七枚続花の姿絵」, 三代目坂東三津五郎, こうかれ坊主<初演>、[詞・桜田治助、曲・岸沢古式部、振・藤間勘十郎]の一つ、市村座
- 1811年5月1日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ロバート・ホーンス」(~6. 30)
- 1811年5月4日 00:00|イギリス| |||<死去>5代ジャフツベリ伯「アントニー・アシュリー＝クーパー」
- 1811年5月4日 00:00|イギリス| |||<就任>6代ジャフツベリ伯「クロレ・アシュリー＝クーパー」(~18510602死去)
- 1811年5月6日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ 総督代行「エイブラハム・チャールズ・アディ」(5回目~18120505)
- 1811年5月7日-09:00|日本|東京都中央区|文化8年3月15日|「遅桜手爾波七文字」初演, <越後獅子>[詞・篠田金治、曲・九代目杵屋六左衛門、振・市山七十郎]<傾城、座頭、相模、業平、橋弁慶、朱鐘馗>中村座
- 1811年5月10日 00:00|イギリス| |||経済危機のため、イギリス政府が紙幣を流通通貨と認める
- 1811年5月11日-09:00|日本|京都府舞鶴市|文化8年3月19日|<死去>牧野宣成(47歳)前丹後田辺藩主
- 1811年5月13日 03:00|ブラジル| |||リオに王立図書館が創設される
- 1811年5月13日 04:00|フォークランド/スペイン| |||スペインがフォークランド 諸島から撤退
- 1811年5月14日 04:00|パラグアイ| |||アスンシオン 独立派、ブエノスアイレスからの自治を求め蜂起
- 1811年5月16日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ 領東インド 総督「Jan Willem Janssens」(~9. 18)
- 1811年5月16日-01:00|スペイン/フランス/イギリス| |||ウェリントン子爵のイギリス軍が、スペインのアルプエでフランス軍の進撃を阻止
- 1811年5月16日 06:00|アメリカ/イギリス| |||ジョン・ロジャースの率いるアメリカ軍が、ヴァージニアでイギリス軍船団を破る
- 1811年5月18日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||ラス・ピエドラスのたたかい、アルティガスの軍がスペイン軍を撃破
- 1811年5月21日-09:00|日本|福島県いわき市|文化8年3月29日|<死去>内藤政業(30歳)前前陸奥湯長谷藩主
- 1811年5月25日-09:00|日本|千葉県佐倉市|文化8年4月4日|<死去>下総佐倉藩11万石「堀田正時」(51歳)⇒甥「堀田正愛」が継ぐ(⇒文政7(1824)年12月28日、死去)
- 1811年5月27日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サクラメント新植民地スペイン軍司令官「Francisco Albin」(~1812. 9)
- 1811年6月-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>ワラキアのディウァンのロシア副大統領(モルダヴィアの大統領に従属)「イワン・イワノヴィッチ・シュツァー」(~11月)
- 1811年6月-01:00|クロアチア/フランス| |||<就任>クロアチアのフランス執事(カルシュタット)「コンタデス伯爵マリー・マリー」(~1811年)
- 1811年6月 04:00|マルティニーク/イギリス| |||<就任>フランス領マルティニーク暫定総司令官「Sir Charles Wale」(⇒18120221総司令官~1814. 7)
- 1811年6月2日-04:00|セイシェル/イギリス| |||<就任>イギリス領セイシェル長官代行「バートロミュー・サバナン」(~1812年)
- 1811年6月2日-04:00|セイシェル/イギリス/モリスヤス| |||<制定>イギリス領セイシェル諸島(モリスヤスの一部)
- 1811年6月3日 00:00|イギリス| |||<死去>初代カーナヴァン伯「ヘンリー・ハーバート」
- 1811年6月3日 00:00|イギリス| |||<就任>2代カーナヴァン伯「ヘンリー・ジョージ・ハーバート」先代の息子(~18330416死去)
- 1811年6月4日-01:00|ドイツ| |||<初演>カール・マリア・フリードリヒ・エルンスト・フォン・ヴェーバー《歌劇「アブ・ハッサン」》
- 1811年6月9日-01:00|イタリア/フランス| |||ナポレオン1世の子(ナポレオン2世)が「ローマ王」となる
- 1811年6月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>バーテン大公「カール・フリードリヒ」
- 1811年6月10日-01:00|ドイツ| |||<即位>バーテン大公「カール」(~18181208死去)
- 1811年6月11日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||アシュモア礁は、営巣艦ハイバーニア号上で英国人サミュエル・アシュモア船長によって発見された
- 1811年6月11日-01:00|スペイン/パラグアイ| |||パラグアイ、トゥクマンの闘いに勝利し、ブエノスアイレスからの独立を宣言
- 1811年6月11日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|文化8年4月21日|<交替>下野宇都宮藩77000石「戸田忠翰」隠居⇒次男「戸田忠延」が継ぐ(⇒文政6(1823)年2月26日、死去)
- 1811年6月13日-01:00|ドイツ| |||<初演>カール・マリア・フリードリヒ・エルンスト・フォン・ヴェーバー《クラリネット協奏曲第1番へ短調》
- 1811年6月16日-09:00|日本| ||文化8年4月26日|<死去>狂歌師、千種恒海(51歳)
- 1811年6月17日-09:00|日本| ||文化8年4月27日|<死去>奥田穎川(59歳)陶工
- 1811年6月18日 04:00|キューソー/イギリス| |||<就任>キューソー 知事「John Hodgson」(~18140915)
- 1811年6月20日 04:00|パラグアイ| |||<就任>パラグアイ上級理事会議長「上級理事会: フルベンシオ・イグナシオ・フランコ・デ・トレス(議長)/ホセ・ガスパール・ロドリゲス・デ・フランシア・イ・ベラスコ/フランシスコ・ヒエル・ボガリン・ビジャマヨール(18110902まで)/ペドロ・ファン・カバジェロ・ガルシア/フェルナント・デ・ラ・モラ・イ・デル・カサ(18130918まで)」(~18131012)
- 1811年6月21日-09:00|日本| ||文化8年5月|<刊行>式亭三馬, 滑稽本「浮世床」初編
- 1811年6月21日-09:00|日本| ||文化8年5月|<出版>西村中和「紀伊国名所図会」初編
- 1811年6月21日-09:00|日本| ||文化8年5月|<出版>大阪の浮世絵師春好斎「三勝櫛赤根色指」

1820迄 (2692件)

1811年6月21日-09:00|日本|東京大学|文化8年5月|蛮書和解御用掛設立/フランスの家庭百科事典のラナンダ語からの重訳「厚生新編」の翻訳を開始  
1811年6月21日-09:00|日本|東京都台東区|文化8年5月|幕府が谷中感応寺の博愛の一種である影富を禁止  
1811年6月26日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領ジャマイカ総督代行「エドワード・モリソン」(~18130613)  
1811年6月28日-01:00|スペイン/フランス| |||フランス軍が、スペインのタラゴナのイギリス軍要塞を攻略  
1811年7月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「アントニオ・カルドソ・デ・フィゲイロ・エ・メロ」(2回目)  
1811年7月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「モンテ・エレラ」(~12月)  
1811年7月1日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「チャールズ・ウィリアム・マクスウェル」(~18140712)  
1811年7月4日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督・司令官「ファン・アントニオ・オハジエ(国民議会議長)」(~20日)  
1811年7月5日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事代行「ヘンリー・ジョージ・グレイ」(2度目~9.5)  
1811年7月5日 04:30|ペルー/イギリス| |||ペルー共和国、諸都市の連合会議をひらき独立宣言/合衆国憲法を真似た憲法を制定  
1811年7月7日-09:00|日本| ||文化8年5月17日|<死去>桂宮盛仁親王(2歳)皇族  
1811年7月10日-04:00|レニオン/イギリス| |||<就任>ブルボン島知事「Henry Sheehy Keating」イギリス(2期目~18150405)  
1811年7月14日-09:00|日本|新潟県|文化8年5月24日|越後国岩船郡、北蒲原郡で打ち壊しが起こる  
1811年7月20日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督・司令官「マート・カルボ・デ・エンカラダ・レバレン(国民議会議長)」(~8.11)  
1811年7月20日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|文化8年6月|横須賀藩、文武学校(のち修道館と命名)を設立  
1811年7月20日-09:00|日本|東京都墨田区|文化8年6月|江戸本所の旗本速水甚五郎、61年に一度しか調合不可能な妙薬「大難勝利散」を販売  
1811年7月21日-09:00|日本| ||文化8年6月2日|<死去>竹村尚規(31歳)歌人  
1811年7月21日-09:00|日本|三重県四日市市|文化8年6月2日|<死去>加納久周(61歳)前伊勢八田藩主  
1811年7月23日-09:00|日本/ロシア|北海道|文化8年6月4日|松前奉行支配調役、ロシア人コロニンら八名を国後島で逮捕  
1811年7月27日 00:00|イギリス| |||<死去>タウンゼント侯・レスター伯「ジョージ・タウンゼント」  
1811年7月27日 00:00|イギリス| |||<就任>タウンゼント侯・レスター伯「ジョージ・フェラス・タウンゼント」(~18551231死去)  
1811年7月29日 00:00|イギリス| |||<死去>5代デヴオンシャー公「ウィリアム・キャウエンデ・イツシュ」  
1811年7月29日 00:00|イギリス| |||<就任>6代デヴオンシャー公「ウィリアム・ジョージ・スペンサー・キャウエンデ・イツシュ」先代の息子(~18580118死去)  
1811年7月30日 07:00|メキシコ/スペイン| |||メキシコ独立運動指導者ミゲル・イダルゴがスペイン植民地政府異端審問所で異教徒、反逆者の判決を受け、銃殺隊によって処刑  
1811年7月31日-09:00|日本| ||文化8年6月12日|<死去>2代黒沢琴古(65歳)尺八奏者  
1811年8月-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Robert Rollo Gillespie」(~9月)  
1811年8月4日-08:00|インドネシア/イギリス| |||イギリス軍がジャワ島のバタヴィアを無抵抗の状態で制圧  
1811年8月6日-01:00|スペイン| |||オランダのゲイス議会議会(コルリス)内において自由主義者が優勢となり、領有裁判権、封建的特権、人格的隷属などを廃棄する決議  
1811年8月8日-08:00|インドネシア/イギリス| |||イギリスはバタヴィアを占領  
1811年8月9日-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>イギリス東インド会社副総督「Hugh Rollo Gillespie」(~9月)  
1811年8月11日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督・司令官「第2政府理事会(暫定執行機関):マルティン・カルボ・デ・エンカラダ・レバレン(1回目)(軍事フタ大統領)/ファン・ホセ・アルドゥナ・テ・ラライン/ファン・ミゲル・ベナベンテ・プスタマン/フランシスコ・ハビエル・デル・ソラル・プーガ」(~18110904)  
1811年8月11日-09:00|日本|滋賀県野洲市|文化8年6月23日|<交替>近江三上藩1万石「遠藤胤富」隠居⇒婿養子「遠藤胤統」が継ぐ(⇒文久3(1863)年10月7日、隠居)  
1811年8月14日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||パラグアイ、副王のインテンデント(県令)を放逐し、スペインからの独立を宣言  
1811年8月18日-02:00|ラトビア| |||<就任>ケルラント総督代行「ヤコブ・マクシミリアン・フォン・ブリスコーン」(2回目~9.12)  
1811年8月19日-09:00|日本| ||文化8年7月|この頃より西北北斗の上大尊と太陽守の間に彗星が出現  
1811年8月19日-09:00|日本|東京都中央区|文化8年7月|<初演>歌舞伎「玉藻前尾花錦絵」市村座  
1811年8月19日-08:00|中国| ||清・嘉慶16年7月|清が西洋人の無許可居住と中国人のカトリック信仰を禁止  
1811年8月22日-09:00|日本|東京都|文化8年7月4日|<死去>画人、晁有輝  
1811年8月24日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|文化8年7月6日|<死去>秋田長季(36歳)前陸奥三春藩主  
1811年8月26日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>ブエノスアイレス自治評議会(プリメラ・フンタ)「ドミンゴ・マテウ」(~18110922)  
1811年8月26日-09:00|日本| ||文化8年7月8日|<死去>栗田土満(75歳)国学者、歌人  
1811年8月31日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ジェームズ・コックハート卿」(1期目~18120704)  
1811年9月-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>イギリス東インド会社副総督「トマス・Stamford Bingley Raffles」(~1816.3)  
1811年9月4日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督・司令官「第3政府理事会(行政法廷):ファン・マルティネス・デ・ロサス・コリア(2回目、軍事フタ大統領)/マルティン・カルボ・エンカラダ(2回目)/ファン・エンリケ・ロサス・フェンテス(2回目)/ファン・マッケナ・オリイリ/ホセ・ガスパル・マリン・イ・エスキベル(1回目)」(~11.16)  
1811年9月4日-09:00|日本|京都府京都市|文化8年7月17日|<死去>呉春(松村月溪)(60歳)絵師  
1811年9月6日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事「ジョン・フランシス・クラドック卿」(~18140406)  
1811年9月9日 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領オ州政府委員会議長「ホセ・ホセ・デ・ケロ・イ・カサド」(~1812

1820迄 (2692件)

1108)

- 1811年9月10日-08:00|インドネシア/イギリス| ||イギリスはサランを占領  
1811年9月11日 06:00|アメリカ| ||蒸気船ニュー・オーリンズ号、ミシシッピ川を初めて航行  
1811年9月14日-01:00|ドイツ| ||ロシア暦10月5日|プロクセンで、「農民・貴族関係調整に関する勅令」が出される/封建制  
度の撤廃が狙い  
1811年9月18日-08:00|インドネシア/イギリス| ||イギリスはジャワを占領従属(英国東インド会社支配下~18160819)  
1811年9月18日-01:00|フランス| ||フランス警視總監パスキエにより、「消防隊大隊」が創設され、火災に対する備え強化  
1811年9月18日-09:00|日本| ||文化8年8月|刺青など彫り物禁止令が出されるが、効果なし  
1811年9月20日 04:00|ボリビア/アルゼンチン| ||ポトシをアルゼンチンが占領(~11.25)  
1811年9月22日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ第一連合政府代表「ファン・ホセ・パッリ」(~18120323)、「フェリシアノ  
・チカラナ、マヌエル・デ・サラテア」(~18121008)  
1811年9月22日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文化8年8月5日|<交替>大和国郡山藩15万1200石「柳沢保光」隠居  
⇒次男「柳沢保泰」が継ぐ(⇒天保9年5月25日(18380716)、死去)  
1811年9月23日-02:00|ラトヴィア| ||<就任>ケールラント総督「フリードリヒ・ヴィルヘルム・グラーフ・フォン・シーヴァース」(18120720~12月リガ  
亡命~1816年1月)  
1811年9月23日 03:00|アルゼンチン/ボリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ連合州上級臨時政府議  
長「フェリシアノ・アントニオ・チカラ・ヒメネス・デ・パス」(~18120323)  
1811年9月23日-09:00|日本| ||文化8年8月6日|<死去>住吉広行(58歳)絵師  
1811年9月27日-08:00|中国| ||中国・四川省、甘孜地震M6.8、死者481人  
1811年9月27日-01:00|モルダヴィア/ロシア/トルコ| ||ロシア軍が、ルスクの戦いでオスマン帝国軍を破る  
1811年9月30日 05:00|コロンビア/スペイン| ||<就任>ヌエバ・グラータ連合名誉大統領「アントニオ・ナリーニョ・イ・アルバレス」(~181308  
31)  
1811年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」「ヒエール・ヴァン・エンツォ・ジ・ヤンニニ」  
1811年10月17日-01:00|ドイツ/ロシア| ||プロクセンとロシアが、フランスに対抗して軍事同盟を結ぶ  
1811年10月18日 00:00|ポルトガル| ||<就任>初代ガイメロ伯「アーサー・ウェルズリー」(⇒1812年トレス・ヴァエドラス侯⇒18121218  
初代ヴァイトリア公~18520914死去)  
1811年10月20日-02:00|フィンランド| ||<就任>フィンランド国務委員会議長(サントペーテルブルク)「グスタフ・マウリッツ・アームフェルト」(~1  
8140819)  
1811年10月21日 06:00|カタラ/イギリス| ||<就任>イギリス領両カタラ総督「ジョージ・フレボースト卿」(~1815年)  
1811年10月26日-01:00|イタリア| ||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「ひどい誤解」》  
1811年10月27日-05:30|インド| ||<死去>インダール国統治者(マハラジャ・ホルカル)「ヤシュwant・ラオ1世・ホルカル」  
1811年11月-05:30|インド| ||<即位>インダール国統治者(マハラジャ・ホルカル)「マルハール・ラオ3世・ホルカル7世」(~18331027没)、摂政  
「マハニ・トウルシー・パイ」(~18171220没)  
1811年11月-02:00|ルーマニア/ロシア| ||<就任>ワラキアのデュークのロシア副大統領(モルダヴィアの大統領に従属)「フリストフォア・マルコ  
ヴァイツ・コムネリ」(~1812年)  
1811年11月2日-02:00|エストニア/ロシア| ||<就任>ロシア領エストニア総督「ハウル・フリードリヒ・アウグスト・グロツェルツォーク・フォン・ホルシュタイン  
=オルデンブルク」(~1816年5月)  
1811年11月5日 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サンサルバドル管理者「ホセ・マリア・ノバトレス・イ・アストウリアス」(~12.3)  
1811年11月5日 06:00|エルサルバドル| ||エルサルバドルで独立派活動家の逮捕をきっかけに蜂起が始まる/サンサルバドル  
の参事会はアルカを大統領に擁立しサンサルバドル独立を宣言  
1811年11月7日 06:00|アメリカ| ||ケンタッキー義勇軍少将ウィリアム・ハリスンがオハイオ河流域のネイティブ・アメリカンを破る/ティペカヌーの  
戦い  
1811年11月8日 03:00|スリナム/オランダ| ||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督代行「ヒンソン・ボーマム」(~181602  
27)  
1811年11月11日 05:00|コロンビア| ||カルタヘナが独立を宣言  
1811年11月13日-01:00|ドイツ| ||ロシア暦10月5日|ドイツのW・ハーシェルがNGC1514に星が誕生しているのを発見/星雲か  
ら星へ成長する仮説をたてる  
1811年11月15日 04:00|チリ| ||カラの兄ファン・ホセ・カラ、砲兵隊をひきいてクーデター/ラインと自由党を放逐  
1811年11月16日 04:00|チリ/スペイン| ||<就任>チリ総督・司令官「第4政府理事会:ホセ・ミゲル・デ・ラ・カラ・ヴァエルト・ウーゴ」(1  
回目)(議長)/ホセ・ガスパル・マリン・イ・エスキベル(2回目)/ペルナルト・オギンズ・リケルメ(1回目)」(~12.2)  
1811年11月16日-09:00|日本| ||文化8年10月|<出版>俊満・辰斎・北馬・北溪・北寿等の挿画「自讃狂歌集」  
1811年11月16日-09:00|日本| ||文化8年10月|<出版>蹄斎北馬「十五番武者合竹馬のたづな」  
1811年11月18日 03:00|ウルグアイ/スペイン| ||<就任>モンテビデオ総督「Gaspar de Vigodet」(2期目~18140623)  
1811年11月28日-01:00|ドイツ| ||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《ピアノ協奏曲第5番変ホ長調Op. 73「皇帝」》  
1811年11月29日 06:00|カラカス/イギリス| ||リバスの住民が蜂起/これに続きグラータのミゲル・ラヨ大佐が反乱/グアテマラ  
のホセ・グスタマン・イ・ゲラ総督は、コスタリカ在留の守備隊を投入し、鎮圧  
1811年12月 03:00|ウルグアイ/スペイン| ||<就任>モンテビデオ総督「リオ・パルト・伯Diogo de Sousa」(~1812.3)  
1811年12月2日 04:00|チリ/スペイン| ||<就任>チリ総督・司令官「ホセ・ミゲル・カラ・イ・ヴァエルト・ウーゴ」(~13日)  
1811年12月3日 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サンサルバドル管理者代行「ホセ・アレハンドロ・デ・アイネサ・イ・カリージョ」(~1  
812年8月)  
1811年12月4日 05:00|エクアドル| ||独立派がアタウエンシアの反対を押し切り、キトで制憲議会開設  
1811年12月5日 00:00|イギリス| ||イギリス国王ジョージ3世の精神異常のため、皇太子のウェールズ公ジョージ(49)が摂政

1820迄 (2692件)

となる

1811年12月11日 05:00|エクトル| ||| 秘の制憲議会、管轄地域全土の「秘国」としての独立を宣言する。同時にフェルトのスペインでの統治再開を求める。臨時政府は「主権的評議会」と呼ばれ、首班にはカルロス・モントゥファルが就任

1811年12月13日 04:00|チリ/スペイン| ||| <就任>チリ総督・司令官「第5、6、7、8政府理事会：ホセ・ミゲル・デ・ラ・カレラ・イ・ウエルタ」(2回目) (18130401~13日)/ホセ・ニコラス・デ・ラ・セルダ・イ・サンティアゴ・コンチャ (18120108~)/カレラ・ケバス (2回目、18121003~12日)/マヌエル・マンゾ・デ・ベラスコ・イ・サンタ・クルス (1回目、18120110~25日)/ホセ・サンティアゴ・ホルタレス・ラライン (1回目、18120125より)/ペドロ・ホセ・プラト・ハラマダ (1回目)」(18130413)

1811年12月13日 06:00|ニカラガ/コスタリカ/スペイン| ||| <就任>レオン総督・代官「ニコラス・ガルシア・ヘルス (上級政治首長)」(1814年)

1811年12月16日 06:00|アメリカ| ||| ミシシッピ 渓谷で大地震が起こる/川が逆流

1811年12月18日-01:00|ドイツ| ||| ドイツの数学者フリードリヒ・ガウスは、平面上の直角座標(ガウス平面)のアイディアを、ベッセルへの手紙に書いた

1811年12月20日-09:00|韓国/朝鮮| || 朝鮮・嘉慶16年11月05日|平安道で洪景来の乱

1811年12月21日-08:00|インドネシア/イギリス| ||| <死去>モルッカ諸島イギリス軍司令官「Samuel Kelly」

1811年12月21日-08:00|インドネシア/イギリス| ||| <就任>モルッカ諸島イギリス軍司令官「トマス・Ramsay」(1817. 4)

1811年12月22日-09:00|日本|東京都墨田区|文化8年11月7日|<大相撲>文化8年11月場所[江戸本所回向院] (10日間)優勝：(東前1)江戸ヶ崎, 7勝1敗1分1無勝負

1811年12月23日-05:30|インド| ||| <死去>マヨール王国 (オデヤ朝) 摂政「ラクシュミー・アンマンニ・デーヴイー」

1811年12月28日-08:00|インドネシア| ||| <即位>ジョグジャカルタ・スルタン「Hamengkubuwono2世」(2期目~18120621)

1811年12月31日-09:00|日本| ||文化8年11月16日|<死去>銅雲泉 (53歳) 画家

1812年-13:00|トンガ| ||| <死去>トンガ 主長 (トゥイ・カノクホオ)「トゥホウ・マロヒ」

1812年-13:00|トンガ| ||| <即位>トンガ 主長 (トゥイ・カノクホオ)「トゥホトア」(1820年)

1812年-08:00|インドネシア/イギリス| ||| <就任>ベンクーレン居住者代表「ジョージ・ジョン・Siddons」(18180322)

1812年-08:00|マレーシア| ||| <就任>レンバウ統治者 (ウンダ・ン・ルカ・レンバウ)「ダトウク・セデ・イ・ラジャ・ホゴク」(1819年没)

1812年-08:00|インドネシア| ||| <即位>パク・アラマン君主「Pakualam1世」(1829年)

1812年-08:00|インドネシア| ||| <即位>パレンバン・スルタン「Sultan Ahmad Najamuddin2世」(1813年)

1812年-08:00|インドネシア/イギリス| ||| イギリスはオランダ 領ティモール (東ティモールではない) を占領(1816年)

1812年-08:00|マレーシア/タイ| ||| クラタンはタイの統治下(19090709)

1812年-07:00|カンボジア| ||| <就任>カンボジア摂政「アン・スグオン」(18130513)

1812年-05:30|インド/アフガニスタン| ||| <就任>アフガニスタン・カシミール総督「シェール・モハメド・カーン」(5ヶ月)⇒「ファテ・カーン・モハメッド・ザイ・ハ・ラザイ」(1813年)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>ウアラサ国統治者 (ターケル)「ナトゥシジ」(不明)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>カニカ国ラジャ「シヤンナート・ハンジ」(1817年10月)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>カムタ・ラジャウラ国統治者 (ラオ)「ゴパール・ラル」(18741023没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>ガウラリ国統治者 (デイクン)「ゴパール・シン」(1831年没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>クランドワト国統治者 (ラオ)「ケヤフ・ラオ・ハバ・サヒブ・ハトルタン」(1827年没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>コッタ・サンガニ国統治者 (タクル)「ホー・ジ・ラシ」(1825年没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>ゴソタル国統治者 (タクル・サヒブ)「ナトゥシ・デーヴァジ・ナトゥハ・イ・サヒブ」(1814年没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>ジャイトフル国ラジャ「ハリカト・シン」(1842年)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>タラオン国統治者 (ジョーベ)「ガヤ・フ・ラサド」(1840年没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>ハイクンタ国統治者 (ジョーベ)「ネフル・キョール」建国(1829年没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>ハラウ国統治者 (ジョーベ)「サリグ・ラム」(1843年没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>ハランプル国統治者 (デイクン)「ファテ・モハメド・カーン」(1回目~1813年)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>ハルデオ国統治者 (ジョーベ)「ダリアオ・シン」(1840年没)

1812年-05:30|インド| ||| <就任>マニプール国ラジャ「マルジット・シン」(1819年)

1812年-05:30|インド| ||| 設立>トウルワイ国

1812年-05:30|インド/イギリス| ||| イタリア国、タンタ国、ホル国はイギリス保護領

1812年-05:30|インド| ||| ウアラサ国はインドのサハール・カンタ (1933年まではマヒ・カンタ) 準管轄州の一部

1812年-05:30|インド/イギリス| ||| カムタ・ラジャウラ国はインドのカムタ・ラジャウラ州となる (イギリス保護領)

1812年-05:00|カザフスタン| ||| <就任>小ジユズ・ハン「シルカス」アイチュワの次男(1824年)

1812年-05:00|カザフスタン| ||| <即位>ブケイ・オルダ・ハン「ブケイ」ヌリィの四男(1815年)

1812年-04:30|アフガニスタン| ||| <即位>アンクイ汗国ハン「ユルト・ウス・カーン」(1830年)

1812年-04:00|セイシェル/イギリス| ||| <就任>イギリス領セイシェル長官「ヒバイル・セージ」(18141107)

1812年-04:00|ジョージア| ||| <就任>スヴァニア公「ミスト(テンキス・ベ12世)」(1821年没)

1812年-04:00|アゼルバイジャン| ||| <就任>ナフチヴァン汗国ハン「カルブ・アリ・ハン」(6度目~1813年)

1812年-04:00|ロシア| ||| アクシャ・タルジヨはロシアの宗主権下

1812年-04:00|アゼルバイジャン/イラン| ||| トリシュ・ムガンをペルシャが占領(1813年)

1812年-03:00|イラク/トルコ| ||| <就任>ハスラのムテッサリフ「ヤコフ・アガ」(1813年)

1812年-03:00|ペラルーシ/ロシア| ||| <就任>ミンスクのロシア軍総督 (1831年から臨時軍総督) 兼ミンスク県民事主席管理者「ガブリル・アレクサンドロヴィッチ・イグナティエフ」(1815年)

1812年-02:00|ウクライナ/ロシア| ||| <死去>カメツィイ・ポドルスキー軍総督兼ポドルィア、ヴォルィニヤ行政区域民事主席管理者「Nikolay Alekseyevich Tuchkov」

1820迄 (2692件)

1812年-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>ワキアのデヴィアン・ロニア副大統領(モルダヴィアの大統領に従属)「セルゲイ・ヤコフ・レヴィ・チ・レブ・ニスキー」)

1812年-01:00|スペイン/イギリス| |||<就任>初代シタ・ロドリゴ公「アーサー・ウェルズリー」(~18520914死去)

1812年-01:00|ベナン| |||<就任>アグウェのエイ国統治者「コムラン」建国(~1821年)

1812年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダマラム国統治者(サルキン・ダマラム)「スレイマン・タン・ティントウマ」(~1822年)

1812年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Francisco de Paula Paadin y Bravo」(~1817年)

1812年 00:00|ポルトガル| |||<就任>トレス・ヴェトラス侯「アーサー・ウェルズリー」初代ガイメロ伯(⇒18121218初代ヴァイトリア公~18520914死去)

1812年 00:00|セガル| |||<就任>パウロ統治者(ティーン)「セ・クンバ・ファティム・ペンダ・ファル」(~1815年)

1812年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領セント・バーソロミュー島知事「Bernd Robert Gustaf Stacke lberg」(~1816年)

1812年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官代行「ホセ・マソット」(~1813年)

1812年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||セント・バーソロミュー島はスウェーデン王の私領となる(~1845年)

1812年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ファン・パウティスタ・グアル・イ・カルベロ(上級政治家首長)」(~1814年)

1812年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ 植民地総督「マウリシオ・デ・スニガ」(~1813年)

1812年 10:00|ポリネシア| |||<死去>ホ・ラウ統治者「Te ari'i noho ra'i Tapoa1世」

1812年 10:00|ポリネシア| |||<就任>ホ・ラウ統治者「Tapoa2世」(~1860.7死去)

1812年1月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Silahdar Suleyman Pasha」(~1816.5)

1812年1月 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>ホンジュラス州総督補佐代行「ホセ・マリア・ビニョル・イ・ムニョス」(~2.4)

1812年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合評議会議長「ピーター・バーカハルト」(~12.31)

1812年1月2日-09:00|日本|大分県竹田市|文化8年11月18日|豊後国岡藩で一揆

1812年1月8日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ジョアキノー・ロッシーニ《歌劇「幸福な錯覚」》

1812年1月8日-09:00|日本|栃木県大田原市|文化8年11月24日|<交替>下野黒羽藩2万石「大関増陽」隠居⇒養子の「大関増業」(~文政7(1824)年7月8日、隠居)

1812年1月10日 06:00|アメリカ| |||アメリカ議会、第2正規軍を2万5,000人まで拡大する陸軍法案を可決

1812年1月11日 00:00|イギリス| |||<死去>5代クイーンズ・ベリー公・3代バクル公「ヘンリー・スコット」

1812年1月11日 00:00|イギリス| |||<就任>4代バクル公・6代クイーンズ・ベリー公「チャールズ・モンタギュー＝スコット」(~18190420死去)

1812年1月14日-09:00|日本|大阪府大阪市|文化8年12月|<出版>大阪の探古齋墨梅「阿波名所図会」

1812年1月19日-01:00|スペイン/イギリス| |||イギリス軍が、シタ・ロドリゴを占領

1812年1月26日-01:00|アントラ/フランス| |||アントラはフランスに併合(セーブル県(1813年3月7日からセーブル＝テル県)の一部~1814年)

1812年1月26日-01:00|フランス/スペイン| |||フランスが、スペインのガルニャ地方を併合

1812年2月-01:00|ベナン/イギリス| |||ウリアム(ホワタ)岩放棄される

1812年2月-01:00|スペイン/メキシコ| |||モロス、メキシコ市西方のケウトラを占拠/ほかにハリスコ州のテピクでは、マヌエル・ロサダが反乱開始。ミチョアカン、ケレロ州でも反乱開始

1812年2月 03:00|仏領ギアナ/ポルトガル/ブラジル| |||<就任>ポルトガル/ブラジルのギアナ知事「Manuel Marques de Sousa」(~18171108)

1812年2月 05:00|ペルー| |||副長官によるインディオ虐待や、カボなどの自由栽培の禁止に抵抗しワスコで反乱/指導者クレボはスペイン人追放運動に発展させるが敗れ処刑される

1812年2月2日-09:00|日本|大分県臼杵市|文化8年12月20日|豊後国臼杵藩で大一揆

1812年2月3日-09:00|日本|福井県鯖江市|文化8年12月21日|<死去>間部詮熙(42歳)越前鯖江藩主⇒長男の詮允が継いだ

1812年2月4日 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>ホンジュラス州市長「ファン・フランシスコ・マルケス・イ・カステホン」(~3.1)

1812年2月9日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《「アテネの廃墟」Op.113序曲》《「シュテファン王」Op.117序曲》

1812年2月12日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文化8年12月30日|<死去>水野忠任(78歳)前肥前唐津藩主

1812年2月13日-09:00|日本| |||文化9年1月|<出版>暁鐘成「大門口鎧襲」

1812年2月13日-09:00|日本| |||文化9年1月|<出版>西村中和「紀伊国名所図会」二集

1812年2月13日-09:00|日本| |||文化9年1月|<出版>蹄斎北馬「若緑岩代松」

1812年2月13日-09:00|日本| |||文化9年1月|<出版>北斎「略画早指南」

1812年2月15日 05:00|エクアドル| |||制憲議会、民主的統治機構を規定する新憲法を公布。フェルナンドを正統な国王として擁立し、形式的には立憲君主制を採用

1812年2月16日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ジョアキン・ホセ・レブ・デ・フィゲイredo・イ・ゴイス」(~18140822)

1812年2月23日-01:00|フランス/ドイツ| |||プロイセンがフランスと同盟条約を結ぶ/この結果、フランスのロシア遠征が可能になる

1812年2月28日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ウェリントン伯「アーサー・ウェルズリー」(⇒10.3、ウェリントン侯⇒18140511、ウェリントン公~18520914死去)

1812年3月-01:00|スペイン/イギリス| |||イギリス軍がバタヴィアを占領

1812年3月 06:00|エルサルバドル| |||エルサルバドル独立派、総督軍により鎮圧、デルガドは投獄される

1812年3月 06:00|グアテマラ/イギリス| |||グアテマラのペレンで蜂起が起きるが総督軍により鎮圧

1812年3月 06:00|ニカラガア/スペイン| |||ニカラガアのレオンで蜂起が起きるが総督軍により鎮圧

1820迄 (2692件)

1812年3月1日-01:00|フランス| |||パリの公共水が無料となる  
1812年3月1日 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>ホンジュラス州市長「ペドロ・グティエレス」(~4月)  
1812年3月3日 03:00|アルゼンチン| |||モンテビデオの王党派軍、ブエノスアイレス近郊に上陸。パラナ河畔サンロレンソのたたかい。サンマルティンの指揮するラファ軍が、カウの指揮する王党派軍を撃破  
1812年3月4日-01:00|オーストリア/フランス| |||オーストリアがフランスと同盟条約を結ぶ  
1812年3月7日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「ヴァイトリーノ・フレイレ・ダ・クーニャ・グスマン」(~18150522)  
1812年3月8日-09:00|日本| |||文化9年1月25日|<死去>2代宮蘭鸞鳳軒(不明)浄瑠璃太夫  
1812年3月8日-08:00|中国| |||新疆、伊寧地震/M8、死者多数  
1812年3月11日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン第3代総督「ロバート・ブラウリック」(~18200201)  
1812年3月11日-01:00|ドイツ| |||プロシヤのユダヤ教徒に市民的同権付与  
1812年3月14日-03:30|イラン/イギリス| |||ペルシャがイギリスと友好条約を結ぶ  
1812年3月15日-09:00|日本|滋賀県彦根市|文化9年2月3日|<交替>近江彦根藩30万石「井伊直中」隠居⇒三男「井伊直亮」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年10月1日、死去)  
1812年3月15日-09:00|日本|福岡県久留米市|文化9年2月3日|<死去>筑後久留米藩21万石「有馬頼貴」(67歳)⇒嫡孫「有馬頼徳」が継ぐ(⇒天保15(1844)年4月3日、死去)  
1812年3月19日-01:00|スペイン| |||スペインのナポレオンで「ナポレオン憲法」制定/立憲君主制のもとに言論・出版の自由、異端裁判所の廃止などをうたった自由主義的憲法  
1812年3月19日-09:00|日本|宮城県仙台市|文化9年2月7日|<交替>陸奥仙台藩62万石「伊達周宗」隠居⇒弟「伊達斉宗」が継ぐ(⇒文政2年5月24日(18190715)死去)  
1812年3月20日 05:00|ハイチ| |||脱退していたハイチ南部省がハイチ共和国に再編入  
1812年3月23日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ第一連合政府代表フェリシアノ・チクラナ、マヌエル・デ・サラテア、フアン・マルティン・デ・ブエイルトン(~18121008)  
1812年3月23日 03:00|アルゼンチン/ポルトガル/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ連合州上級臨時政府大統領「マヌエル・マリアノ・デ・サラテア・アルトラギーレ」(~9.23)  
1812年3月26日 04:30|ベネズエラ| |||ベネズエラ、カラカスで地震(M6.3)死者2万人  
1812年3月28日 05:00|コンゴ/アフリカ| |||黒人やハルツたちはフンタに対し反乱  
1812年4月-07:00|カンボジア/タイ| |||シャムがカンボジアを占領(~18130513)  
1812年4月-04:00|モロッコ/イギリス| |||<就任>イギリスのトリポリ島司令官「フィリップ・マゴン」イギリスのトリポリ島占領が再開(2回目~18201104)  
1812年4月 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国ラ・コメラ及びエル・ピロ総支配人代理「Matias Fernandez」(~1812.7)  
1812年4月1日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア国務院議長・閣僚委員会委員長「ニコライ・イワノヴィチ・サルティコフ伯爵」(10日まで代行~18160528)  
1812年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ガミッロ・ボネリ」「リベ・オ・ガザーリ」  
1812年4月3日 00:00|ポルトガル/フランス| |||<就任>フランスのポルトガル司令官「ラギーザ・公オギュスト・フレデリック・ルイ・ガイエッセ・デ・マルモン」(~24日)  
1812年4月3日 00:00|ポルトガル/フランス| |||フランスが部分的にポルトガル再占領(~18120424)  
1812年4月3日 04:30|ベネズエラ| |||<就任>ベネズエラ連合暫定最高行政機関「第二三頭政治:Francisco Javier Mayz y Marquez de Valenzuela(~1812.4)/Fernando Rodriguez del Toro e Ibarra(1812.4~)/Juan German Roscio Nieves(1812.4~)/Francisco Javier de Ustariz y Mijares de Solorzano/Francisco Silvestre Espejo Gaamano」(~5.19)  
1812年4月5日-01:00|スウェーデン/ロシア| |||ロシアとスウェーデンが秘密条約を結ぶ  
1812年4月14日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「フアン・ルイス・デ・アホ・ダ・カ・イ・エリザ」(~18160701)  
1812年4月15日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督代行「ジョン・コレット」(~18130418)  
1812年4月17日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公「アレクサンドル・ミハイロヴィチ・リムスキー・コルサコフ」(2回目~6.28)  
1812年4月17日-09:00|日本|福島県白河市|文化9年3月6日|<交替>陸奥白河藩11万石「松平定信」隠居⇒次男「松平定永」が継ぐ(⇒文政6(1823)年3月24日、伊勢桑名藩113000石に移封)  
1812年4月19日 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>ホンジュラス州市長「フアン・アントニオ・デ・トルノス・サンタ・クラ・カザガル」(~18180115)  
1812年4月20日-09:00|日本|千葉県館山市|文化9年3月9日|<交替>安房館山藩1万石「稲葉正武」隠居⇒長男「稲葉正盛」が継ぐ(⇒文政2(1819)年12月6日、死去)  
1812年4月30日 06:00|アメリカ| |||<加盟>オースティン準州⇒アメリカ合衆国ミシシッピ州(18番目)  
1812年5月5日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケーテン公「Augustus Christian Frederick」  
1812年5月5日-01:00|ドイツ| |||<即位>アンハルト・ケーテン公「Louis Augustus Karl Frederick Emil」(~18181218死去)  
1812年5月5日 04:00|グレートブリテン/イギリス| |||<就任>グレートブリテン副総督「ジョージ・ロバート・エインズリー」(~1813年)  
1812年5月5日-09:00|日本/ロシア| |||文化9年3月24日|コロニンら脱獄  
1812年5月5日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|文化9年3月24日|<隠居>陸奥棚倉藩6万石「小笠原長堯」隠居⇒六男「小笠原長昌」が継ぐ(⇒文化14(1817)年9月14日、肥前唐津藩に移封)  
1812年5月9日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「絹のはしご」》  
1812年5月9日-01:00|フランス| |||ナポレオンがロシアのアレクサンドル1世に国交断絶を通告

1820迄 (2692件)

1812年5月11日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス連合王国第21代首相「スペンサー・パーシヴァル」暗殺される/50歳(誕生1762年)

1812年5月14日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「ハビロニアのキウス」》

1812年5月14日-09:00|日本/ロシア| ||文化9年4月4日|コロンから再び捕縛

1812年5月16日-09:00|日本|福島県白河市|文化9年4月6日|<隠居>陸奥白河藩11万石「松平定信」/子の定永が継ぐ(文政6年3月24日・伊勢桑名に転封)

1812年5月17日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<死去>リフレッシュメント島所有者「ジョナサン・ランバート」

1812年5月17日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>リフレッシュメント島所有者「トマス・カリ」(~18160814)

1812年5月18日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「テ・メトリオとホ・リビオ」》

1812年5月19日 04:30|ペレス・エラ| |||<就任>ペレス・エラ連合陸海軍総長「Sebastian Francisco de Miranda y Rodriguez」(~7.25)

1812年5月26日 00:00|ポルトガル| |||<死去>2代オエiras公・2代ポントバル侯「ヘンリー・セル・ド・カルバル・エ・メロ」

1812年5月26日 00:00|ポルトガル| |||<就任>3代オエiras公・3代ポントバル侯「セル・フランシスコ・ザビエル・マリア・デ・カルヴァリョ・メロ・エ・タウ」(~18210101死去)

1812年5月26日-09:00|日本|京都府京都市|文化9年4月16日|<就任>京都所司代「大久保忠真」(⇒1818(文政1年8月2日))

1812年5月28日-09:00|日本|神奈川県横浜市金沢区|文化9年4月18日|<死去>武蔵六浦藩12000石「米倉昌俊」(29歳)⇒6月10日、養子「米倉昌寿」が継ぐ(⇒万延元(1860)年6月24日、隠居)

1812年5月28日-02:00|ルーマニア/ロシア/トルコ| ||ロシア暦5月16日|オスマン帝国がロシアとブカレスト条約を結ぶ/1809年以来の両国の戦争が終結

1812年5月28日-02:00|モルダヴィア/ロシア| ||ロシア暦5月16日|ブカレスト条約によりベッサラビアとしてロシアに併合される

1812年5月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・嘉慶17年4月19日|官軍、定州城を陥落(洪景来の乱平定)

1812年5月29日-09:00|日本|東京都江東区|文化9年4月19日|<大相撲>文化9年4月場所[江戸深川元町神明宮](5日間)優勝:(西前5)越/海,4勝0敗1分/のちの大関玉垣

1812年6月-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>ワキアのデヴィアンのロシア副大統領(モルダヴィアの大統領に従属)「バウエル・ヴァシリ・エヴィチ・チヤゴフ(モルダヴィア・ワキアのロシア総督)」(~9月)

1812年6月-01:00|スペイン/イギリス| |||イギリス軍がサラマンカを占領

1812年6月-01:00|スペイン/ペレス・エラ| |||ファン・モンテペルデ 将軍にひきいられたスペイン軍は地震の被害に乗じて反攻。カラスを包囲/共和国軍はラゲア川のたたかいにやぶれカラスを放棄

1812年6月 03:00|アルゼンチン| |||憲法制定会議、自由出生法を制定。奴隷は一代限りとなる

1812年6月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「セバスティアン・キンデルン・イ・オレゴン」(~1815.6)

1812年6月4日 06:00|アメリカ| |||<発足>アメリカ、ミズーリ準州、設置

1812年6月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金載沅」(~18160605)

1812年6月9日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第22代首相「第2代リヴァプール伯爵ロバート・バンクス・ジェンキンソン」トリー党(~18270410)

1812年6月11日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|文化9年5月3日|<死去>小笠原長堯(52歳)前陸奥棚倉藩主

1812年6月14日-09:00|日本|長野県上田市|文化9年5月6日|<隠居>信濃国上田藩53000石「松平忠済」隠居⇒養子「松平忠学」が継ぐ(⇒文政13(1830)年4月20日、隠居)

1812年6月18日 06:00|アメリカ/イギリス| |||アメリカがイギリスに抗議し宣戦布告。第二次英米戦争(メキシコ戦争)開始。英軍、デトロイトを占領

1812年6月24日-09:00|日本| ||文化9年5月16日|<死去>井上士朗(71歳)俳人、医師

1812年6月24日-04:00|ロシア/フランス| |||ナポレオンが60万の大軍隊を率いてワグネル河を渡りロシアに侵入

1812年6月25日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>コロンビア共和国名誉大統領「マヌエル・ベニート・デ・カストロ・アルカ」「ルイス・デ・アラ・イ・ベルガラ」(~8.5)

1812年6月26日-09:00|日本|新潟県柏崎市|文化9年5月18日|<死去>越後椎谷藩1万石「堀直温」(32歳)⇒7月10日、養子「堀直哉」が継ぐ(⇒文政13年9月3日(18301019)、死去)

1812年6月28日-08:00|インドネシア| |||<即位>ジョグジャカルタ・スルタン「Hamengkubuwono3世」(2期目~18141103)

1812年6月28日-02:00|リトアニア/フランス| |||リトアニアをフランスが占領(~18121210)

1812年6月28日-01:00|ポーランド/フランス| |||ナポレオンがポーランドのヴァルナを占拠

1812年7月-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア行政委員会委員長「ニコライ侯爵シモン・シプリアン・ジュール・ルイ・マルタン・マリー・エリザベス」(~12月)

1812年7月2日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア臨時政府委員会議長代行「ユゼフ・フラビアン・シエラコフスキ・ハーフ・ド・ウェンガ」(~18日)

1812年7月3日-09:00|日本|大分県佐伯市|文化9年5月25日|<隠居>豊後佐伯藩2万石「毛利高誠」隠居⇒長男「毛利高翰」が継ぐ(⇒天保3(1832)年5月23日、隠居)

1812年7月5日-02:00|ルーマニア/ロシア/トルコ| |||モルダヴィア(ベッサラビア)の東半分がブカレスト条約(18120528署名)でオスマン帝国からロシアに割譲

1812年7月5日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「ウィリアム・ミス」(1期目~9.14)

1812年7月6日 05:00|コロンビア/スペイン| |||ホーリーバル大佐の指揮するフェルト・カベリョ要塞、サンフェリペ守備隊の裏切りによりスペイン軍に敗北

1812年7月8日-03:00|ベラルーシ/フランス| |||ミンスクをフランスが占領/フランス占領下ベラルーシはリトアニア大公国の一部としてミンスク、グロドノ、ビャウストク地域とスモレンスク総督に従属しているポドolia州とポドラスカ州地域に分割(~18121116)

1820迄 (2692件)

1812年7月8日-02:00|リトアニア/フランス| |||<就任>リトアニアのフランス総督「ホーゲン・ド・ル・伯爵デイルク」(~12.10)  
1812年7月9日 05:00|エカトル/スペイン| |||<就任>スペイン領トリス総督・議長「トリビオ・モンテス・カカ・イ・ペレス」(~18170726)  
1812年7月9日-09:00|日本| ||文化9年6月|<出版>長谷川雪旦「古画要覧」  
1812年7月12日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ベニート・ペレス」(~1813年)  
1812年7月12日 05:00|コロンビア| |||ミランダの率いる独立軍、ラ・ベクトリアで最終降伏  
1812年7月12日 06:00|カナダ/イギリス/アメリカ| |||アメリカ軍、アッパー・カナダに侵入。デトロイトを奪回  
1812年7月13日-02:00|リトアニア| |||<即位>リトアニア大公「ビニオン男爵ルイ・ビエール・エドゥアール」(~12.8)  
1812年7月17日 06:00|アメリカ/イギリス| |||マッキー砦のアメリカ軍、降伏  
1812年7月18日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア臨時政府委員会委員長「スタニスワフ・フランチ・ア・ペレシウ・イェト・ソウタン・ヘルブ・シロムラ」(~8.28)  
1812年7月18日-04:00|ロシア| |||エルプ・ロ条約/ロシア皇帝アレクサンドル1世が大陸封鎖を解除して、カール・ヨハンと和解して同盟を結ぶ  
1812年7月20日-02:00|ラトビア/フランス| |||<就任>フランス軍リトアニア司令官「リカル男爵エティエンヌ・ビエール・シルヴェストル」(~8月)  
1812年7月20日-02:00|ラトビア/フランス| |||ケルラント県をフランスが占領(~12.20):ダウガピルをフランスが占領(~9.28)  
1812年7月22日-01:00|スペイン/フランス/イギリス| |||イギリス軍がスペインのサラマンカでフランス軍を破る。さらに迎撃に出たマルモン軍を大破  
1812年7月23日-02:00|モルトバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア総督「スカーレット・ド・ミトリエウ・イ・ストゥルザ」(~18130617)  
1812年7月25日 04:30|ベネチア/スペイン| |||ベネチアの革命指導者フランシスコ・デ・ミランダがスペイン軍に降伏し、共和国が崩壊  
1812年7月25日-09:00|日本|長野県諏訪市|文化9年6月17日|<死去>諏訪忠厚(67歳)前信濃諏訪藩主  
1812年7月26日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Jose de Medinilla y Pineda」(1期目~18220815)  
1812年7月29日 04:00|刊| |||コンペションの王党派、反革命を起こしロサを放逐  
1812年7月30日-01:00|ドイツ| |||プロシエンのカル・ハルデンベルグ首相が治安警察令を発布  
1812年8月-02:00|ラトビア/フランス| |||<就任>フランス軍リトアニア司令官「クシエンシュ・ミハウ・ゲデオン・ヒロニム」(~9.28)  
1812年8月 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国ラ・ゴメラ及びエル・ヒエロ総支配人「Baltasar Valcarcel」(2期目~1822年)  
1812年8月 00:00|ホルタル/イギリス| |||<就任>マティラ総督「James Willoughby Gordon」イギリス(~18141003)  
1812年8月 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サルバドル管理者「ホセ・マリア・ペイナート」(1回目~1814年)  
1812年8月1日-02:00|ラトビア/フランス| |||ケルラント公国とセミアリア公国、およびヒルテン地区は、最終的にフランスとサツ人の共同保護領の下で名目上再建。ロシア政府はリガに避難  
1812年8月6日-09:00|日本|宮崎県日南市|文化9年6月29日|<死去>日向飢肥藩51000石「伊東祐民」(21歳)⇒弟「伊東祐丞」が継ぐ(⇒文化11(1814)年8月14日、18歳で死去)  
1812年8月7日 04:00|セント・ビンセント/イギリス| |||<就任>セント・ビンセント総督「チャールズ・プリズベン」(2回目~18160807)  
1812年8月8日 06:00|カナダ/イギリス/アメリカ| |||デューボーン、ローワー・カナダ 総督と停戦に調印  
1812年8月12日-01:00|スペイン/イギリス/フランス| |||イギリス軍がマドリッドを占拠/スペイン王ジョゼフ・ボナパルトは逃亡し、各地のフランス軍は統制を失い分断される  
1812年8月16日 06:00|アメリカ/イギリス| |||米軍ル將軍、英軍に降伏、ミガン準州、英軍の支配下に置かれる  
1812年8月17日-04:00|ロシア/フランス| |||ホレフがモンスクを攻略  
1812年8月18日 02:00|日本|鳥取県鳥取市|文化9年7月12日|<鳥取文化9年の大火「佐橋火事」>巳半刻(午前11時ごろ)辻売町の佐橋鉄蔵屋敷から出火、大榎木町、小性町、江崎町、大工町通と次々に延焼、残らず焼き尽くした/勢いついた炎は、学館定府屋敷あたり一円に飛び火し若桜町内外の中程まで焼いた/今ひとつの飛び火は、百軒長屋のあたりより三御役所と御会所、分知飛驒守仲雅館の長屋と向こう屋敷のすべてを焼き、城内も危ない状況となった/一方、城下を焼抜けた炎は、智頭街道あたりへ進出、同所の惣御門より町方の中程まで焼いた/ついで鹿奴海街道内外町方の中程から丹後惣門を焼失、外丹後町、内外惣門とも焼き尽くし、同所の御作事場所、下の町より大下の町、内田町で焼け止まり、戌の刻(20時ごろ)前に鎮火/被害は、御用屋敷(役所)20か所、惣門(城の外構えの門)3か所、土橋2か所、重臣の飛驒守屋敷2か所、兵部屋敷2か所、侍屋敷244か所、町家は世帯数で2436軒、内9軒は消火のための崩し家、寺3か所、塔頭1か所などが全焼  
1812年8月19日 06:00|アメリカ/イギリス| |||米海軍、ノヴァスコシア沖の海戦で英海軍に勝利  
1812年8月25日 06:00|カナダ/アメリカ/イギリス| |||アメリカ軍デューボーン、マディソンの意向で停戦を終わらせる  
1812年8月28日-02:00|モザンビーク/ホルタル| |||<就任>ホルタル領モザンビーク総督・総司令官「マルコス・エター・ノ・デ・アブレウ・エ・メネス」(~18170202)  
1812年8月28日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア臨時政府委員会委員長「ホーゲン・ド・ル・伯爵デイルク」(~12.8)  
1812年9月 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||スペインがサラメントの新植民地放棄(~12月)  
1812年9月3日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督兼総司令官「Juan Domingo de Monteverde」(~18131228)  
1812年9月4日 06:00|アメリカ| |||ティラ、ハリソン砦をネイティブ・アメリカンの攻撃から守り抜く  
1812年9月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハシット・アーメド・パシャ」(~18150401)  
1812年9月6日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド 総督代行「アムフェルト伯爵グスタフ・マウリッツ」(~18130413)  
1812年9月6日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文化9年8月|<隠居>肥前唐津藩6万石「水野忠光」隠居⇒次男「水野忠邦」が継ぐ(⇒文化14(1817)年8月、遠江浜松藩6万石に移封)  
1812年9月7日 00:00|イギリス| |||<昇格>ノーサンプトン伯「チャールズ・コンプトン」⇒ノーサンプトン侯(~18280524死去)

1820迄 (2692件)

1812年9月7日-04:00|ロシア/フランス| ||ユリウス暦:1812/8/26|フランス軍が、モスクワ西方のボロジノの戦いでクウゾフ将軍率いるロシア軍を破る

1812年9月14日-04:00|ロシア/フランス| |||ナポレオン率いるフランス軍がモスクワを占領(〜10.23)(ロシア帝国の一部は1812年6月〜12月に占領され、モスクワ政府総督(モスクワ)、スモレンスク政府総督、リトニア大公国、クールランド公国に分割された)

1812年9月14日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ジョージ・ホースフォード 中佐」(〜18160708)

1812年9月15日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|文化9年8月10日|<死去>大久保忠喜(67歳)前下野烏山藩主

1812年9月19日-01:00|スペイン/フランス| |||スペインのフランス軍が、ブルゴスから撤退

1812年9月19日-09:00|日本/ロシア| ||文化9年8月14日|高田屋嘉兵衛、国後島海上でロシア船に捕らえられる

1812年9月23日 03:00|アルゼンチン/ボリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ連合州上級臨時政府議長「ファン・マルティン・マリア・ノ・デ・ペーレルト・イ・オト・ゴン」(〜10.8)

1812年9月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヴァルデック侯「フリードリヒ・カール・アウグスト」

1812年9月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴァルデック侯「ゲオルク1世」(〜18130909死去)

1812年9月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「試金石」》

1812年10月1日-05:30|イント/イギリス| |||コルハープル国はイギリス保護領(条約により)

1812年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・ジヤンニニ」「ピエトロ・ゾーリ」

1812年10月1日 03:00|アルゼンチン| |||ベルグラ軍、ビルカークイオのたたかいに敗れる

1812年10月2日-09:00|日本|東京都|文化9年8月27日|<死去>市場通笑(76歳)戯作者

1812年10月3日-05:30|イント| |||<就任>サウアンディ国統治者(ラジャ・バハードール)「ケム・サウアン4世ハブ・サヒブ」(〜1867年10月没)、摂政「ラニ・ドゥルカ・ハイ」(2回目〜18181228)

1812年10月3日 00:00|イギリス| |||<昇格>初代ウェリントン伯「アーサー・ウェルズリー」⇒初代ウェリントン侯(⇒18140511、ウェリントン公〜18520914死去)

1812年10月5日-05:30|イント/イギリス| |||レウ国はイギリス保護領(条約による)

1812年10月5日-09:00|日本| ||文化9年9月|<出版>歌川豊国「東名残門出錦袖」

1812年10月5日-09:00|日本| ||文化9年9月|<出版>北斎「画道独稽古」

1812年10月8日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ第二連合政府代表「アントニオ・アルバレス・ホンテ」(〜18130819)、「フアン・ホセ・パソ、ニコラス・ロドリゲス・ペーニャ、カルロス・アントニオ・デ・ホセ・サダス」(〜18140131)

1812年10月8日 03:00|アルゼンチン/ボリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ臨時最高行政長官「ファン・ホセ・エステバン・デル・バット・フェルナンデス」(〜18130220)

1812年10月11日-09:00|日本|山形県米沢市|文化9年9月7日|<交替>出羽米沢藩15万石「上杉治広」隠居⇒養子「上杉斉定」が継ぐ(⇒天保10(1839)年2月2日、死去)

1812年10月13日 06:00|アメリカ/イギリス| |||イギリス軍とカナダ人の民兵が、クインストン・ハイツの戦いでアメリカ軍を破る

1812年10月17日 06:00|アメリカ/イギリス| |||米艦ワズプ、英艦ワリックを破る

1812年10月17日-09:00|日本|千葉県君津市|文化9年9月13日|<交替>上総国久留里藩3万石「黒田直方」隠居⇒養子「黒田直侯」が継ぐ(⇒文政6(1823)年10月21日、隠居)

1812年10月19日-04:00|ロシア/フランス| |||ナポレオンの仏軍モスクワを撤退

1812年10月21日-09:00|日本|新潟県五泉市|文化9年9月17日|<死去>堀直教(62歳)元越後村松藩主

1812年10月22日-09:00|日本|山形県鶴岡市|文化9年9月18日|<死去>酒井忠徳(58歳)前出羽庄内藩主

1812年10月25日 06:00|アメリカ/イギリス| |||米艦ナイテット・ステイツ、英艦マクドニアンを破る

1812年10月27日 05:00|コロンビア| |||<就任>コロンビア・ヌエバ・グラタ連合州会議議長「カミロ・トレス・テリオ」(〜18141005)

1812年10月28日-09:00|日本|岡山県総社市|文化9年9月24日|<死去>蒔田定祥(44歳)備中浅尾領主⇒定邦が継ぐ

1812年11月-03:00|サウジアラビア/エジプト| |||ムハンマド・アリー率いるエジプトがメディナを占領

1812年11月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督領主「スカルト・アレクサンドル・カリチ」(2回目〜18190620)

1812年11月 03:00|アルゼンチン| |||ベルグラ軍、アウマでも惨敗。独立軍はほぼ崩壊

1812年11月2日-01:00|スペイン/フランス| |||ジョゼフ・ボナパルトがマドリッドを再び占拠。国王に返り咲く

1812年11月5日-09:00|日本|長崎県対馬市|文化9年10月2日|<交替>対馬府中藩22800石「宗義功」隠居⇒次男「宗義質」が継ぐ(⇒天保9(1838)年8月9日、死去)

1812年11月9日 10:00|日本|長崎県長崎市|文化9年10月6日|夜、長崎金屋町の秀七宅より出火、11町を焼く/堀町、今町、新興善町、浦五島町、本五島町、樺島町、平戸町、大村町、本博多町、島原町に延焼/焼失家屋339戸、土蔵37戸前、取崩し家屋38軒→10月8日鎮火

1812年11月20日 03:00|ブラジル| |||ブラジル銀行創設

1812年11月20日-09:00|日本|兵庫県小野市|文化9年10月17日|<死去>播磨小野藩1万石「一柳末昭」(23歳)12月8日、弟「一柳末周」が継ぐ(⇒天保2(1831)年11月23日、隠居)

1812年11月21日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|文化9年10月18日|<交替>播磨山崎藩1万石「本多忠居」隠居⇒次男「本多忠敬」が継ぐ(⇒天保5(1834)年11月27日、隠居)

1812年11月24日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「成り行き泥棒、または靴の取り違い」》

1812年11月25日-09:00|日本|福島県いわき市|文化9年10月22日|<死去>陸奥磐城平藩67000石「安藤信馨」(45歳)⇒甥「安藤信義」が継ぐ(⇒文政12(1829)年7月5日、隠居)

1812年11月26日-09:30|オーストラリア| |||サラング号、モリスからスペインドルを持って到着。マウオリ総督、コインの中央をくりぬき、1枚を2枚のコインとして流通させる。外部は「ホーリー・ダラー」と呼ばれ5シリングで流通。内部は「ダング」と呼ばれ、15ペンスで流通

1812年11月26日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバ・グラタ連合州大統領「ホセ・マリア・アルブライ・マルティネス」(〜12.13)、「フェリハ

1820迄 (2692件)

- ・デ・ベルガラ・アスカテ・イ・カセト」(〜12. 14)
- 1812年11月29日-03:00|ベラルーシ/フランス/ロシア| ||| (25日〜) 退却するナポレオン軍がベラルーシのベルジナ川越えで大打撃をうける
- 1812年11月29日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|文化9年10月26日|<死去>出羽本荘藩2万石「六郷政速」(49歳)⇒12月28日、三男「六郷政純」が継ぐ(⇒文政5(1822)年8月22日、22歳で死去)
- 1812年12月 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サラメント新植民地スペイン軍司令官「Pedro Jose Vieira」(〜1813年)
- 1812年12月1日-09:00|日本| ||文化9年10月28日|<死去>勝川春好(70歳)浮世絵師
- 1812年12月2日 05:00|エクアドル/スペイン/コロンビア| ||| 卍軍、トリビオ・モンテスが率いるゲアヤルの王党派軍のまえに次々と敗退。サン・アントニオ・デ・イバラの決戦で、最終的に崩壊。スペイン軍が卍を制圧
- 1812年12月2日 06:00|アメリカ| |||アメリカのマディソン大統領が再選される
- 1812年12月3日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「チャールズ・キャメロン」(2回目〜18180418)
- 1812年12月6日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア臨時政府委員会委員長代行「スタニスワフ・フレイ・ア・ペレシグ・イエト・ソタン・ヘルプ・シロムラ」(⇒11日、カナス公国で続く/18121221〜18130501ワルシャワに、18130715〜30日ドレスデン、ザクセン州に亡命)
- 1812年12月7日-09:00|日本| ||文化9年11月4日|武蔵・相模地震/M6家屋多数倒壊、死者多数
- 1812年12月8日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、カリフォルニア州南部、サンワンキャピストラノで地震(M7. 5)死者50人
- 1812年12月10日-02:00|リトアニア/ロシア| |||ロシア軍がヒルサを再占領
- 1812年12月12日-09:30|オーストラリア| |||メアリー・ライベーン、シドニーに新しい商店を開店
- 1812年12月12日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「イオン・ゲオルゲ・カラゲア」(〜18180929)
- 1812年12月12日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ対立総督・司令官(チリ⇒コンセプション)「ペドロ・アントニオ・デ・パレハ・イ・マリスカル」(〜18130521没)
- 1812年12月12日-09:00|日本|東京都墨田区|文化9年11月9日|<大相撲>文化9年11月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(東前4)頂, 7勝2敗1分
- 1812年12月14日-04:00|ロシア/フランス| |||ロシア暦:1812/12/2|ナポレオンの軍隊がモスクワからの撤退を終わる
- 1812年12月18日 00:00|ポルトガル| |||<就任>初代グイテリア公「アーサー・ウェルズリー」トレス・ヴェトラス侯(〜18520914死去)
- 1812年12月19日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<死去>セントクロア総督「George William Richard Harcourt」
- 1812年12月19日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セントクロア総督代理「Scott」(〜18130501)
- 1812年12月23日-05:30|インド/イギリス| |||オカ国はイギリス保護領(条約により)
- 1812年12月24日 05:00|コロンビア/スペイン| |||ホーリーバル、カルタヘナ軍をひきいモンボッスとテリフェを占領/マグダレーナ川領域に独立派の支配権確立
- 1812年12月24日 08:00|日本|東京都|文化9年11月21日|17時過ぎ、浅草龍泉寺村より出火、南烈風にて吉原新町へ火移り、夫れより一廓悉く焼亡
- 1812年12月25日-09:00|日本|栃木県大田原市|文化9年11月22日|<交替>下野大田原藩11400石「大田原光清」隠居⇒養子「大田原愛清」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年3月10日、隠居)
- 1812年12月25日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文化9年11月22日|<交替>播磨林田藩1万石「建部政賢」隠居⇒四男「建部政醇」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年2月8日、隠居)
- 1812年12月27日-02:00|リトアニア/ロシア| |||メメルはロシアに占領された(〜1813年1月)
- 1812年12月29日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《ヴァイオリン・ソナタ第10番ト長調Op. 96》
- 1812年12月29日 06:00|アメリカ/イギリス| |||米艦コンステーション、英艦ジャウアを破る
- 1812年12月30日-01:00|ドイツ/フランス/ロシア| |||プロセンがフランスとの同盟を破棄し、ロシアと中立協定を結ぶ
- 1813年-08:00|インドネシア| |||<再位>パレンバン・スルタン「Sultan Mahmud Badaruddin2世」⇒「Sultan Ahmad Najamuddin 2世」(〜1818年)
- 1813年-08:00|インドネシア| |||<就任>バンテン摂政「Muhammad Muhyuddin」(〜1816年)
- 1813年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>モルッカ諸島イギリス居留者代表「ウィリアム・Gordon McKenzie」1期目(〜1815年)
- 1813年-08:00|マレーシア| |||<就任>レンバウ統治者(ヤン・ディ・ヘルトウアン・ムダ・レンバウ)「ラジヤ・アリ・ビン・デーン・アランパキ」(〜18320913)
- 1813年-07:00|ラオス| |||<死去>チャンパーサク王「チャノウ」
- 1813年-07:00|タイ| |||<就任>ランナー国主(チャオ)「タンマランカー」(〜18220504)
- 1813年-07:00|ラオス| |||<即位>チャンパーサク王「マノイ」(1820年タイに逃亡〜1821年没)
- 1813年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「アッハ・ムハンマド・カーン」(〜1819年)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>ウイグル・フル国統治者(タール)「スルタンジ」(〜1851年)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>カチャリ国ラジャ「コヒンチャント・ラ・ナヤン・ハヌサ」(〜18300424没)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>コラハ国摂政「カシハ・イ・アングリア」(〜1814年)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>サルダラト国統治者(カーン・サーヒブ)「ナトゥカンジ・サラハトカンジ」(〜1867年没)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>ジャシュフル国ラジャ「サンクラム・シン」(〜不明)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>ジャジャル国支配者(ナワブ)「ファイズ・モハマト・カーン」(〜1835年没)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>スルグジャ国ラジャ「ハルバトラ・シン2世デオ」(2回目〜1816年)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>セイ国統治者(タークル)「マダルシンジ 1世ヴァハツインジ」(〜1837年)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>パソリ国ラジャ「フヘントラ・ハル」(〜1834年11月没)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>パランフル国統治者(デイワン)「シャムシエル・モハマト・カーン」(2回目〜12. 22)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>ホール国摂政「アハサブ・ニンバルカル」(〜1814年)
- 1813年-05:30|インド| |||<就任>マウルハニ国ラジャ「トリビ・クラム・ハンジ・デオ」(〜1822年没)
- 1813年-05:30|インド| |||ギョラー国はパソジャブに併合;シハ国はパソジャブに併合(〜1830年)

1820迄 (2692件)

1813年-04:30|アフガニスタン/イラン| |||<即位>ゲリアン・カラエイ汗国(ヘールシャ内)ハン「サルダール・モハマト・カーン・カラエイ・トルハティ」(~1816年)

1813年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフサハン汗国ハン「カリム・ハーン」(~1816年)

1813年-04:00|ロシア| |||メフタリはロシアの宗主権下

1813年-03:30|イラン| |||ホイガヘールシャに再編入

1813年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダットのベイ及びワリス「サイド・メフメト・ハシャ」(~1817年2月)

1813年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラのメッサリフ「サイド・ハシャ」(~1814年)

1813年-03:00|イラク| |||<即位>ハバン首長「Mahmoud Pasha」(~1834年)

1813年-03:00|ケニア| |||<即位>ハテ・スルタン国スルタン「Fumo Luti Kipunga ibn Fumo Madi, Mfalume」(~1818年)

1813年-02:00|モザンビーク| |||<就任>マニカ統治者(マンボ)「チンガ・ニヤマト2世インハムト」(~1818年)

1813年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「ハルシット・アフメト・ハシャ」(~同年)⇒「テルデンリ・ハシャ」(~同年)

1813年 00:00|トーゴ| |||<就任>ア林統治者(アフタ)「コムラン」(~1821年)

1813年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「Mark Wilks」(~1816年)

1813年 00:00|トーゴ| |||<就任>ゲニガハ摂政「フォリス」(~1815年没)

1813年 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サラメント新植民地スペイン軍司令官「Blas Jose Pico」(~1814年)

1813年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ総督・総司令官「カルロス・デ・ウルティア・イ・モントヤ」(~1818年)

1813年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ボリビア聴問庁長官「フランシスコ・アントニオ・オルティス・デ・カソボ」(革命政府)⇒「バルセロヌ侯爵グレゴリオ・オス・フェルナンデス・デ・ミランダ・ガルシア・デル・リャノ」(~1814年)

1813年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ビクトル・デ・サルセド・イ・ソメデウイラ」⇒「カルロス・メイナ」(~1815年)

1813年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ植民地総督「マテオ・ゴンサレス・マンリケ」(~1815年)

1813年1月-03:00|サウジアラビア/エジプト| |||ムハンマド・アリー率いるエジプトがジッダを占領

1813年1月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Capan-odjlu Celaleddin Mehmed Pasha」(~1816年)

1813年1月 04:00|ボリビア/スペイン| |||ペルグーラ指揮下のブエスアイレス軍、アルトゥーに侵攻するもウキの戦闘でスペイン軍に敗北。さらにツクマンまで追撃されるが、苦戦のうえツクマンを確保

1813年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合評議会議長「ハンス・フォン・ラインハルト」Con(2期目⇒18140101、代行~18140406)

1813年1月1日-09:00|日本| ||文化9年11月29日|<死去>4代瀬川菊之丞(31歳)歌舞伎役者

1813年1月9日-09:00|日本| ||文化9年12月7日|<死去>樋口道立(75歳)俳人、儒学者

1813年1月10日-09:00|日本|東京都|文化9年12月8日|<死去>4代澤村宗十郎(29歳)歌舞伎役者

1813年1月14日-01:00|ドイツ/イギリス/ロシア| |||英、対露・プロシヤ援助条約締結

1813年1月15日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Jose Angel de Soveron」(1期目~18140529)

1813年1月17日-09:00|日本|福島県いわき市|文化9年12月15日|<死去>本多忠壽(74歳)前陸奥泉藩主、元側用人・老中格

1813年1月18日-01:00|コアラ/イギリス| |||イギリスがラゴスタを占領

1813年1月21日-09:00|日本| ||文化9年12月19日|大名・旗本らの系譜「寛政重修諸家譜」1,530巻完成

1813年1月22日 06:00|アメリカ/イギリス/カナダ| |||イギリス軍とカナダ人民兵、インディアンの勢力がデトロイト城塞の戦いでアメリカ軍を破る

1813年1月23日-03:00|サウジアラビア/エジプト| |||ムハンマド・アリー率いるエジプトがメッカを占領

1813年1月23日-09:00|日本|福井県鯖江市|文化9年12月21日|<死去>越前鯖江藩5万石「間部詮熙」⇒長男「間部詮允」が継ぐ(⇒文化11(1814)年7月17日、死去)

1813年1月24日 00:00|イギリス| |||ロンドンでフィルハーモニック協会発足(⇒ロイヤル・フィルハーモニック)

1813年1月25日-01:00|フランス| |||皇帝ナポレオン1世が、幽閉中の教皇ピウス7世と政教条約を結んで、ナポレオン自身の皇統の正統性を認めさせる

1813年1月27日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキノ・ロッシーニ《歌劇「フルスキノ氏、または冒険する息子」》

1813年1月28日 00:00|イギリス| |||英国でジェーン・オースティンの長編小説「高慢と偏見」発刊

1813年1月30日-01:00|オーストリア/ロシア| |||ロシア暦1月18日|オーストリアとロシアの間に休戦条約が結ばれる

1813年1月31日 03:00|アルゼンチン| |||アルゼンチン制憲議会開催/国名をラ・デ・ラ・プラタ連合国と決め、貴族制度、拷問の廃止などで合意。自由出生法が制定され奴隷は一代限りとなる

1813年2月1日-09:00|日本|長野県上田市|文化10年|上田藩、文武学校明倫堂を設立

1813年2月1日-08:00|中国| ||清・嘉慶18年|<死去>ハミ郡ハン「アルダール」

1813年2月1日-08:00|中国| ||清・嘉慶18年|<即位>ハミ郡ハン「バグール」(~1866年、死去)

1813年2月1日-09:00|日本| ||文化10年1月|<出版>画工、堀田連山「絵本婚禮道しるべ」

1813年2月1日-09:00|日本| ||文化10年1月|<出版>葛秀麿(歌麿の門人)「役者用文章」

1813年2月1日-09:00|日本| ||文化10年1月|<出版>葛飾北斎「伝心画鏡」

1813年2月1日-09:00|日本| ||文化10年1月|<出版>十遍舎一九自画作「絵本江戸名所」

1813年2月1日-09:00|日本| ||文化10年1月|<出版>石田玉山、歌書「定家撰錦葉集」

1813年2月1日-09:00|日本| ||文化10年1月|<出版>北尾政美「絵本孝経」

1813年2月3日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<アルゼンチン独立戦争:サンロレンソの戦い>で諸州連合軍がスペイン王党派軍撃破

1820迄 (2692件)

1813年2月4日-01:00|**クアチ/イギリス**| |||イギリスが**カルゾラ**を占領  
1813年2月4日-09:00|**日本**| ||文化10年1月4日|<死去>渡辺南岳(47歳)画家  
1813年2月6日-01:00|**イタリア**| |||<初演>ジヨアキノ・ロッシーニ《歌劇「タンクレディ」》  
1813年2月8日-09:00|**日本**|京都府京都市|文化10年1月8日|<死去>鷹司輔平(75歳)元関白、内大臣  
1813年2月11日 00:00|**イギリス**| |||<死去>初代バッキンガム侯・3代テンブル伯・2代ニュージエント伯「ジョージ・ニュージエント=テンブル=グレンヴィル」  
1813年2月11日 00:00|**イギリス**| |||<就任>初代バッキンガム=シャントス公・4代テンブル伯・3代ニュージエント伯「リチャード・テンブル=ニュージエント=ブリッジ=シャントス=グレンヴィル」(⇒18220204兼バッキンガム=シャントス公・初代シャントス侯・ストーの初代テンブル伯~18390117死去)  
1813年2月18日-11:30|**ノースフォーク島/オーストラリア**| |||<就任>ノースフォーク島司令官代理「William Hutchinson」(~18140228)  
1813年2月18日 03:00|**ブラジル**| |||イタアンでフランスに率いられた漁業奴隷の反乱/監督ら白人12人を殺害し、サルトルヘ向かう/シヨア河で軍の反撃にあい壊滅。56人が死亡、4人が縛り首  
1813年2月20日-01:00|**スペイン**| |||<就任>スペイン領セタ暫定総督「Jose Maria Lastres y Mora」(~同年)⇒総督「Francisco Carlos Gabriel de Gand-Vialin」(2期目~同年)⇒総督代理「Pedro Grimarest」(1期目~同年)⇒暫定総督「Andres Mendoza」(~同年)⇒総督「Fernando Gomez de Butron」(1期目~1814年)  
1813年2月20日 03:00|**アルゼンチン/ボリビア/パラグアイ/ウルグアイ/スペイン**| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ臨時最高行政長官「(毎月交代)ニコラス・マトリゲス・デ・ラ・ペーニャ・フネス/セ・ジュリアン・ペレス・デ・エチャル/アントニオ・アルバレス・デ・ヨnte(18130820まで)/ゲルム・アジョ・アントニオ・デ・ホサダス(18130820から)」(~18140131)  
1813年2月23日 06:00|**アメリカ**| |||ボストン工業会社設立許可、近代型機械制一貫生産綿工業開始  
1813年2月24日 00:00|**イギリス**| |||<就任>初代ミント伯「ギルバート・エリオット=マレイ=キンマウント」(~18140621死去)  
1813年2月24日 04:00|**ガイアナ/イギリス/アメリカ**| |||米英戦争。ガイアナ沖で、イギリス船ヒューcockがアメリカ船に撃沈される  
1813年2月27日-01:00|**トイ/ロシア/イギリス**| |||ホレオン1世の「ロシア遠征」失敗を機に、イギリス、プロシヤ、ロシアが参加した軍事同盟「第6回対仏大同盟」結成(~1814年)  
1813年2月28日 05:00|**コロンビア/スペイン**| |||ボリバル、カルタヘナからベネズエラに反攻開始/ククタのたたかいに勝利  
1813年2月28日-09:00|**日本**|東京都台東区|文化10年1月28日|<大相撲>文化10年1月場所「江戸浅草観世音」(10日間)優勝:(東前1)柏戸、7勝1敗1分1無勝負/この場所から頂より改め  
1813年2月28日-01:00|**トイ/ポーランド/ロシア**| |||プロシヤが、ロシアとカリッシュ条約を締結し、ロシアと和平友好同盟を結ぶ  
1813年3月-05:30|**インド**| |||<就任>シント国摂政「ラニ・ソフ・ラヒ=カウル」(~18140623没)  
1813年3月 00:00|**セネガル**| |||<就任>ファクトロ統治者統治者(アルマミ)「ユフ・サイアー・リー」(2回目~1814年)  
1813年3月1日 04:30|**ベネズエラ**| |||ベネズエラ領内に進攻したボリバル、サン・アントニオ・デル・タラを占領  
1813年3月3日 03:00|**アルゼンチン**| |||ロザリオ北方のバラナ河畔サン・ロレンソのたたかい/サンマルティンの指揮するラプラタ軍が、サパラの指揮する王党派軍を撃破  
1813年3月3日 04:00|**グアドループ/フランス/スウェーデン**| |||グアドループをフランスからスウェーデンに割譲(~18140530)  
1813年3月4日-01:00|**ボスニア=ヘルツェゴビナ/トルコ**| |||<就任>ボスニア総督「アリ・パシャ・ダレンテリ」(~18150330)  
1813年3月4日 07:00|**メキシコ/スペイン**| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「カルデロン伯フェリックス・マリア・カジェタ=ル・レイ」(~18160920)  
1813年3月17日-01:00|**トイ**| |||プロシヤがフランスに宣戦布告  
1813年3月24日-01:00|**フランス/バチカン**| |||教皇ヒューズ7世が、ホレオン1世との政教条約を破棄  
1813年3月25日-01:00|**トイ**| |||<離脱>ライン同盟:メクレンブルク=シュヴェーリン公国  
1813年3月25日 00:00|**イギリス**| |||<死去>3代ローズベリー伯「ニール・プリムローズ」  
1813年3月25日 00:00|**イギリス**| |||<就任>4代ローズベリー伯「アーチルド・プリムローズ」(~18680304死去)  
1813年3月26日-05:30|**インド**| |||<即位>パティアル国統治者(マハラジャ・エラジガン)「カラム・シン」(~18451223没)、摂政「マヘン・オス・カウル」(~1823年10月没)  
1813年3月26日 04:00|**チリ**| |||レンガ河口でラファエル・デ・ラ・ソツカ大佐の率いるメルカアノ民兵隊が副王軍に惨敗/部隊はコンセプシオンを占領  
1813年3月29日-09:00|**日本**|愛知県豊田市|文化10年2月27日|<交替>三河拳母藩2万石「内藤政峻」隠居⇒養子「内藤政成」が継ぐ(⇒文政13(1830)年9月20日、隠居)  
1813年3月30日-01:00|**トイ**| |||<離脱>ライン同盟:メクレンブルク=シュトレリッツ公国  
1813年4月 06:00|**アメリカ**| |||<就役>アメリカ海軍フリゲイト「マセドニア」(1325t、1812. 12、アゾレス諸島南方海域にて拿捕したイギリス海軍38門砲艦MacedonianをWoolwich Dockyardで改装)  
1813年4月1日-01:00|**サンマリノ**| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・ベッリツィ」「ヒエール・アントニオ・ミアーニ」  
1813年4月5日-09:00|**日本**|東京都中央区|文化10年3月5日|<初演>四代目鶴屋南北「於染久松色読販」江戸森田座<お染の七役>町娘お染、若衆久松、芸者小糸、老女貞昌、鬼婆土手お六、田舎娘お光、奥女中竹川・(7役)五代目岩井半四郎  
1813年4月6日-05:30|**インド**| |||<就任>トリプラ国ジャ「ラマガン・マニヤ」(2回目~18261114)  
1813年4月10日-01:00|**フランス**| |||<死去>フランスの数学者・天文学者ラランジュ/77歳(誕生17360125)  
1813年4月12日 07:00|**メキシコ/スペイン**| |||モロ軍、アカプルコを占領。南メキシコの支配権を獲得  
1813年4月13日 04:00|**チリ/スペイン**| |||<就任>チリ総督・司令官「第9回政府理事会:セ・ミゲル・デ・ラ・カレラ・イ・ウエルト=ウゴ(3回目、11月まで)/セ・ミゲル・インファンテ・イ・ロハス(議長、18130823~18140111)/セ・ニコラス・デ・ラ・セルタ・イ・サントイゴ・コンチャ/フランス・アントニオ・ペレス・サラス(18130413~8. 23議長、18131009まで)/マヌエル・マンソ・デ・ベラスコ・イ・サンタ・クルス(2回目)/セ・サントイゴ・ホルタス・ラライン(2回目)/ペドロ・セ・プラト・ハラケマタ(2回目)/ヘルナルド・オギンズ・リケルメ(2回目、18131129から)/ファン・エグニャ・リスコ/アウグスティヌス・マヌエル・デ・エサギレ・アレチャヴァラ(18140111から議長)/セ・イグナシオ・シエンフエス・アルテガ」(~18140307)

1820迄 (2692件)

1813年4月15日 06:00|アメリカ/スペイン| |||アメリカ軍、スペイン領ウェスト・フロリダのモビルを占領  
1813年4月16日-05:30|インド| |||<就任>ティルヴァタムコ王国ラジャ「ラマ・ヴァルマ3世」(~18461227没)、摂政「ラニ・ガウリ・ラクシュミ・バイ」(2回目~18150818)  
1813年4月19日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督「ジョージ・ロバート・エインズリー」(~1814年)  
1813年4月21日 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ総督代行「ジョン・ハーヴェイ」(2回目~8.13)  
1813年4月22日-05:30|インド| |||<就任>ホルンデル国統治者(ラナ)「モジラージ・ハロージ」(~18310620没)  
1813年4月24日-05:30|インド| |||<就任>コルハール国統治者(ラジャ・チャトラパティ)「シャム・ラジ 3世アッパ・サーヒブ」(~18210702没)  
1813年4月27日 04:00|チリ| |||マレ川南岸のパレで両者の遭遇戦. 独立軍の圧勝  
1813年4月27日 06:00|カナダ/イギリス/アメリカ| |||アメリカ軍が、イギリスからトロントを奪う  
1813年4月27日 06:00|アメリカ/イギリス| |||アメリカ軍の攻撃によりヨークが焼失  
1813年5月 04:00|ボリビア/アルゼンチン| |||ポトシをアルゼンチンが占領(~12月)  
1813年5月 06:00|ニカラガ| |||クリオージョの独立派、サンカルスの砦を占拠  
1813年5月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セントクロア総督「George William Ramsay」(~18150401)  
1813年5月2日-01:00|ドイツ/フランス/ロシア| |||ホレオンがライプツィヒ近くのリュツェンでロシア・プロシア連合軍を破る  
1813年5月2日 04:00|チリ| |||独立派、コンセプションの奪還に成功  
1813年5月8日-01:00|クロアチア/イギリス| |||イギリスがチェルを占領  
1813年5月9日 06:00|アメリカ/イギリス| |||オハイオ州メイガス城塞の戦いで、アメリカ軍がイギリス軍の包囲を破る  
1813年5月11日-05:30|インド| |||<就任>ラダンプール国支配者(ナワブ)「ムハンマド・シル・カン1世」(~1825年没)、「ムハンマド・カマル・アド=ディン・カン2世」(~1815年没)  
1813年5月11日-09:00|日本|東京都台東区|文化10年4月11日|浅草弁天の池で、水車を仕掛け、人力を用いずに人形を踊らせる、鳴り物入り「からくり興行」開始  
1813年5月13日-07:00|カンボジア/タイ| |||<即位>カンボジア王「アン・チャン2世」(2回目~18350107)  
1813年5月14日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||パラグアイ、蜂起2周年を記し独立を宣言  
1813年5月14日-09:00|日本|東京都|文化10年4月14日|幕府が、伊勢町に米会所を設置し、120人に株札を免許  
1813年5月14日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|文化10年4月14日|<交替>摂津尼崎藩48000石「松平忠宝」隠居⇒次男「松平忠誨」が継ぐ(⇒文政12(1829)年8月27日、死去)  
1813年5月15日 04:00|チリ| |||追撃中のカラ軍、ヌブレ川北岸サンカルスで惨敗  
1813年5月21日-01:00|オーストリア/フランス/スペイン| |||20日からのパウセンの戦いでフランス軍がオーストリアとプロシヤに勝利  
1813年5月21日 04:00|チリ/スペイン| |||<死去>チリ対立総督・司令官(コンセプション)「ホセ・アントニオ・デ・パレハイ・マリスカル」  
1813年5月21日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ対立総督・司令官(チナ⇒コンセプション)「ジョン・フランシスコ・サンチェス」(~18140101)  
1813年5月22日-01:00|ルウェー| |||<就任>ルウェー総督「クリスチャン・フレデリック・アッ=テンマク」(~18140219)  
1813年5月22日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「アルジェリアのイタリア女」》  
1813年5月23日-01:00|イタリア| |||<死去>フリウーリ公「ジェラルド・デ・ユロック」  
1813年5月26日-09:00|日本|熊本県人吉市|文化10年4月26日|<死去>相良長寛(63歳)前肥後人吉藩主  
1813年5月27日 06:00|アメリカ/イギリス| |||(ジョージ砦の戦い)(25~)アメリカ軍はナイガラ川がオンタリオ湖に流れ込む場所にあるジョージ砦の戦いでイギリス軍の基地を奪取し、守備兵を破った  
1813年5月29日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<サackets湾の戦い>アメリカ軍がイギリス軍の攻撃を撃退  
1813年5月30日-09:00|日本| |||文化10年5月|<出版>鈍々亭和樽編(辰斎・一九・柳斎・辰湖・京伝・三馬・北嵩・北馬・北寿・俊満・辰光・辰一・辰暁などの插画)「狂歌閑東百題集」  
1813年5月31日-09:30|オーストリア| |||ブラックスラヴらが、初めてブルマウンテンズの横断に成功  
1813年6月1日 06:00|アメリカ/イギリス| |||米艦フェザーク、英艦シャノンに拿捕される  
1813年6月4日-01:00|ポーランド/フランス/ドイツ| |||ホレオンとプロシヤ・ロシア軍がブレシュウイツで40日間の休戦協定を結ぶ  
1813年6月6日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<米英戦争: ストニー・クリークの戦い>オンタリオ州で英国軍が米国軍に勝利  
1813年6月7日-03:00|エチオピア| |||<死去>シェワ王「ウエルテ・ギヨギス・テオドロス」  
1813年6月7日-03:00|エチオピア| |||<即位>シェワ王「サレ・セラシエ」(~18471012没)  
1813年6月13日-01:00|クロアチア/イギリス| |||イギリスがジュパナを占領  
1813年6月14日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード知事「ラルフ・ジェームズ・ウッドフォード卿」(1期目~18210412)  
1813年6月14日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントアゴ総督「マンチスター公ウィリアム・モンタギュー」(2回目~18210730)  
1813年6月15日 04:30|ベネズエラ| |||ベネズエラ東部ではサンアゴ・マリニョが反乱開始  
1813年6月15日-09:00|日本|長崎県対馬市|文化10年5月17日|<死去>宗義功(41歳)前対馬府中藩主  
1813年6月15日-01:00|ドイツ/イギリス/ロシア| |||イギリスが、プロシヤ、ロシアと同盟を結ぶ  
1813年6月17日-02:00|モルトバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア総督「イヴァン・マルコビッチ・ハーティング」(~1817年10月)  
1813年6月18日-09:00|日本|愛知県刈谷市|文化10年5月20日|<死去>三河刈谷藩23000石「土井利謙」(27歳)⇒弟「土井利以」が継ぐ(⇒文政12(1829)年11月30日、死去)  
1813年6月18日-09:00|日本|東京都|文化10年5月20日|<死去>朋誠堂喜三二(手柄岡持)(79歳)出羽久保田藩士、戯作者・狂歌師  
1813年6月21日-01:00|スペイン/フランス/イギリス/ポルトガル| |||<半島戦争: ヒストリアの戦い>イギリス・ポルトガル・スペイン連合がフランスに勝利  
1813年6月22日-09:00|日本|長野県須坂市|文化10年5月24日|<交替>信濃須坂藩10053石「堀直暁」隠居⇒長男「堀

1820迄 (2692件)

直興」が継ぐ(⇒文政4年6月10日(18210709)、死去)

1813年6月24日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<ヒューバー・ダムスの戦い>ナイアガラ滝の西で英国軍インディアン待ち伏せで米国軍降伏

1813年6月26日 04:00|ケアドルフ/イギリス| |||<就任>ケアドルフ 知事「Sir John Skinner」(~18141207)

1813年6月27日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||ライヘンバッハで、ロシア、プロシヤ、オーストリアが条約を結ぶ

1813年6月28日-09:00|日本| ||文化10年6月|<出版>北尾政美「魚貝略画式」

1813年7月 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督「ヨハン・カール・テュエリット・カステンホルト」(~18190618)

1813年7月16日-09:00|日本|広島県福山市|文化10年6月19日|分郡多治米村、雷雨激しく農家30戸崩壊、2人死亡

1813年7月17日-09:00|日本|福島県相馬市|文化10年6月20日|<死去>相馬祥胤(49歳)前陸奥相馬中村藩主

1813年7月25日-09:00|日本/イギリス/オランダ| ||文化10年6月28日|イギリス東インド総督ラッフルズがオランダ商館乗っ取りを企てる/ラッフルズが元甲比丹ワルナール、蘭人カサなどとともにオランダ国旗を掲げた英国船2隻で来航/商館長ドーフの巧妙な拒絶で商館の明け渡しを拒否、幕府に内密に画策し、オランダ船として貿易させ斥ける

1813年7月27日 06:00|アメリカ| |||<バートン・コンの戦い>アメリカ軍がクリーク族レッド・スティックスを急襲し一旦潰走させたが、戦士たちが戻って来てアメリカ軍を撃退

1813年7月27日-09:00|日本| ||文化10年7月|<出版>佐山半七丸(速水暁斎画)「都風俗化粧伝」

1813年7月27日-08:00|中国| ||清・嘉慶18年7月|清がアヘンの販売禁止令を公布し、アヘンの販売と吸引を禁止

1813年7月31日-09:00|日本|東京都|文化10年7月5日|<死去>蒲生君平、赤痢のため(46歳)儒学者、尊王論者、寛政の三奇人の一人

1813年8月-01:00|オーストリア/スウェーデン/イギリス/ドイツ/ロシア| |||イギリス、プロシヤ、ロシアの軍事同盟「第6回対仏大同盟」にオーストリア、スウェーデン、ライン同盟諸邦が参加

1813年8月3日-09:00|日本|群馬県沼田市|文化10年7月8日|<交替>上野沼田藩35000石「土岐頼布」隠居⇒養子「土岐頼潤」が継ぐ(⇒文政9(1826)年9月22日、死去)

1813年8月4日-01:00|クロアチア/イギリス| |||イギリスがロゴスニツァを占領

1813年8月4日 04:30|ベネチア| |||ベネチアで、独立運動指導者のボリーバルがカラスを奪還

1813年8月6日 04:30|ベネチア| |||ベネチアで第2次共和国が成立(~19140716)

1813年8月8日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア連邦人民解放軍総長「サイモン・セ・アントニオ・デ・ラ・サンティシマ・トリニダード・ボリバル・イ・パラシオス」(⇒10.14解放者・陸軍最高司令官~18140908)

1813年8月10日 00:00|ポルトガル| |||<死去>マテウス総督「Pedro Fagundes Bacellar Antas e Meneses」

1813年8月10日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Luis Beltrao de Gouveia e Almeida」(~18140701死去)

1813年8月11日-01:00|オーストリア/フランス| |||オーストリアのフランツ1世(ホーレンの義父)、対仏宣戦布告

1813年8月13日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ 総督「チャールズ・ジョーリー卿」(1回目~1815年7月)

1813年8月17日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||オーストリアによるアグラム(ザグレブ)占領

1813年8月17日-09:00|日本|東京都|文化10年7月22日|<死去>初代中山文七(82歳)歌舞伎役者

1813年8月19日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||オーストリアによるカルシュタット(カルロヴァツ)占領

1813年8月21日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「マーク・ウィルクス」(~18160414)

1813年8月23日 04:00|チリ| |||<就任>チリ大統領「セ・ミゲル・インファンテ」(~18140110)

1813年8月26日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハンイグ・ナーク・グロ・キユライ(2度目~18311111)

1813年8月26日-01:00|ドイツ/フランス| |||カッツバッハで、フランス軍がプロシヤ軍に敗れる

1813年8月26日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||フィウメをオーストリアが占領(~18140530)

1813年8月26日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ウィットワース伯爵チャールズ・ウィットワース」(~18171009)

1813年8月27日-01:00|ドイツ/フランス| |||<ホーレオン戦争:ドレスデンの戦い>(26日~)フランス軍が第六次対仏大同盟軍に勝利

1813年8月29日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>コロンビア共和国営大統領「マヌエル・デ・ベルナルド・アルバレス」(~18141212)

1813年8月30日 06:00|アメリカ| |||<クリーク戦争:ミズ砦虐殺>クリーク族がミズ 要塞を襲い、500人の白人が殺害される

1813年8月31日-01:00|スペイン/フランス| |||サン・マルシアルのたたかい、これに敗れたフランス軍はスペインより全面撤退

1813年9月 10:00|クック諸島/イギリス| |||(または10月)エンデバーでイギリス大尉セド・アウカーがラトンガを発見し、後にウーカズアイランドと呼ばれた

1813年9月3日-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア総督代行「イグナツ・カール・グラーフ・コリンスキー・フライヘル・フォン・レズケ(全権裁判所長官)」(~18150421)

1813年9月4日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「セ・ガルト・キ・デ・ハラベ・イティア」(~18161210死去)

1813年9月4日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|文化10年8月10日|<死去>秋田倩季(63歳)前陸奥三春藩主

1813年9月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヴァルデック侯「ゲオルク1世」

1813年9月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴァルデック侯「ゲオルク2世」(~18450515死去)

1813年9月9日-01:00|オーストリア/ドイツ/ロシア| |||ロシア、プロシヤ、オーストリアがティルビッツ協定を結び、攻守同盟を成立させる/ライン同盟解散

1813年9月10日 00:00|イギリス/アメリカ| |||<米英戦争:エリー湖の湖上戦>アメリカの提督オリヴァー・ハザード・ペリーの新造船団が五大湖のイギリス海軍力と補給路を壊滅させる

1813年9月11日 04:00|キューソー/イギリス| |||<就任>キューソー 知事代理「John Burgess Haffey」(~同月)

1813年9月11日 05:00|コロンビア| |||モカス軍、カサでボリス軍を打ち破る

1813年9月11日-09:00|日本|愛知県刈谷市|文化10年8月17日|<死去>土井利徳(66歳)前三河刈谷藩主

1813年9月14日-01:00|クロアチア/フランス| |||フィウメをフランスが短期間再占領(~15日)

1813年9月19日-09:00|日本|福島県二本松市|文化10年8月25日|<死去>陸奥二本松藩100700石「丹羽長祥」(34歳)

1820迄 (2692件)

⇒11月19日、長男「丹羽長富」が継ぐ(⇒安政5(1858)年10月11日、隠居)  
1813年9月20日-01:00|ロシア/イギリス| ||イギリスがシパン島、ロフト島、コチェフ島、カグタット島を占領(〜1815年7月)  
1813年9月21日-01:00|セルビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「ウスキュブ・リスレイマン・パシャ」(3回目〜18151109)  
1813年9月29日-01:00|スロベニア/オーストリア| ||オーストリアがライパツハを再占領  
1813年9月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|文化10年9月6日|<死去>初代・中山文七/82才  
1813年9月30日-09:30|オーストリア| ||トル銀貨と「ダンプ」唯一の合法的な通貨となる  
1813年9月30日 04:00|パラグアイ| ||パラグアイ共和国宣言  
1813年9月30日-09:00|日本|徳島県徳島市|文化10年9月7日|<交替>阿波徳島藩25万7千石「蜂須賀治昭」隠居⇒次男「蜂須賀齊昌」が継ぐ(⇒天保14(1843)年10月、隠居)  
1813年10月 06:00|カナダ| ||テムズ川の戦いでテムズが戦死、インディアンのマイミ連合が崩壊  
1813年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「マリアーノ・ベッケニ」「ジョヴァンニ・マルベリ」  
1813年10月1日 04:00|ボリビア| ||ペルグナ軍、ヒルパ・ギオのたたかいに敗れる  
1813年10月2日-09:30|オーストリア| ||ウィリアム・パスコ・クルック、昼間働いている徒弟などのために夜間学校を開く  
1813年10月3日-01:00|セルビア| ||<就任>革命セルビア管理評議会会長「ムレン・ミロヴァノヴィッチ」(〜1814年)  
1813年10月3日-01:00|スロベニア/オーストリア| ||<就任>オーストリア領イリュリア暫定民政・軍事総督「クリストフ・フライヘル・フォン・ラッテルマン」(〜18150318)  
1813年10月3日-01:00|セルビア/トルコ| ||オスマン帝国のセルビア支配が復活  
1813年10月4日-05:30|インド/イギリス| ||<解任>イギリス領ベンガル総督(イギリス東インド会社)「ミント男爵ギルバート・エリオット＝マレー＝キンマウンド」摂政皇太子ジョージの圧力で  
1813年10月4日-05:30|インド/イギリス| ||<就任>イギリス領ベンガル総督(イギリス東インド会社)「モイラ伯爵フアンシス・ロートン＝ヘイスティングス」(18170213からヘイスティングス侯爵〜18230109)  
1813年10月5日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督「トマス・メイトランド卿」(〜18240117死去)  
1813年10月5日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<米英戦争:テムズの戦い>テムズ川(ヒューロンとエリー湖を結ぶ河)でハリソンの率いるアメリカ軍が、ネイティブ・アメリカ人とイギリスの連合軍を破る  
1813年10月6日-01:00|フランス/イギリス| ||イギリス軍は敗走するフランス軍を追い、ピレネー山脈を越えてフランス領内まで進出、ペイヨンとホルターを制圧  
1813年10月8日-01:00|ドイツ| ||<離脱>ライン同盟:ハイエル王国  
1813年10月8日-08:00|中国| ||清・嘉慶18年9月15日|李文成率いる天理教徒の反乱がおり、林清の一隊が紫禁城に乱入  
1813年10月12日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア/イラン| ||<クリタース条約で、第1次ロシア・ペルシャ戦争が終結>ペルシャは、パクー、シエキ(シャッキ)、カバ、シルヴァン(シャマカ)、タリシュ、カラバフ(カラバーク)の主権をロシアに譲渡  
1813年10月12日-04:00|ロシア/イラン| ||ペルシャが、ロシアとゴレスターン平和条約を締結/カラバーク、ダラバンドなどカフカスとカスピ海の間の全地域に関する主権を放棄  
1813年10月12日 04:00|パラグアイ| ||<就任>パラグアイ共和国執政官「ホセ・ガスパール・ロドリゲス・デ・フランス・イ・ベラスコ」「フルヘンシオ・イェグロス・イ・フランコ・デ・トレス」(〜18141004)  
1813年10月12日 04:00|パラグアイ/スペイン| ||パラグアイ、本国とプエルト・リコの双方に対し独立共和国樹立宣言/スペイン軍にたいし蜂起  
1813年10月14日 05:00|コロンビア| ||カラカス市参事会、公民議会においてホリバルを最高司令官に任命。「解放者」の称号を授与。戦時独裁体制を敷く  
1813年10月18日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ケープ植民地知事代行「ロバート・ミート」(〜18140107)  
1813年10月19日-09:00|日本|ロシア|北海道函館市|文化10年9月26日|幕府、箱館にてコロエンを釈放  
1813年10月19日-01:00|オーストリア/フランス/ドイツ/ロシア| ||ロシア暦10月6日|<ナポレオン戦争:ライプツィヒの戦い>(16〜)プロシエン・ロシア・オーストリア同盟軍が、ライプツィヒでフランス軍を破る  
1813年10月21日-01:00|ドイツ| ||<就任>ドイツ中央行政長官「ハインリヒ・フリードリヒ・カール・フライヘル・フォン・ウント・ツム・シュタイン(プロシエン)」(〜18140615)  
1813年10月24日-09:00|日本| ||文化10年10月|<出版>北尾政美「草花略画式」  
1813年10月24日-09:00|日本|静岡県富士宮市|文化10年10月|富士妙蓮寺表門等再建  
1813年10月24日-03:30|イラン/ロシア| ||ロシア帝国とイラムカージャール朝が「ゴレスターン条約」締結。ロシアのカスピ海航行可能へ  
1813年10月26日-01:00|ドイツ| ||<就任>ライン同盟首座大司教候「ウジェーヌ・ド・ボアルネ(フランクフルト大公)」(〜1813. 12)  
1813年10月26日-01:00|ドイツ| ||<即位>フランクフルト大公「ウジェーヌ・ロズ・ド・ボアルネ」(〜12月)  
1813年10月26日-01:00|ドイツ| ||<退位>フランクフルト大公「カール・テオドール・フォン・ダールベルク」  
1813年10月26日-01:00|ドイツ| ||<離脱>ライン同盟:ヴュルツブルク大公国  
1813年10月26日 06:00|カナダ/アメリカ| ||<米英戦争:シャトー・ゲーの戦い>カナダ侵攻を目論む米軍をケック州でカナダ軍が撃退  
1813年10月28日-01:00|イタリア| ||<即位>ナポリ公「オタンス・デューロック」(〜18290924)  
1813年10月29日-01:00|イタリア/オーストリア| ||トリエステをオーストリアが占領  
1813年10月30日-01:00|ドイツ| ||<再任>ヘッセン＝フィリップスタール＝バルンフェルト方伯「カール・ヘッセン選帝侯の宗主権下で復活」(〜18540717死去)  
1813年10月30日-01:00|ドイツ| ||<再任>ヘッセン選帝侯「ヴィルヘルム1世」(〜18210227死去)  
1813年10月30日-01:00|ドイツ| ||<就任>ヘッセン＝フィリップスタール方伯「ルートヴィヒ」ヘッセン選帝侯の宗主権下で復活(〜18160215死去)  
1813年10月30日-01:00|ドイツ| ||<就任>ヘッセン＝ローテンブルク方伯「ヴィクトル・アマデウス」ヘッセン選帝侯の宗主権下で復活(〜18

1820迄 (2692件)

341112死去断絶し、本家のヘッセン選帝侯領に回収)

- 1813年11月 04:00|ホーランド| |||ベルギー軍、アウマでも惨敗、軍はほぼ崩壊
- 1813年11月2日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「ヤヒヤ2世・イブン・スルル」(~1827年8月)
- 1813年11月2日-03:00|サウジアラビア| |||<退任>メッカ・シャリフ「ガーリーフ・ブン・マサド」
- 1813年11月2日-01:00|ドイツ| |||<離脱>ライン同盟:グェルテンベルク王国
- 1813年11月2日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||スプリットをオーストリアが占領
- 1813年11月4日-01:00|ドイツ/リヒテンシュタイン| |||<解体>ライン同盟
- 1813年11月5日-09:00|日本|長野県長野市|文化10年10月13日|信濃・善光寺町で米価騰貴から打ち壊しがおこる
- 1813年11月6日-05:30|インド| |||<就任>カッチ国統治者(ミルザ・マハラオ)「バルマルジ-2世」(~18190325)、摂政「フェイン・ミヤン」(~1814年)
- 1813年11月6日 07:00|メキシコ/スペイン| |||ホセ・マリア・モロスガ、メキシコのスペインからの独立を宣言
- 1813年11月7日-09:00|日本|富山県|文化10年10月15日|富山藩領の農民が、年貢減免と新田開発反対などをかかげて強訴し村役人・庄屋宅を襲う
- 1813年11月9日 06:00|アメリカ| |||フロリダで、アメリカ軍とクリーク族の大規模な衝突があり、300人以上のクリーク族が死亡
- 1813年11月11日 06:00|カナダ/イギリス/アメリカ| |||<米英戦争:クライスター農園の戦い>オンタリオ州モントリオール奪取を目指して戦力を投入したアメリカ軍であったが、数では10分の1とはるかに劣勢であったイギリス軍が圧倒的な勝利を得た
- 1813年11月12日 04:00|アンティグア・バーブーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カビ-諸島総司令官・総督代行「ジョン・ジュリアス」(2回目~18140625)
- 1813年11月15日-09:00|日本| |||文化10年10月23日|<死去>奥文鳴(41歳)画家
- 1813年11月20日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ連合総局長「ギ-スベ-ルト・カレル・ファン・ホーゲントルプ」/グラーベンモア領主・マスタム=ベン・ソ-ン=ヒンケルノ-ルト卿・アダム・フランソワ・ジュール・アルマン・ヴァン・デル・デューン」(~12.6)
- 1813年11月20日-01:00|オランダ| |||<発足>オランダ連合[オラニ-ナッソー公の名において]フランスに背く
- 1813年11月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>フリートリヒ・ワーグナーが戦火のさなか発疹チフスで/リヒャルト・ワーグナーの父
- 1813年11月23日-09:00|日本| |||文化10年冬|<刊行>経世家海保青陵「稽古談」
- 1813年11月27日-09:30|オーストリア| |||『シトニー-ガゼット』紙、パラマツタとウインザー間の道路が開通したことを報道
- 1813年12月-03:00|エリトリア/トルコ/エジプト| |||マッサラがエジプトに占領される(名目上はオスマン帝国の一部~1826年)
- 1813年12月-01:00|ドイツ| |||<即位>プ-ラウンシュグアイク公「フリートリヒ-ヴィルヘルム黒公」プ-ラウンシュグアイク=ウ-オルフェンビュッテル侯から昇格(~18150615カール-プ-ラの戦いで戦死)エ-ル公
- 1813年12月 06:00|グアテマラ| |||トニカパンでインディオ指導者アスタシオ-ツルによる蜂起、20日間で敗北
- 1813年12月1日 06:00|カナダ/イギリス/アメリカ| |||アメリカ軍モントリオール侵攻作戦失敗
- 1813年12月2日-01:00|オランダ| |||<即位>オランダ連合君主「ウィレム6世フレデリック」オラニエ公ウィレム5世の三男(⇒18150316ネーデルラント王国国王ウィレム1世~18401007~18431212死去71歳)
- 1813年12月2日-09:00|日本|石川県|文化10年11月10日|能登国に貸米要求一揆が起こる
- 1813年12月2日-09:00|日本|福島県相馬市|文化10年11月10日|<交替>陸奥中村藩6万石「相馬樹胤」隠居⇒弟「相馬益胤」が継ぐ(⇒天保6(1835)年3月7日、隠居)
- 1813年12月5日 05:00|ロシア| |||セバ-リヨス、ヤーニェスにひきいられた王党派の反攻/ホーリーバルはアウレのたたかいに勝利
- 1813年12月6日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||ザラがオーストリアに占領される
- 1813年12月7日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国枢密院議長「モルトケ-ティル-ブレグ-ントグ-ェート伯爵ヨアヒム・ゴ-ッスケ」(~18180824没)
- 1813年12月7日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン公「ヨハン1世」(2回目~18360420)
- 1813年12月8日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ-ヴァン-ベートーヴェン《交響曲第7番イ長調Op. 92》《ウェリントンの勝利、またはウィットリアの戦い》
- 1813年12月11日-01:00|スペイン| |||<退位>スペイン王「ジョセフ」
- 1813年12月11日-01:00|スペイン| |||<復位>スペイン国王(ホ-ルボン朝)「フェルナンド7世」(~18330929死去48歳)ナポレオンとガランセ条約締結
- 1813年12月16日-05:30|インド/イギリス| |||ラダンプ-ル国はイギリス保護領
- 1813年12月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、イギリスとの通商禁止令が発効
- 1813年12月18日 06:00|カナダ/アメリカ/イギリス| |||英軍、ナイアガラ砦を陥落させる
- 1813年12月20日-09:00|日本|東京都墨田区|文化10年11月28日|<大相撲>文化10年11月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西前1) 柏戸、7勝1敗1無勝負
- 1813年12月21日 11:00|日本|東京都|文化10年11月29日|夜、高砂町西側より出火、(中略)和泉町東側より大坂町、堺町、葺屋町、両座の芝居、難波町、よし町、乗物町、稻荷堀酒井侯御やしきに至り、翌朝六時過ぎ鎮火
- 1813年12月22日-05:30|インド| |||<就任>プ-ランプ-ル国統治者(ドイツ)「ファテ-モハマト・カン」(2回目~18540711)
- 1813年12月23日 06:00|アメリカ| |||アメリカ軍がクリーク族の聖地のエスカンバを攻略
- 1813年12月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・嘉慶18年12月|濟州島で民乱発生
- 1813年12月23日-08:00|中国| |||清・嘉慶18年12月|李文成率いる天理教徒の反乱が清軍に鎮圧される
- 1813年12月24日-09:00|日本|京都府京都市|文化10年閏11月2日|<死去>117代天皇・女帝「後桜町天皇」(74歳、元文5(1740)0803生)
- 1813年12月25日-01:00|ベルギー-スウェーデン/ドイツ| |||ユ-ペンとマルメーイが連合国軍(スウェーデン軍とプロシヤ軍)に占領される
- 1813年12月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシニ《歌劇「パ-ルミーラのアウレリアーノ」》

1820迄 (2692件)

1813年12月28日 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネズエラ総督兼総司令官「Juan Manuel Cagigal y Ni no」(~18140814)

1813年12月29日-01:00|スイス| |||スイスでナポレオン憲法が廃止される/旧憲法が復活

1813年12月31日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ 連合國務長官「アントン・ラインハルト・ファルク」(~18180319)

1814年-05:30|インド| |||<就任>アンパ リア国統治者(タル・サーヒブ)「ナトゥ・シンジ」(~1838年没)

1814年-05:30|インド| |||<就任>ウアラ国統治者(タル・サーヒブ)「ハルハムジ・メガバ イ」(~1838年没)

1814年-05:30|インド| |||<就任>ケンタル国統治者(ラ)「ラグナート・セン」(2回目~1831年)

1814年-05:30|インド| |||<就任>コラバ 国統治者(サルカル)「マナジ 2世アング リア」(2回目~1817年)

1814年-05:30|インド| |||<就任>コンダル国統治者(タル・サーヒブ)「カンジ・デウァジ」(~1821年没)

1814年-05:30|インド| |||<就任>サンジ エリ国統治者(ターケル)「ジヤガ ツインジ」(~1858年没)

1814年-05:30|インド| |||<就任>ジャンシー 国統治者(ラ)「ラム・チャント・ラ」(~1835年没)

1814年-05:30|インド| |||<就任>ペリ国統治者(ラ)「ファイラン・シン」(~1857年没)

1814年-05:30|インド| |||<就任>ボンチ国ラジヤ「アミール・カーン」(3回目~1815年)

1814年-05:30|インド| |||<就任>ルガシ国統治者(デイワン)「サルダール・シン」(~1859年)

1814年-04:00|アゼルバイジャン| |||<即位>シャキ・ハン国ハン「Ismayil Khan Donboli」(~1819年)

1814年-04:00|UAE| |||<即位>シャルジャ、ラース=アル=ハйма首長代理「Sheikh Hassan bin Rahma Al Qasimi」(~1820年)

1814年-03:00|ウガンダ| |||<死去>ブガンダ 王国国王「Ssemakookiro Wasajja Nabbunga」

1814年-03:00|ウガンダ| |||<就任>バント 統治者(ムトバ・ムトウ)「ムロ」(~1864年)

1814年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムッサラフ「ベキル・アガ」(~1821年)

1814年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブガンダ 王国首相「Kadduwamala」⇒「Katimpa」⇒「Kafumbirwango」⇒「Kimoga」⇒「Ssebukoko」(~1832年)

1814年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブンヤ統治者(オムカマ)「キトゥマ」(~1828年頃)

1814年-03:00|ベラルーシ/ロシア| |||<就任>ベラルーシのロシア軍事総督兼ビテフスク県とモギリョフ県民事最高管理者「ゲルツォグ・アレクサンドル・グェルテンベルグスキー」(2回目~1822年8月)

1814年-03:00|ウガンダ| |||<即位>ブガンダ 王国国王「Kamaanya Kadduwamala Mukasa」(~1836年死去)

1814年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>カメツィ・ポートルスキー軍総督兼ポドリア、ヴォルィニヤ行政区域民事主席管理者「Aleksy Nikolayevich Bakhmetyev」(~1825年)

1814年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「フロダン・グーリゴリエヴィッチ」(~同年)

1814年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Pedro Grimarest」(2期目~1815年)

1814年-01:00|ベルギー| |||<就任>リニユ公「ウジェーヌ1世」(~1880年)

1814年-01:00|イタリア| |||<復位>トスカナ大公「フェルディナント3世」(~18240618死去)

1814年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督代行「ビャルニ・ウイグ・フリン・トラレンセン」(~18150520)

1814年 00:00|セネガル/イギリス| |||<就任>イギリス領セネガル総督「トマス・ブレトン」(~1816年12月)

1814年 00:00|シエラレオネ| |||<即位>カフ・ブム国王「ジョージ1世」(~1826年5月没)

1814年 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サラマント新植民地スペイン軍司令官「Vicente Lima」(~4.20)

1814年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者「ホセ・メンデス・テ・キダ」(~1817年)

1814年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「クリストバル・トミンゲス」(~1817年)

1814年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Alberto Maynez」(~1816年)

1814年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/スペイン| |||<就任>レオン総督・代官「ファン・パウティスタ・ゲアル・イ・カルブロ」(~18160917没)

1814年 10:00|ボリネシア| |||<死去>ファヒネ統治者「Te na ni`aj」

1814年 10:00|ボリネシア| |||<就任>ファヒネ統治者「Mahine Te hei`ura Puru」(~18150318)

1814年1月1日-05:30|インド/イギリス| |||アンガル国をイギリスが統治(~1816年)

1814年1月1日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ対立総督・司令官(チナ⇒コンセプション)「カビエーノ ガインザ・イ・フェルナンデス・デ・モドラ」(~7.19)

1814年1月4日-09:00|日本|広島県広島市|文化10年閏11月13日|<死去>浅野重晟(72歳)前安芸広島藩主

1814年1月5日-01:00|モンテネグロ/イギリス/フランス| |||カッチ(コトル)砦のフランス軍駐屯地が降伏/イギリスがカッチ占領(~12日)

1814年1月7日-09:00|日本| |||文化10年閏11月16日|<死去>尾池春水(64歳)歌人、土佐藩士

1814年1月14日-01:00|デンマーク/ルウェー/スウェーデン| |||キール条約でデンマークがルウェーをスウェーデンに譲渡

1814年1月14日-01:00|デンマーク/ドイツ/スウェーデン/イギリス| |||デンマークが、イギリスとスウェーデンと講和を結ぶ(キール条約)

1814年1月14日-01:00|ドイツ/イギリス/デンマーク| |||ヘルゴラントはイギリスの植民地(キール条約でデンマークから英国に正式に譲渡)

1814年1月14日-09:00|日本|福井県|文化10年閏11月23日|丹生郡蒲生浦から荻崎浦まで延焼、家199軒など焼失

1814年1月18日-01:00|クロアチア| |||<就任>ラゲザ 共和国総長「ジョルジ 伯爵モネ」再建(2度目~29日)

1814年1月24日-09:00|日本|東京都|文化10年12月4日|<死去>尾藤二洲(69歳)儒学者、寛政の三博士の一人

1814年1月29日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||ラゲザ をオーストリアが占領

1814年1月31日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ最高執政官「ガルバシオ・アントニオ・デ・ホセ・サダス」(~18150109)

三頭制をやめ、最高執政官制に移行

1814年2月 05:00|コロンビア/スペイン| |||フェルナント7世の派兵により共和派各地で敗北/ボゴタ共和国崩壊

1814年2月1日-08:00|フィリピン| |||マヨン山噴火>フィリピンの成層火山が噴火。死者1200人以上

1814年2月7日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン=ラウエンブルク公「フリードリヒ1世」(~18391203死去)デンマーク王、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン公としてはフレデリク6世

1814年2月12日 04:30|ベネズエラ| |||ラ・ビクトリアの戦い。青年・学生を中心とする独立軍部隊がリハスの指揮の下、ボヘ

1820迄 (2692件)

ス軍を迎え撃つ。共和軍はピセンテ・カンポ・エリアスの増援を得て勝利。王党派軍は敗散  
1814年2月15日-01:00|ベルギー/オランダ/フランス| |||ベルギー領がフランスから分離、4連合国統治(〜1815年)ゲ・ウ・エルヌールが率いるベルギー臨時政府に編入(オランダ支配下)  
1814年2月15日-01:00|ルクセンブルグ/ベルギー/オランダ| |||ルクセンブルグはベルギー総督支配下(〜3. 9)  
1814年2月20日-09:00|日本| |||文化11年1月|<出版>北尾政美「心機一掃」  
1814年2月27日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《交響曲第8番ヘ長調Op. 93》  
1814年3月-02:00|ギリシャ/イギリス| |||イギリスがパクス諸島を占領  
1814年3月3日-09:00|日本|東京都|文化11年1月12日|<死去>歌川豊春(80歳)浮世絵師/歌川流の画祖  
1814年3月4日-09:00|日本|広島県広島市南区|文化11年1月13日|安芸郡仁保島向灘浦出火、209軒(216竈)焼失  
1814年3月7日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ暫定最高監督「アントニオ・ホセ・ラモン・デ・イリサリ・アロンソ」(〜14日)  
1814年3月10日-01:00|ルクセンブルグ/ベルギー| |||<就任>ルクセンブルグ総督(連合国代表)「ヨハン・アウグスト・フォン・サック」(〜18150512)  
1814年3月10日-01:00|フランス/イギリス| |||ナポレオンが、ラインの戦いで同盟国軍に敗れる  
1814年3月12日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリス軍がボルトーを占拠  
1814年3月14日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ最高監督「フランシスコ・デ・ラ・ウストラ・イ・デ・ラ・ソッタ」(〜7. 23)  
1814年3月14日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高会議議長「ホセ・マリア・ネストロ・リセアガ・イ・レイタ」(⇒10. 24最高政府議長〜18150224)  
1814年3月16日-09:00|日本|東京都|文化11年1月25日|<死去>画工、松田亀玉  
1814年3月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカ軍アンドルー・ジャクソン将軍、クリーク・インディアンを破る  
1814年3月20日 03:00|ブラジル| |||バハイ州カショエラのポンタ農場で奴隷の反乱が発生  
1814年3月21日-01:00|フランス/オーストリア| |||ナポレオンが、アルシ・シュローブでオーストリア軍に敗れる  
1814年3月27日 06:00|アメリカ| |||アメリカ軍ジャクソン将軍、ホースシュー・ベンドでクリーク族とチェロキー族を破る  
1814年3月31日-01:00|フランス/ドイツ/ロシア| |||フランスが連合軍に降伏しパリが開城  
1814年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フェデリコ・ゴジ」  
1814年4月6日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事「チャールズ・ヘンリー・サマセット卿」(〜18260305)  
1814年4月6日-01:00|アントワープ| |||<再任>アントワープ公国共同大公「フランス王ルイ18世」(〜18150320)、「ウルヘル司教フランチェスク・アントニオ・ド・ラ・デューナ・イ・スネロス」(2回目〜18160923)  
1814年4月6日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国國務院副議長兼閣僚評議会議長「ギースバート・カレル・ファン・ホーゲントロップ」(〜18161107)  
1814年4月6日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ハンス・フォン・ラインハルト」Con(1期目〜9. 22)  
1814年4月6日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王(復古ブルボン朝)ルイ18世[ルイ16世の弟](〜18150320)  
1814年4月6日-01:00|フランス| |||<退位>フランス皇帝ナポレオン・ボナパルト、パリ郊外南東の「フォンテーヌブロー宮殿」で  
1814年4月11日-01:00|イタリア| |||<即位>バルマ公「マリア・ルイーザ」(〜18471217死去56歳)  
1814年4月11日-01:00|イタリア/フランス| |||<退位>イタリア王(ボナパルト朝)「ナポレオン1世」フランス皇帝  
1814年4月11日-01:00|サンマリノ/バチカン| |||サンマリノは教皇の保護下(〜18600318)  
1814年4月14日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、マディソン大統領、出港禁止法と輸入禁止法を廃止する法案に署名  
1814年4月16日-01:00|フランス/イギリス/ドイツ/ロシア| |||フランスと「第6次対仏大同盟」諸国との間で講和条約「フォンテーヌブロー条約」締結  
1814年4月17日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ暫定政府(反乱によって設立)大統領・議長「ピエール・アントワーヌ・マリ・ルイ・ゴンザゲ・ド・ミロ・テラツァーニ」(〜6. 17)  
1814年4月17日-01:00|スペイン| |||スペインでエリオ将軍のクーデター。カディス憲法が破棄され王政復古、フェルナンド7世復位  
1814年4月19日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アイルズベリー伯「トマス・ブルデネル＝ブルース」  
1814年4月19日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アイルズベリー伯「チャールズ・ブルデネル＝ブルース」(⇒18210717初代アイルズベリー侯〜18560104死去)  
1814年4月20日-01:00|フランス| |||ナポレオンがエルバ島に向かうためパリを出発  
1814年4月20日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サラメント新植民地スペイン軍司令官「Jose de Moldes」(〜1815. 1)  
1814年4月20日-09:00|日本|東京都中央区|文化11年3月|「隅田川花御所染」初演、[作・四代目鶴屋南北]、市村座  
1814年4月21日-01:00|イタリア| |||イタリア・アンテオ、土砂くずれ、死者260  
1814年4月21日-09:00|日本| |||文化11年3月2日|<死去>亀井南冥、自宅の失火により焼死(72歳)儒学者、医者、漢詩人  
1814年4月26日-01:00|マルタ| |||<就任>聖ヨハネ騎士団グラン・マスター・副官「アントニア・デ・イ・ジョヴァンニ・エ・センテッリス」(〜18210610没)  
1814年4月27日-03:00|サウジアラビア| |||<死去>デイルヤ首長「サド1世イブン・アブドゥル・アズィーズ」  
1814年4月27日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>デイルヤ首長「アブドゥラー1世イブン・サド」(〜18180911)  
1814年4月27日-01:00|イタリア| |||<復位>トスカナ大公(ハプスブルク＝ロートリンゲン家)「フェルディナンド3世」(〜18240618)  
1814年4月28日-01:00|イタリア/オーストリア| |||ミノガ、オーストリア軍に占拠される  
1814年5月-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《弦楽四重奏曲第11番ヘ短調「セリオーソ」》  
1814年5月1日-01:00|ドイツ| |||<退位>ヴュルツブルク大公「Ferdinand3世」ハインツ王国に統合  
1814年5月3日-03:00|クウェート| |||<死去>クウェート統治者「シェイク・アブドゥラ1世・イブン・サハ・アル・サハ」  
1814年5月3日-03:00|クウェート| |||<就任>クウェート統治者「シェイク・ジャヒル1世・イブン・アブドゥル・ウッラー・アル・サハ」(〜1859年没)  
1814年5月3日 00:00|イギリス| |||<昇格>初代ウエルントン侯「アーサー・ウェルズリー」⇒初代ウエルントン公兼初代ドゥロ侯(〜18520914死去)

1820迄 (2692件)

1814年5月4日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Jose Miguel de Carvajal-Vargas y Manrique de Lara」(~11.15)  
1814年5月4日-01:00|スペイン| |||スペイン国王フェルナンド7世、カディス憲法を無効と宣言  
1814年5月10日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジェイコブ・ジョーダン」⇒総督「フランシス・デラウアル」(~1815年9月)  
1814年5月13日-09:00|日本|徳島県|文化11年3月24日|<死去>蜂須賀治昭(58歳)前阿波徳島藩主  
1814年5月16日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||アイルランド人ブライアンが指揮するアルゼンチン艦隊、モンテビデオのスペイン艦隊を壊滅に追込む  
1814年5月17日-01:00|モナコ/オーストリア| |||<就任>連合軍モナコ司令官「リッター・フォン・ハウアー(オーストリア)」(~同年)  
1814年5月17日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿国務長官「エルコレ・コンサルヴァーイ」(2回目~18230820)  
1814年5月17日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<即位>ノルウェー・デンマーク王「クリスチャン・フレデリック」(~10.10、退位)  
1814年5月17日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<退位>ノルウェー・デンマーク王「フレデリック6世」(~18391203死去71歳)  
1814年5月17日-01:00|モナコ/オーストリア/ロシア/ドイツ/イギリス| |||対仏大同盟諸国がモナコを占領(~18140617)  
1814年5月17日-01:00|ノルウェー| |||ノルウェー憲法制定  
1814年5月17日 00:00|イギリス| |||<死去>初代オクスロー伯「ジョージ・オクスロー」  
1814年5月17日 00:00|イギリス| |||<就任>2代オクスロー伯「トマス・オクスロー」先代の息子(~18270222死去)  
1814年5月18日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文化11年3月29日|<鞍馬山火災>鞍馬寺本堂以下の多くの堂舎を焼失し義経着用緋緞の鎧も失われた  
1814年5月19日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー首席国務長官「フレデリック・ゴットシャルク・フォン・ハックスハウゼン」(~8.20)  
1814年5月20日-09:00|日本| |||文化11年4月|<出版>西村中和「近江名所図会」  
1814年5月22日-09:00|日本|東京都墨田区|文化11年4月3日|<大相撲>文化11年4月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(東前2)揚羽,7勝1敗1分1休  
1814年5月22日-09:00|日本|北海道|文化11年4月3日|村松藩領全藩一揆起こる  
1814年5月23日-01:00|ドイツ| |||ルトヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン「フィデリオ」(第三稿)がケルトナート劇場で上演され、大成功をおさめる  
1814年5月23日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文化11年4月4日|<死去>水野忠光(44歳)前肥前唐津藩主  
1814年5月24日 04:00|ホリビア| |||ハスエラ、ブランコ将軍の部隊をサタクルスに派遣。ブランコ軍はサタクルスを占拠。その後アレリス=マルスの部隊を追撃。アレリス、フオリダに副王軍を迎撃し殲滅する。副王軍はサタクルスおよびサルタから撤退。  
1814年5月24日-09:00|日本|新潟県五泉市|文化11年4月5日|村松藩領全藩一揆ほぼ終息/約66軒打ちこわしをうける  
1814年5月30日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ公「オル4世」(~18190216没)  
1814年5月30日-01:00|フランス/イギリス/ドイツ/ロシア| |||同盟国とフランスとの間で第1次パリ条約が締結される  
1814年5月30日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||クラインが正式にオーストリアに返還される  
1814年5月30日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||クロアチアが正式にオーストリアに返還される  
1814年5月30日-01:00|イタリア/オーストリア| |||トリエステが正式にオーストリアに復元された(イリュリア内に残る)  
1814年5月30日 04:00|グアドループ/マルティニーク/フランス| |||グアドループとマルティニーク島が正式にフランス領になる  
1814年5月30日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||サント・ドミンゴのスペイン帰属が決定  
1814年6月4日-01:00|フランス| |||ルイ18世が、新体制の基礎となる憲章を制定  
1814年6月4日-09:00|日本|東京都江東区|文化11年4月16日|板倉内膳正内栗屋宗太郎(9歳)、深川堂で1000射中、通矢947本を射る  
1814年6月6日 00:00|イギリス| |||<死去>5代サントウィッチ伯「ジョン・モンタギュー」  
1814年6月6日 00:00|イギリス| |||<就任>6代サントウィッチ伯「ジョージ・ジョン・モンタギュー」先代の息子(~18180521死去)  
1814年6月10日-01:00|モンテネグロ/オーストリア| |||カッタロはオーストリアに復元(王領ダルマチアの一部)  
1814年6月15日 05:00|コロンビア/スペイン| |||スペイン軍、ラ・プエルトの戦いでホリバル軍を撃破、バレンシアを攻略  
1814年6月17日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ公国摂政「ジョセフ・マリー・ジェローム・オル・ゲリマルティエ(行政長官)」(~18150303)  
1814年6月17日-01:00|モナコ| |||<就任>モナコ総督・国務院議長「ピエール・アントワヌ・マリー・ルイ・ゴンザーク・デ・ミロ・テラツァーニ」(~18281222)  
1814年6月17日-01:00|モナコ| |||マントンとロヴリュヌはモナコ公国に復元  
1814年6月18日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・嘉慶19年5月|都(ソウル)で暴動発生(凶年で穀物不足のため)  
1814年6月19日-09:00|日本|栃木県大田原市|文化11年5月2日|<死去>大関増陽(31歳)前下野黒羽藩主  
1814年6月21日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ミントー伯「ギルバート・エリオット=マレー=キンマウント」  
1814年6月21日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ミントー伯「ギルバート・エリオット=マレー=キンマウント」(~18590731死去)  
1814年6月23日-05:30|インド| |||<就任>シンド国摂政「ファテ・シン」(~18190616)  
1814年6月23日 03:00|ウルグアイ/スペイン/アルゼンチン| |||モンテビデオのスペイン軍が降伏。ブエノスアイレス軍がモンテビデオを支配下に置く  
1814年6月23日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Spooner」(2期目~18150510)  
1814年6月24日-09:00|日本|福井県鯖江市|文化11年5月7日|鯖江藩、御稽古所(のち進徳館)を開く  
1814年6月25日 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カビー=諸島総司令官・総督「ジェームズ・卿リス」(~18150731)  
1814年6月25日-09:00|日本|新潟県長岡市|文化11年5月8日|越後・長岡藩領で、米価騰貴のための米屋うちこわしが起こる

1820迄 (2692件)

1814年6月26日-02:00|ギリシャ/イギリス| |||イギリス軍がコルフ島を占領  
1814年6月28日-05:30|インド| |||<就任>ホンチ国ラジャ「ミール・バース・カン」ジャンム・カシールが占領(〜8月)  
1814年6月28日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ東方州総督管理官「Juan Jose Duran」(〜7. 19)  
1814年7月 04:00|マルティニーク/イギリス| |||<就任>フランス領マルティニーク総司令官「John Lindsay」(〜9月)  
1814年7月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍フリゲート「モーク」(1350t)  
1814年7月1日 00:00|ポルトガル| |||<死去>マテウス総督「Luis Beltrao de Gouveia e Almeida」  
1814年7月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス暫定総督「会議/Joaquim de Meneses Athaide/Manuel C. de Almeida e Albuquerque/Antonio Alberto de Andrade Perdigao/Antonio Rodrigues de Sa」(〜18150422)  
1814年7月2日-09:30|オーストラリア/イギリス/インド| |||ブリック(帆船)「モニングスター(140トン)」がトリス海峡で難破。22人が死亡  
1814年7月2日-09:00|日本|新潟県|文化11年5月15日|<北越騒動(越後国)>幕領蒲原郡加茂・上条村で町家7軒打ちこわしを受ける  
1814年7月3日-09:00|日本|秋田県秋田市|文化11年5月16日|<土崎湊文化11年の大火>全市域8割が被災  
1814年7月5日 06:00|カナダ/アメリカ/イギリス| |||<米英戦争:チッパワの戦い>カナダ・オンタリオ州チッパワで米軍が初めて英軍に勝利  
1814年7月5日-09:00|日本|新潟県|文化11年5月18日|<北越騒動(越後国)>幕領蒲原郡中条町で打ちこわし起こる  
1814年7月6日-09:00|日本|新潟県|文化11年5月19日|<北越騒動(越後国)>白河藩預地蒲原郡五泉町で米屋10軒余打ちこわしを受ける  
1814年7月9日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>東方州知事「Nicolas Rodriguez Pena」(〜8. 25)  
1814年7月11日-05:30|インド| |||<就任>アフド 国統治者(ナワ、ワスイル・アル・マリア)「ガージョ・アド・デ・イン・ラファアット・アド・ダウ・アブール・モザッファル・ハイダル・カン」(〜18181019)  
1814年7月11日-09:00|日本|新潟県|文化11年5月24日|<北越騒動(越後国)>(15日〜)越後・蒲郡岩船町の幕府領で農民が大挙して富豪や庄屋などを打ち壊す  
1814年7月12日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「チャールズ・マッカーシー」(1回目〜12. 3)  
1814年7月13日-09:00|日本|京都府京都市東山区|文化11年5月26日|京都三十三間堂通矢、「半堂千射」で松野内蔵(13歳)が通矢数995(総矢数1,000本)を記録  
1814年7月14日-01:00|イタリア| |||<即位>モナ・レージョ公「フランチェスコ4世」(再興〜18460121死去66歳)  
1814年7月16日 05:00|コロンビア/スペイン| |||カラカス、スペイン軍の手に落ちる  
1814年7月18日 00:00|イギリス/オーストラリア| |||ロンドンで、マシュー・フリンダーズの『オーストラリア大陸への旅』出版される。書物の中で、フリンダーズ、大陸を「オーストラリア」と言及  
1814年7月19日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>パンタ・オリエンタル・デル・リオ・デ・ラ・プラタ州最高責任者臨時代表兼政治軍事総督「Nicolas Rodriguez de la Pena Funes」(〜8. 30)  
1814年7月19日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ対立総督・司令官(チリ⇒コンセプション)「マリアノ・デ・オリオ」(〜10. 10)  
1814年7月20日 06:00|ペリズ/イギリス| |||<就任>ペリズ 居留地管理者(ジャマカの知事に従属)「ジョージ・アーサー」(〜1822年4月)  
1814年7月23日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ最高監督「第10回政府理事会、国家主権代表:ホセ・ミゲル・デ・ラ・カレラ・ウエルト・ウーゴ」(4回目)/フリアン・ウリヴァ・リバス(ウリバ・リバス)/マヌエル・ムニョス・ウルスア」(〜10. 14)  
1814年7月25日 00:00|イギリス| |||スティーブンソン、蒸気機関車の試運転で、8輦の車輛を時速6.4km/hで引いて走った  
1814年7月25日 06:00|カナダ/イギリス/アメリカ| |||<米英戦争:ランデース・レーンの戦い>カナダ・オンタリオ州ランデース・レーンでアメリカ軍とイギリス軍が激しく戦闘、決着付かず  
1814年7月28日-09:30|オーストラリア| |||発疹チフスが発生したサリ号到着。死者50人  
1814年8月1日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー-国務長官「ピーター・ロデウィク ヨーゼフ・セルヴァエス・ファン・ゴッペルシュロイ」(〜1815年9月)  
1814年8月1日-01:00|オランダ| |||オランダがオーストラ領の低地地方を併合  
1814年8月1日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|文化11年6月16日|<死去>亀井矩貞(76歳)前石見津和野藩主  
1814年8月6日-05:30|インド| |||<就任>ナワガル国統治者(ジャム・サハブ)「サタジ・ラクハジ」(〜18200224没)  
1814年8月7日-04:00|アゼルバイジャン| |||<死去>タリシュ汗国ハン「ミール・ムスタファ・ハン」  
1814年8月7日-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>タリシュ汗国ハン「ミール・ハサン・ハン」(〜1826年6月)  
1814年8月8日-09:00|日本/イギリス/オランダ|長崎県長崎市|文化11年6月23日|蘭人カッサが再び英船で来航し蘭館の引き渡しを要求する/トーフは拒絶。蘭館を守り祖国の再興を期する  
1814年8月9日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、クリーク族とアメリカ軍の間で講和条約(フォート・ジャクソン条約)が結ばれ、クリーク戦争が終結  
1814年8月10日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メラ暫定総督「Manuel Ibarra」(〜同年)  
1814年8月13日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||イギリス-オランダ条約により、1803年1月1日現在のオランダ領インド植民地の領有地が復元される(ケプ、ガイナ、マハール海岸を除く)  
1814年8月13日 00:00|イギリス/オランダ| |||英国とオランダが「ロンドン条約」締結。マレー半島・スマトラ島間の勢力圏画定へ  
1814年8月13日 04:00|トリニダード・トバゴ/セントルシア/ガイアナ/イギリス| |||トリニダード・トバゴ、セントルシア、ガイアナ(エセキ、デメラ、ヘルベセ)は英国に帰属  
1814年8月14日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「イタリアのトルコ人」》  
1814年8月14日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督兼総司令官「Jose Tomas Boves Rodriguez」(〜12. 1死去)  
1814年8月18日 05:00|コロンビア/スペイン| |||アラガアで最後の決戦。スペイン軍は1万のうち2千を失う。独立軍は3千の兵

1820迄 (2692件)

がぼぼ玉碎

- 1814年8月19日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>フィンランド 国務委員会議長(サントヘ・テルブルク)「クヌート・フォン・トロイル」(18140912まで行動~18320909)
- 1814年8月20日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー首席国務長官「マルクス・ギョー・ローゼンクランツ」(~18150131)
- 1814年8月22日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「三頭政治(反乱):シジョン・ペレイラ・バレット/マヌエル・ゴメス・トリベイラ/アントニオ・デ・ミランダ・カルヴァーリョ」(~1815年4月)
- 1814年8月24日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<米英戦争:ブラデンスバーグの戦い>ワシントンD.C. イギリス軍により占拠されホワイトハウスは灰塵に帰す
- 1814年8月24日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍フリゲイト「ニュー・ヨーク」(1130t)ワシントンにてイギリスに拿捕されるのを防ぐため焼却処分
- 1814年8月25日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<死去>イギリス領ジブラルタル知事代理「Colin Campbell」
- 1814年8月25日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「ジョージ・ドン卿」(1期目~18211115)
- 1814年8月25日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>東方州知事「Miguel Estanislao Soler」(~18150225)
- 1814年8月27日-09:00|日本|長野県須坂市|文化11年7月13日|<死去>堀直皓(60歳)前信濃須坂藩主
- 1814年8月30日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ東方州総督管理官「Miguel Estanislao Benito Manuel Jacinto Jose Buenaventura Soler de Otarola」(~18150225)
- 1814年8月30日-09:00|日本|千葉県市原市|文化11年7月16日|<死去>上総五井藩1万石「有馬久保」(36歳)⇒嫡男「有馬氏貞」が継ぐ(⇒天保4(1833)年1月28日、死去)
- 1814年8月30日-09:00|日本|長崎県大村市|文化11年7月16日|<死去>大村純鎮(56歳)前肥前大村藩主
- 1814年8月31日-09:00|日本|福井県鯖江市|文化11年7月17日|<死去>越前鯖江藩5万石「間部詮允」(25歳)⇒9月22日、弟「間部詮勝」が継ぐ(⇒文久2(1862)年11月20日、1万石を減封し4万石、隠居)
- 1814年9月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ニコライ軍事知事「Aleksandr Yakovlevich Rudzevich」(~1815.12)
- 1814年9月-02:00|ギリシャ| |||ギリシアでフィリキ・エテリアが結成
- 1814年9月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク総司令官「Jean Anne Francois de Choiseul + Nicolas de Perrinelle Dumay」(~12.9)
- 1814年9月10日-09:00|日本| |||文化11年7月27日|<死去>3代常磐津兼太夫(54歳)浄瑠璃太夫
- 1814年9月11日 00:00|イギリス/アメリカ| |||米海軍、シャンプレン湖の戦いで勝利
- 1814年9月14日-01:00|イタリア| |||トスカナ大公フェルディナント3世がフィレンツェに復帰
- 1814年9月14日 06:00|アメリカ| |||フランス・スコット・キー「スター・スパンゲル・バナナ」作詞(1931年米国歌となる)
- 1814年9月15日-01:00|チュニジア| |||<死去>サイ朝ベイ「ハムダ」54歳
- 1814年9月15日 04:00|キューサ/イギリス| |||<就任>キューサ知事「John Le Couteur」(~18160304)
- 1814年9月15日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<米英戦争:ボルトイモアの戦い>(12日~)米軍がフォートマヘンリー砦を防衛(国歌「星条旗」誕生へ)
- 1814年9月17日-01:00|チュニジア| |||<即位>サイ朝ベイ「ウトマン・イブン・アリ」(~12.20殺される51歳)
- 1814年9月18日-01:00|デンマーク| |||アンホルト島がデンマークに復帰
- 1814年9月21日-09:00|日本|茨城県下妻市|文化11年8月8日|<死去>常陸下妻藩1万石「井上正広」(62歳)⇒弟「井上正建」が継ぐ(⇒文化13(1816)年9月14日、隠居)
- 1814年9月22日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長代行「ヨハン・コンラット・エッシャー・ヴァーム・ルーシュ」Con(~12.12)
- 1814年9月23日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ウィルトン伯「トマス・エジャートン」
- 1814年9月23日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ウィルトン伯「トマス・エジャートン」(~18820307死去)
- 1814年9月27日-09:00|日本|宮崎県日南市|文化11年8月14日|<死去>日向飢肥藩51000石「伊東祐丞」(18歳)⇒甥「伊東祐相」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1814年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロベグ・イコ・ベルツィ」「マリア・ジューゼッペ・マルベリ」
- 1814年10月2日 04:00|チリ/スペイン| |||ランカアアの戦いでチリがスペインに敗れる/チリは再びスペインの支配下に入る
- 1814年10月2日-09:00|日本| |||文化11年8月19日|<死去>初代中山文五郎(54歳)歌舞伎役者
- 1814年10月3日-05:30|インド| |||<就任>アンガル国ラジャ「ソマス・シン」(~18480131)、摂政「モハンラー」(~1816年)
- 1814年10月4日 04:00|パラグアイ| |||<就任>パラグアイ最高独裁者(18160601から永久最高独裁者)「セルカス・パウル・ロドリゲス・デ・フランシア・ベラスコ」(~18400920)
- 1814年10月4日-09:00|日本|愛媛県松山市|文化11年8月21日|<死去>俳人「栗田樗堂」
- 1814年10月5日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバ・グラタ連合州大統領代行「セルマリア・エウゼビオ・カルロス・テル・ロサリオ・テル・カステージョ・イ・ラタ」(~11.28)
- 1814年10月9日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|文化11年8月26日|<死去>松平直紹(56歳)前越後糸魚川藩主
- 1814年10月10日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー国務院「マクス・ジョエ・ローゼンクランツ/マティアス・オットー・レス・ゾンメルヒルム/シヨナス・コレット/ニルス・アル・カーステン・タンク・アンカー(海外、就任しなかった)/デ・イデリック・ヘーガーマン(15日~11.10)/トマス・ファースティング(15日~11.10)」(~11.10)
- 1814年10月10日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー総督「マクス・ジョエ・ローゼンクランツ」(~18141104)
- 1814年10月10日-01:00|ノルウェー| |||<退位>ノルウェー王「クリスチャン・フレデリック」
- 1814年10月10日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督・司令官(サンティアゴ)「マリア・ノ・デ・オソリア」(~18151226)
- 1814年10月12日-01:00|ドイツ| |||<即位>ハノーファー国王「ゲオルク3世」グレートブリテン国王(~18200129死去)
- 1814年10月12日 04:00|チリ/スペイン| |||カラに代わりセルカスがアラウコに進出.カンチャ・ラタでスペイン軍に闘いを挑むも敗北
- 1814年10月13日-09:00|日本| |||文化11年9月|<出版>歌川国丸「高祖大士真実録」

1820迄 (2692件)

1814年10月13日-09:00|日本| ||文化11年9月|<出版>歌川美丸「巢鴨名産菊の葉」  
1814年10月13日-09:00|日本| ||文化11年9月|<出版>合川亭珉和「漫画百女」  
1814年10月13日-09:00|日本| ||文化11年9月|地理学者伊能忠敬「沿海実測全図」完成  
1814年10月15日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メリウ総督「Jacinto Diaz Capilla」(~1821年)  
1814年10月16日-09:00|日本|広島県広島市|文化11年9月4日|安芸郡仁保島大河浦出火、130軒焼失  
1814年10月24日 07:00|メキシコ| ||<公布>アパツィンガン憲法  
1814年10月28日-09:00|日本|京都府京都市|文化11年9月16日|<就任>関白「一条忠良」(~文政6年0319)  
1814年10月29日 06:00|アメリカ| ||蒸気機関を持つ軍艦 Fulton 号が進水  
1814年11月1日-01:00|クロアチア/イタリア| ||フィウメはトリエステに従属  
1814年11月1日-09:00|日本|兵庫県朝来市|文化11年9月20日|<交替>但馬出石藩58000石「仙石久道」隠居⇒長男「仙石政美」が継ぐ(⇒文政7年5月3日(18240530)、死去)  
1814年11月4日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| ||<就任>ノルウェー総督「副王カール・ヨハン王子」(1回目~11日)  
1814年11月4日-01:00|ノルウェー| ||ノルウェー憲法が制定される  
1814年11月4日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| ||モス協定においてフレドリック王はノルウェー王位から退官し、ノルウェー王にはスウェーデンのカール13世が即位/1905年までスウェーデンとノルウェーは同君連合となった(スウェーデン=ノルウェー)  
1814年11月5日-09:00|日本|滋賀県野洲市|文化11年9月24日|<死去>遠藤胤富(52歳)前近江三上藩主  
1814年11月7日-04:00|セイシェル/イギリス| ||<就任>イギリス領セイシェル長官「エドワード・ヘンリー・マッジ」(~18260830)  
1814年11月7日 06:00|アメリカ| ||ジャクソン、フロリダのペンサコーラを占領  
1814年11月7日-09:00|日本|京都府京都市東山区|文化11年9月26日|京都三十三間堂通矢「半堂大矢数」で、奥田郡次郎(11歳)が11,760本(総矢数12,384)を記録  
1814年11月8日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|文化11年9月27日|<死去>近江仁正寺藩17000石「市橋長昭」(42歳)⇒11月29日、長男「市橋長発」が継ぐ(⇒文政5(1822)年正月晦日、18歳で死去)  
1814年11月9日-08:00|インドネシア| ||<即位>ジョグジャカルタ・スルタン「Hamengkubuwono4世」(~18231206)  
1814年11月10日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| ||<即位>ノルウェー国王「カール2世(スウェーデン王カール13世)」(~18180205没)  
1814年11月11日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| ||<就任>ノルウェー総督「エッセン伯爵ハンス・ヘンリック」(~18160621)  
1814年11月11日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文化11年9月30日|<交替>播磨姫路藩15万石「酒井忠道」隠居⇒弟「酒井忠実」が継ぐ(⇒天保6(1835)年4月27日、隠居)  
1814年11月15日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Pedro Cevallos Guerra」(3期目~18160124)  
1814年11月22日 04:00|ドミニカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領ドミニカ総督代行「ベンジャミン・ルーカス」(~18160418)  
1814年11月24日-08:00|中国| ||中国・雲南、石屏地震M6、死者数百人  
1814年11月25日 00:00|イギリス/イラン| ||イランとイギリスがテヘラン条約に調印  
1814年11月28日 05:00|コロンビア| ||<就任>メバケラタラ連合州大統領「セ・クステディオ・カターノ・ガルシア・ロペラ」(1回目~18150328)  
1814年12月 04:00|刊| ||サンチゴは副王軍の手に落ちた  
1814年12月1日 04:30|ベネズエラ/スペイン| ||<死去>スペイン領ベネズエラ総督兼総司令官「Jose Tomas Boves Rodrigue Z」  
1814年12月1日-09:00|日本|大阪府大阪市|文化11年10月20日|<死去>初代奈河七五三助(61歳)歌舞伎作者  
1814年12月2日-01:00|フランス| ||<死去>マルキト・サドがシャラントの精神病院で/74歳(誕生17400602)「悪徳の栄え」  
1814年12月2日-09:00|日本|東京都台東区|文化11年10月21日|江戸寛永寺本坊焼失  
1814年12月3日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ジョン・J・メイリング」(~18150124)  
1814年12月4日 05:00|ペルー| ||クスコで独立派の蜂起/ラパス、アヤクチョ、アレキパなどを占拠。独立宣言を発す  
1814年12月7日 04:00|グアドループ/フランス| ||<就任>グアドループ 暫定知事「Baron Eugene Edouard Boyer de Peyre leau」(~14日)  
1814年12月9日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリスの機械技術者ブラマー/65歳(誕生:17490413)/水洗トイレ、印刷機械、蒸気機関など多くの発明を行った  
1814年12月9日 04:00|マルティニーク/フランス| ||<就任>フランス領マルティニーク総司令官「Pierre Rene Marie」(1期目~1818年)  
1814年12月9日 06:00|アメリカ| ||アメリカ上院、合衆国銀行を設立する法案を可決  
1814年12月12日-01:00|スイス| ||<就任>スイス連合国会議長代行「ヨハン・(ハンス)・コンラッド・フィンスラー」(~14日)  
1814年12月12日 05:00|コロンビア/スペイン| ||ボリバル、ボゴタのスペイン軍の降服協定をとりつける。ボゴタ政府成立  
1814年12月12日-09:00|日本| ||文化11年11月|<刊行>葛飾北斎「北斎漫画」初編  
1814年12月12日-09:00|日本| ||文化11年11月|<刊行>曲亭(滝沢)馬琴「南総里見八犬伝」初巻  
1814年12月12日-09:00|日本|東京都中央区|文化11年11月|富本斎宮太夫(初代清元延寿太夫)が市村座に出演し、清元節を興す  
1814年12月14日 04:00|グアドループ/フランス| ||<就任>グアドループ 知事「Charles Alexandre Leon Durand」(~18150810)  
1814年12月16日-01:00|スイス| ||<就任>スイス連合国会議長代行「デビッド・フォン・ワイス2世」Con(1期目⇒21日、議長~18151231)  
1814年12月19日-09:00|日本|東京都墨田区|文化11年11月8日|<大相撲>文化11年11月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西大関)玉垣、7勝1敗1預1休  
1814年12月20日-01:00|チュニジア| ||<死去>フサイン朝ベイ「ウスマン・イブン・アリ」殺される/51歳

1820迄 (2692件)

1814年12月20日-01:00|チュニジア| |||<即位>サイン朝ベイ「マフムド・イブン・ムハンマド」(~18240328死去66歳)  
1814年12月22日-09:00|日本|岡山県岡山市|文化11年11月11日|岡山の神官・黒住宗忠が黒住教を開教  
1814年12月23日-09:00|日本|新潟県|文化11年11月12日|越後で大地震/家屋破壊無数/火災あり/死者3万余  
1814年12月24日 00:00|イギリス/アメリカ| |||ベルギーのガンで、アメリカとイギリスが平和条約を締結し、1812年6月以来のアメリカ・イギリス戦争が終結  
1814年12月25日-01:00|イタリア/オーストリア| |||トリエステはオーストリアに再編(イリュリア内)  
1814年12月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「ジジ・スモンテ」》  
1815年-08:00|モンゴル| |||<就任>化身ラマ「ルガ・サンチュルティムジゲメド(シェフ・ツンタンパ5世)」(~1841年没)  
1815年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>モルッカ諸島イギリス居留者代表「ロバート・Stuart」(~1816年)  
1815年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチ王国スルタン「シャリフ・サイフ・ウル・アラン」(~1819年)  
1815年-08:00|インドネシア| |||<即位>サンパス国スルタン「Muhammad 'Ali Shafi ud-din1世」(~1828年)  
1815年-08:00|インドネシア| |||<即位>シアク第9代スルタン「al-Sayyid al-Sharif Ismail Abdul Jalil Jalaluddin」(~1854年)  
1815年-08:00|インドネシア| |||<即位>バンナラン君主「Cakraningrat8世」(~1847年)  
1815年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「ナイ・パ・イ(タイ族)」(~1816年)  
1815年-07:00|タイ| |||<就任>パタニ・シャム知事「ナイ・ファイ」(~1816年)  
1815年-07:00|タイ| |||<即位>ラムフーン国主「ブンマムアン」(~1827年)  
1815年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「ツァプ・トドルジ」⇒「ソナム・ドルギヤル」(~1819年)  
1815年-05:45|ネパール| |||<即位>マスタング王「ジャム・デヴァル・ダグ・ラ・ラトス」(~1837年没)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>カンパラ国ラジャ「フルシヨッタム・マルドラーシ・プ・ラマル・ル・ライ」(~1821年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>クタル国統治者(ラナ)「ゴハール・チャント」(2回目~1824年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>ケニール国統治者(ターケル)「ムンガラ・ダス」(2回目~1816年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>クムハルサイン国統治者(タナ・サハブ)「ケハル・シン」(2回目~1839年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>クルヌール国支配者(ナワブ)「ムザファール・カーン」(~同年)⇒「ムナワル・カーン」(~1823年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>シルムル国ラジャ「ファテ・プ・ラカシュ」(~1850年6月没)、摂政「ケレリ・ラニ・サヒバ」(~1827年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>知ツク国統治者(ターケル・サヒブ)「カラム・シン」(~1819年没)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>ターコティ国統治者(ターケル)「セイツ・ラム」(~1854年没)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>タミ国統治者(ラナ)「ゴウアル・ダ・ン・シン」(~1867年没)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>ナラガル国ラジャ「ラム・サラン・スン」(2回目~1848年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>パガル国統治者(ラナ)「ジャガット・シン」(2回目~1828年8月)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>パシャル国統治者(ラナ)「マヘンドラ・シン」(~18160208)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>パジ国統治者(ラナ)「ルト・ラハル」(2回目~1842年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>パルサ国統治者(ターケル)「ジョグ・ラジ・シン」(~1858年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>パンスタ国統治者(ラジャ・サヒブ)「ウダ・イムジ4世」(~18281027没)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>パル・ラハラ国ラジャ「デワン・ナンダ・パル」(~管理者~1825年没)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>ポンチ国ラジャ「ラアッラー・カーン」(~1819年6月没)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>マフロク国統治者(ターケル)「サンサル・チャント」(2回目~1849年)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>マンガル国統治者(ラナ)「フリスタ・シン」(~1844年没)  
1815年-05:30|インド| |||<就任>ラジガル国支配者(ワット)「ネル・シン」(~1831年没)  
1815年-05:30|インド/イギリス| |||クタル国、知ツク国、バガット国、パガル国、パルサ国、ベジャ国はイギリス保護領  
1815年-05:30|インド| |||サンタリ国がクルに復元(~1841年)  
1815年-05:30|インド| |||ジャスワン国、スルプール国はハンジヤブに併合  
1815年-05:30|インド| |||ラジビプラ国をバローダが占領(~1820年)  
1815年-05:00|カザフスタン| |||<即位>ブケイ・オルダ・ハン「シカイ」スリの五男(~1823年)  
1815年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャッキ汗国ハン「イスマ・アイル・ハン」(~18190805)  
1815年-03:00|イェメン| |||<即位>上ヤファ・サルタン「Qahtan ibn Umar ibn Qahtan Al Harhara」(~1840年)  
1815年-03:00|ソマリア| |||<即位>マジーティーン・スルタン「Suldaan Cismaan "Bah-Dir" (Cismaan1世)」(~1842年)  
1815年-03:00|ジブチ| |||<即位>ラハイト・スルタン「ムハンマド・ヒン・ブルハン・ヒン・デニ」  
1815年-02:00|エスワティニ| |||<就任>スワジランド 最高支配者「ソグワ4世」(~1839年没)  
1815年-01:00|ドイツ| |||<再位>オルデンブルク大公「ゲイルヘルム(ペーター・フリートリヒ・ゲイルヘルム)」(~18230702死去69歳)  
1815年-01:00|ベナン| |||<死去>シュゲのゲルマンシュ国統治者「ハンバ・ニヨ2世」  
1815年-01:00|ニジェール| |||<就任>アイル国統治者(アメルカ)「ムハンマド・アル・バキ」(~1816年)  
1815年-01:00|ベナン| |||<就任>シュゲのゲルマンシュ国統治者「ケ・トニ2世」  
1815年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Francisco Antonio de Villar y Herrera」(1期目~同年)  
⇒総督「Luis Antonio Flores」(~1816年)  
1815年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ・プリンシペ 総督「Luis Joaquim Lisboa」  
1815年 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>ランサローテ島領主「Ana Maria de Castejon y Davila」  
1815年 00:00|トーゴ| |||<就任>ケニガバ 統治者(フィオ)「フォリ・トス」⇒「エウエ・ソーウ」(~1846年)  
1815年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「運営委員会」(~1816年)  
1815年 00:00|セカール| |||<就任>パウル統治者(ティーン)「アマリ・ジョル・ボルソ・ファル」(~1825年)  
1815年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島領土執行使「Emilius Marius Georgius Lobner」(~18160706)  
1815年 00:00|セカール| |||<就任>フウクトロ統治者統治者(アルマミ)「アリ・チェルノ・イフラー・ワーン」(~1816年)

1820迄 (2692件)

1815年 00:00|カナリヤ諸島| |||<就任>ランサローテ島領主「Maria Luisa de Silva y Castejon」(~18250715死去)、「Juan Bautista Maria de Queralt y de Pinos」(~18250715)

1815年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>フロレス島・コルヴォ島トナリ財長官「Pedro Jose Caupers」(~1832年)

1815年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド 検査官代理「Frederik Diderick Sechmann Fleischer」(~1817年)

1815年 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サクラメント新植民地ラ・ケル知事「Manuel de la Fuente」(~18171022)

1815年 04:00|アンティグア・バ・ブー・ダ| |||<就任>アンティグア大統領「ヘンリー・ローリンス」(~1817年)

1815年 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア聴問庁長官「マルティン・ロドリゲス」⇒「ファン・アントニオ・フェルナンデス(革命政府)」

1815年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ暫定総督「フランシスコ・デ・アヤラ・グティエーニョ・メー・イ・イ・カルテロン」(~1816年没)

1815年 06:00|カタ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタ 総督「ゴードン・ト・ラモント 卿」(~1816年)

1815年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ 植民地総督「ル・デ・ソト」(~1816年)

1815年1月-09:30|オーストラリア| |||ウィリアム・コックスら、バサートまでのブルー・マウンテンズ 越えの道路を完成

1815年1月 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サクラメント新植民地スペイン軍司令官「Jose Gervasio Artigas」(2期目~18171022)

1815年1月3日-01:00|オーストリア/フランス/イギリス| |||イギリス・フランス・オーストリアが対ロ秘密軍事同盟を結成

1815年1月8日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<米英戦争:ニューオーリンズの戦い>米ルイジアナ州ニューオーリンズ 攻略を目指していたイギリス軍がアメリカ軍に敗れる

1815年1月10日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ最高執政官「カルロス・マリア・デ・アルグエアル・パルバストロ」(~4. 18)

1815年1月10日 03:00|ウルグアイ| |||ウルグアイでフエイス派の自治政府「ウルグアイ東方共和国」を創設/アルティガスは北西部にもうひとつの行政組織「連邦同盟」を設立

1815年1月10日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官. 総督代行「ジョン・ハルフォア」(2期目~18160701)

1815年1月14日-09:00|日本|長崎県平戸市|文化11年12月5日|<死去>平戸新田藩1万石「松浦良」(25歳)⇒翌年1月、養子「松浦皓」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年8月21日、隠居)

1815年1月15日 06:00|アメリカ/イギリス| |||アメリカ海軍ユニテッド・ステーツ級フリゲイト「フレジデント」(2200t)イギリスに捕獲(⇒1818. 6. 破壊処分)

1815年1月23日-01:00|チュニジア| |||<就任>サイン朝大法官(首相)「ムハマト・アラビ・ザ・ロウ・カズ・ナール」(~18221029)

1815年1月24日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラ・レオネ植民地総督代行「ロバート・ハーデー」(~3月)

1815年1月24日 04:00|シント・マルテン/イギリス| |||イギリスがシント・マルテンのオランダ 部分を占領(~1815. 7)

1815年1月24日 04:00|サン・マルタン/オランダ| |||フランスのサンマルタン政権再開(~7月)

1815年1月27日-05:30|インド| |||<就任>アルガル国統治者(ラ・ラジャ)「パニー・シン」(~18570730没)、「バルガント・シン」(~1826年)

1815年1月27日 03:00|アルゼンチン| |||メー・イソ、大統領に4万の州兵を招集する権限を認める法案に署名

1815年2月1日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| |||<就任>ノルウェー首席国務長官「マティアス・オットー・レス・ソメルヒム」(~18220709)

1815年2月6日-09:00|日本| ||文化11年12月28日|<死去>榎本星布尼(83歳)俳人

1815年2月9日-09:00|日本| ||文化12年1月|<出版>葛飾北斎「絵本浄瑠璃絶句」

1815年2月9日-09:00|日本| ||文化12年1月|<出版>牧墨僊「墨僊叢画」

1815年2月9日-09:00|日本|京都府京都市右京区|文化12年1月|天龍寺法堂・方丈などの焼失

1815年2月11日 06:00|アメリカ/イギリス| |||第2次米英戦争(ボウヤー砦の戦い)約1000名強のイギリス軍が370名のアメリカ軍守備隊を降伏させた

1815年2月14日 00:00|イギリス| |||<死去>ドーセット公「ジョージ・ジョン・フレデリック・サックウィル」

1815年2月14日 00:00|イギリス| |||<就任>ドーセット公「チャールズ・サックウィル=ジャーマン」(~18430729死去廃絶)

1815年2月15日 06:00|アメリカ/イギリス| |||アメリカ上院、ガン条約批准

1815年2月24日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカの蒸気船製作者 Fulton

1815年2月24日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高政府議長「ル・マリア・テコロ・モロス・イ・ベ・レス・パボン」(~11. 13)

1815年2月26日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>東方州知事「Fernando Otorgues」(~7月)

1815年3月-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデ・イ「ハジ・ムハマト 6世ハナジ」(~4. 11)

1815年3月-01:00|ベルギー/フランス| |||フイヨンをフランスが占領(~同年)

1815年3月 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラ・レオネ植民地総督代行「チャールズ・マッカーシー」(2度目~6月)

1815年3月1日-09:00|日本|石川県|文化12年1月21日|加賀で大地震/小松城大破

1815年3月2日-05:30|スリランカ| |||<退任>キャンディ王国国王・シンハラ国王「シュリ・ガ・イクラマ・ラジャ・ヤシムハ」(~18320130死去)

1815年3月2日-05:30|スリランカ/イギリス| |||イギリスが、キャンディ王国の内乱に乗じてキャンディ王国を滅ぼす/キャンディは1つの州になる

1815年3月3日-01:00|モコ| |||<就任>モコ公国摂政「オル・グリアルデ・イ・ガ・アルンティワ(行政長官)」(~18190216)

1815年3月3日 06:00|アメリカ/アルジェリア| |||アメリカ、アルジェに対して宣戦布告

1815年3月4日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ東方州政治総督「Tomas Garcia de Zuniga y Warnes」(~21日)

1815年3月4日 05:00|ペルー/スペイン| |||フマカ、スペイン軍に敗れ処刑される

1815年3月6日-05:30|インド/イギリス| |||ヒュースブル国イギリスの保護領

1815年3月6日-01:00|ベルギー/ドイツ| |||マルメー、ユーペンはプロイセン(1871年からドイツ)の一部

1815年3月6日-09:00|日本|高知県高知市|文化12年1月26日|陽貴山に東照宮を勧進建立

1815年3月9日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領代行「ジャン・クリストム・アンペール」(2回目~10日)

1820迄 (2692件)

1815年3月10日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「アレクサンドル・サペ・ペション」(3回目~18180329)  
1815年3月12日-09:00|日本|大阪府高槻市|文化12年2月2日|<死去>永井直進(55歳)前摂津高槻藩主  
1815年3月13日-01:00|モコ/イギリス| |||<就任>モコ/イギリス司令官「フランス・パーク」(~6月)  
1815年3月13日-01:00|モコ/イタリア| |||モコをアングロサルベニアが占領(~11. 20)  
1815年3月16日-01:00|オランダ/ルンペン| |||<即位>オランダ王国国王「ウィレム1世」(~18401007)兼ルンペン公「ウィリアム1世」(⇒18150609大公~18401007)  
1815年3月16日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<編入>ベルギー⇒オランダ王国  
1815年3月16日-09:00|日本|滋賀県長浜市|文化12年2月6日|<交替>近江宮川藩13000石「堀田正毅」隠居⇒長男「堀田正民」が継ぐ(⇒天保9(1838)年8月19日、58歳で死去)  
1815年3月18日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領イリュリア王国ライパツ州総督代行「フランツ・カザヴァー・リッター・フット・フォン・フッデネック」(~18170103)  
1815年3月18日 10:00|ポリネシア| |||<就任>アヒネ統治者「Teri`i tari`a Ari`i paea vahine」(~18520318)  
1815年3月19日-09:00|日本|東京都千代田区|文化12年2月9日|<改名>清水徳川家3万俵「徳川菊千代」⇒「徳川斉順」(⇒文化13(1816)年6月3日、紀州藩主「徳川治宝」の養嗣子となる)  
1815年3月20日-01:00|アントラ| |||<再任>アントラ公国共同大公「フランス皇帝(ホナハルト家)ナポレオン1世」  
1815年3月20日-01:00|フランス| |||ルイ18世がパリから逃亡、ナポレオンがパリに入り第一帝政再興(百日天下)<復位>フランス国王(ホナハルト朝)「ナポレオン1世」(~18150622)  
1815年3月21日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ総督「Fernando Otorgues」(~6. 23)  
1815年3月23日 00:00|イギリス| |||イギリス議会在穀物法を制定し、安価穀物の輸入を規制  
1815年3月26日-08:00|中国| |||<死去>ダライ・ラマ9世「ソナム・ギャツォ」  
1815年3月26日-08:00|中国| |||<就任>チベット摂政「第7代デモリンポチェ」(~18190328)  
1815年3月28日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバグラタ連合州大統領「ホセ・ミゲル・ペーイ・イ・ガルスア・デ・アントラーデ」(~18150728)  
1815年3月30日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「フルシット・アフメト・パシャ」(~10. 27)  
1815年3月30日-09:00|日本| ||文化12年2月20日|<死去>芝山持豊(74歳)権大納言、歌人  
1815年4月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリツァ総督「Georg Ritter von Oechsner」(~8月)  
1815年4月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ジョアン・カブラル・ダ・クニャ・グッドルフィム」(1回目~1818年4月)  
1815年4月1日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メフメト・エミン・ラウフ・パシャ」(1期目~18180105)  
1815年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」  
1815年4月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セントトーマス島総督「Peter Lotharius von Oxholm」(~18160501)  
1815年4月6日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Athanase Hyacinthe Bouvet de Lozier」(~18170630)  
1815年4月7日-01:00|イタリア| |||オーストリア系のロンバルド=ヴェネツィア王国成立/首都はミラーノ  
1815年4月10日-08:00|インドネシア| |||<噴火>(~12日)インドネシア、タンボラ山、直径6kmのカレーラ形成。火砕流、津波、疫病、飢饉などで犠牲者数117,000人  
1815年4月10日-09:00|日本| ||文化12年3月|<完成>司馬江漢、長崎紀行「江漢西遊日記」  
1815年4月10日-08:00|中国| ||清・嘉慶20年3月|清が外国商船のアヘンもちこみを禁止  
1815年4月10日-09:00|日本|東京都港区|文化12年3月1日|<大相撲>文化12年3月場所[江戸西久保八幡宮](10日間)優勝:(東大関)柏戸、7勝1敗1無勝負1休  
1815年4月11日-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデイ「オマル・アガ」(~18170502没)  
1815年4月15日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セントトーマス島・セントジョン島総督「Christian Ludvig von Holten」(1期目~18180701)  
1815年4月17日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文化12年3月8日|<死去>山城淀藩102000石「稲葉正備」(41歳)⇒長男「稲葉正発」が継ぐ(⇒文政6(1823)年6月21日、23歳で死去)  
1815年4月18日 03:00|アルゼンチン| |||<辞任>リオ・デ・ラ・プラタ最高執政官「カルロス・マリア・デ・アルベアル」反乱によって  
1815年4月20日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ最高執政官「ホセ・ロント」(~4. 21, 就任直後に辞任)  
1815年4月21日-05:30|インド| |||<就任>テリガルワール国ラジャ「スタルジャン・シャ」建国(~18590607没)  
1815年4月21日-05:30|インド/イギリス| |||ガルワ(ケリハヴァ)国はイギリス保護領  
1815年4月21日 03:00|アルゼンチン| |||<辞任>リオ・デ・ラ・プラタ最高執政官「ホセ・ロント」  
1815年4月21日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ最高執政官「イグナシオ・アルバレス・トマス」(~18160416)  
1815年4月22日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マティグス総督「Florencio Jose Correia de Melo」(~1819. 5死去)  
1815年4月23日-08:00|フィリピン/メキシコ| |||メキシコとフィリピン間のガレオン貿易が廃止される  
1815年4月23日-01:00|セルビア/トルコ| |||セルビア王家のミロシュ・オブレノヴィッチがオスマン帝国に対する第2次セルビア蜂起を起す(~18170726)  
1815年4月27日-01:00|チエコ| |||<就任>モラヴィア総督「ミロフスキー・フォン・ミトウ・イツ・ウント・ネシウル伯爵アントン・フリードリヒ1世」(~18270123)  
1815年4月28日-09:00|日本| ||文化12年3月19日|<死去>狩野融川。製作を手掛けた朝鮮へ贈呈する屏風に対し、老中から不満を示され、憤激して下城途中に切腹(38歳)絵師  
1815年5月 04:00|ポリネシア/アルゼンチン| |||ポトスをアルゼンチンが占領(~1815年12月)  
1815年5月 05:00|ペルー| |||フマカの反乱軍、シヤニの戦いでホアン・ラミスの率いる政府軍に破れ、処刑される

1820迄 (2692件)

1815年5月3日-01:00|ポーランド/ドイツ/ロシア/オーストリア| |||<成立>クラクフ共和国(〜18461116オーストリアに併合)  
1815年5月3日-01:00|オーストリア| |||ミュラ、トレンティーノで奥軍にやぶれ退却/トレンティーノはオーストリア領に  
1815年5月6日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「ジョセフ・ジャック・ザビエル・マリー・デ・スノスト・ケルジャン」(到着、就任を妨害された〜同年)  
1815年5月9日-09:00|日本| ||文化12年4月|<出版>「北斎漫画」二・三編及び「踊独稽古」  
1815年5月9日-09:00|日本| ||文化12年4月|杉田玄白が「蘭学事始」を著す  
1815年5月9日-09:00|日本|山口大学|文化12年4月|長州藩士上田續明(鳳陽)山口に山口講堂を創設  
1815年5月10日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「James Leith卿」(〜18161016死去)  
1815年5月10日 04:00|アンティグア・バーブーダ/イギリス| |||<就任>リーワード・カビレ諸島総司令官・総督代行「ジョン・ユリス」(3回目〜6.26)  
1815年5月11日-05:30|インド| |||<就任>パオ国支配者(ナワブ)「アミール・アル・モル」(〜18381018没)  
1815年5月12日-01:00|ルクセンブルグ/オランダ| |||<就任>オランダ・ルクセンブルグ総督「ヨハン・ギスベルト・ヴァルエルストルク・ファン・ゾーレン」(〜18151009)  
1815年5月20日-01:00|イタリア| |||ミュラ、ナポリを脱出コルシカへ  
1815年5月20日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督代行「イスレイフ・エイナルソン」(〜18160512)  
1815年5月20日-09:00|日本|福島県福島市|文化12年4月12日|<死去>陸奥福島藩3万石「板倉勝長」(55歳)⇒長男「板倉勝俊」が継ぐ(⇒天保5(1834)年12月13日、隠居)  
1815年5月22日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「ホセ・ヒント・アルコフォラド・デ・アゼベド・エ・ソウザ」(〜18191113)  
1815年5月22日-01:00|イタリア| |||<復位>ナポリ王「フェルディナンド4世」シチリア王「フェルディナンド3世」(〜18161212)  
1815年5月23日-09:00|日本|東京都千代田区|文化12年4月15日|<就任>老中「酒井忠進」(〜文政1年7月23日)  
1815年5月27日 04:00|BES諸島| |||<就任>ポネール副司令官「Samuel Bartholomeus van den Broek」(⇒1816年司令官〜18171011死去)  
1815年6月 00:00|シラレネ/イギリス| |||<就任>イギリス領シラレネ植民地総督代行「ウィリアム・アッフルトン」(〜30日)  
1815年6月 03:00|ウルグアイ/アルゼンチン| |||アルティガス、モンテビデオのブエノスアイレス軍を駆逐。ウルグアイの支配を確立  
1815年6月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ファン・ホセ・デ・エストラーダ」(〜1816.1)  
1815年6月 07:00|メキシコ| |||カジェハ、副王に着任。モロシ追討に全力を注ぐ。アグスティン・イトゥルビデに率いられた副王軍がモロシ軍を撃破  
1815年6月1日 06:00|アメリカ| |||<竣工>アメリカ海軍外輪フリゲイト「フルトン」(1450t)  
1815年6月3日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||<復元>ダルマチア王国(オーストリア国内)  
1815年6月5日 04:00|マルティニーク/イギリス| |||<就任>フランス領マルティニーク総司令官「James Leith」イギリス司令官(〜18日)⇒「Francis Delaval」イギリス司令官(〜1816年)  
1815年6月5日 04:00|マルティニーク/イギリス| |||マルティニークをイギリスが占領(〜18160428)  
1815年6月5日-09:00|日本|岩手県花巻市|文化12年4月28日|南部藩領八幡・寺林通の各村が買上げ米などに反対して強訴  
1815年6月6日-09:00|日本|大阪府大阪市|文化12年4月29日|<就任>大坂城代「松平右京大夫輝延」(〜文政5.7.1)  
1815年6月8日-01:00|ドイツ| |||メッテルニヒの主導で、39国よりなるドイツ連邦が成立  
1815年6月8日-09:00|日本|東京都中央区|文化12年5月|「今様須磨の写絵」初演、江戸市村座[詞・二代目桜田治助、曲・清澤萬吉、振・藤間勘十郎]  
1815年6月9日-02:00|南アフリカ/オランダ/イギリス/スリランカ| |||ウィーン会議でイギリスはオランダからセイロン(スリランカ)と、南アフリカのケープ植民地を獲得  
1815年6月9日-02:00|フィンランド/スウェーデン/ロシア| |||ウィーン会議でロシアはスウェーデンよりフィンランドを獲得  
1815年6月9日-01:00|ポーランド/ドイツ/ロシア| |||<再解体>ワルシャワ公国⇒ロシア領ポーランド立憲王国とプロシヤ領ポズナń大公国に分割領有  
1815年6月9日-01:00|ドイツ| |||<再任>ヘッセン＝ホンブルク方伯「フリードリヒ5世」ウィーン会議の決定により領邦としての地位を回復し、ドイツ連邦に加盟(〜18200120死去)  
1815年6月9日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ポズナń大公国総督「アントニ・ヘンリク・ラジヴィウ」(〜1830.12)  
1815年6月9日-01:00|ルクセンブルグ| |||<昇格>ルクセンブルグ公国⇒ルクセンブルグ大公国  
1815年6月9日-01:00|ポーランド/ロシア| |||<即位>ポーランド立憲王国国王「アレクサンドル1世」ロシア皇帝(〜18251201死去)  
1815年6月9日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<即位>ポズナń大公「フリードリヒ・ヴィルヘルム3世」プロシヤ王(〜18400607死去)  
1815年6月9日-01:00|イタリア| |||<即位>ロンバルド＝ヴェネチア王「フランチェスコ1世」建国。首都はミラーノ(〜18350302死去)  
1815年6月9日-01:00|サンマリノ| |||ウィーン会議で、サンマリノの独立が再確認される  
1815年6月9日-01:00|オーストリア/イタリア| |||ウィーン会議でオーストリアは北イタリアのロンバルディア、ヴェネチアを獲得  
1815年6月9日-01:00|イタリア| |||ウィーン会議でサルデーニャ王国はナポレオン戦争で失った領土を回復。同時にジェノヴァを吸収  
1815年6月9日-01:00|スイス| |||ウィーン会議でスイスの独立と永世中立が国際的に認められる  
1815年6月9日-01:00|スウェーデン/デンマーク/ノルウェー| |||ウィーン会議でスウェーデンがデンマークからノルウェーを獲得、同君連合下に入れる(スウェーデン＝ノルウェー連合王国)  
1815年6月10日-09:00|日本|東京都江東区|文化12年5月3日|丸岡藩士太田尾従太宗功、深川の千射興行で616本(矢数帖では611本)を射通す  
1815年6月12日-01:00|ドイツ| |||ドイツのイエナー大学で学生組合が創立

1820迄 (2692件)

1815年6月14日-01:00|ベルギー/フランス/ドイツ| |||ナポレオン軍がシャルロットに進出し、プロシア軍が敗走  
1815年6月15日-01:00|ポーランド| |||<死去>アレクサンドル公「フリードリヒ・ヴィルヘルム」  
1815年6月15日-01:00|ドイツ| |||<死去>プランスジュ・アイク公「フリードリヒ・ヴィルヘルム黒公」(エールス公)カトル・プーラの戦いで戦死  
1815年6月15日-01:00|ポーランド| |||<就任>アレクサンドル公「カル2世」(~1826年解任)  
1815年6月15日-01:00|ドイツ| |||<即位>プランスジュ・アイク公「カル2世」フリードリヒ・ヴィルヘルムの息子(~18300909退位)  
1815年6月16日-01:00|ベルギー/フランス/イギリス/オランダ| |||<カトル・プーラの戦い>ベルギー中部で英蘭連合軍がフランス軍攻撃を死守  
1815年6月18日-01:00|ベルギー/フランス/ドイツ/イギリス| |||ワーテルローの戦いでナポレオンはイギリス・プロシア連合軍に敗退  
1815年6月19日-01:00|アルジェリア/アメリカ| |||米艦、アルジェの戦艦を拿捕  
1815年6月20日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ連邦元首「フランツ1世(オーストリア皇帝)」(~18350302)  
1815年6月20日-01:00|ドイツ/オーストリア/リヒテンシュタイン| |||<発足>ドイツ連邦(18150608にウィーンで署名~18660824)加盟諸邦:オーストリア帝国、プロシヤ王国(18660614退去を公表、18660616連邦政府によって除名)、バイエルン王国、ザクセン王国、ハノーファー王国、ヘッセン選帝侯国、ヘッセン大公国、リヒテンシュタイン公国(18480412からシュレズヴィヒ公国分離)、ルクセンブルク大公国、プランスジュ・アイク公国、ナッサウ公国、ザクセン=ワイマル=アイゼナハ大公国、ザクセン=ゴータ公国、ザクセン=コーブルク公国(18250211、ザクセン=コーブルク=ゴータ公国、ザクセン=マインゲン公国、ザクセン=ヒルトブルクハウゼン公国に再編)、メクレンブルク=シュトレリッツ大公国、オルデンブルク大公国、アンハルト=デッサウ公国、アンハルト=ベルンブルク公国、アンハルト=ケーテン公国(18630830、3公国をアンハルト公国に再編)、シュヴァルツブルク=ゾーネンハUSEN侯国、シュヴァルツブルク=ルドルフシュタット侯国、ホーエンツォレルン=ヘンゲン侯国(18500312、プロシヤに併合)、リヒテンシュタイン侯国、ホーエンツォレルン=シグマリンゲン侯国(18500312、プロシヤに併合)、ヴァルデック侯国、ロイス侯国(兄系)、ロイス侯国(弟系)、シャウムブルク=リッペ侯国、リッペ侯国、ラウエンブルク、自由都市リュベック、自由都市フランクフルト、自由都市ブレーメン、自由都市ハンブルク  
1815年6月22日-01:00|フランス| |||<再退位>フランス皇帝「ナポレオン」百日天下が終結  
1815年6月22日-01:00|アントワープ| |||<就任>アントワープ公国共同大公「フランス皇帝(ナポレオン家)ナポレオン2世」(~7. 7)  
1815年6月22日-01:00|フランス| |||<即位>名目上フランス皇帝「ナポレオン2世」ナポレオン・ボナパルトの子フランソワ(~7. 7)  
1815年6月23日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ総督代理「Pedro Pablo Perez」(~1816年)  
1815年6月25日-09:00|日本|愛媛県今治市|文化12年5月18日|今治藩、池内八郎兵衛屋敷跡へ藩校(克明館)を再興  
1815年6月26日 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス| |||<就任>リワード・カビエ諸島総司令官・総督代行「ヘンリー・ローリンズ」(~18161016)  
1815年6月27日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ジョン・トマス・Layard」(1期目~9. 18)  
1815年6月28日-01:00|ドイツ| |||<昇格>オルデンブルク公「ヴィルヘルム(ヘンリー・フリードリヒ・ヴィルヘルム)」⇒オルデンブルク大公(~18230702死去)  
1815年6月28日-01:00|ドイツ| |||<昇格>ザクセン=ヴァイマル=アイゼナハ公「カール・アウグスト」⇒ザクセン=ヴァイマル=アイゼナハ大公(~18280614死去)  
1815年6月28日-01:00|ドイツ| |||<昇格>メクレンブルク=シュヴェリーン公「フリードリヒ・フランツ1世」⇒大公(~18370201死去)  
1815年6月28日-01:00|ドイツ| |||<昇格>メクレンブルク=シュトレリッツ公「カール2世」⇒大公(~18161106死去)  
1815年6月28日-09:00|日本|東京都|文化12年5月21日|<死去>鳥居清長(64歳)浮世絵師  
1815年6月30日-01:00|アルジェリア/アメリカ| |||アメリカ、アルジェと講和条約締結  
1815年6月30日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ヘンリー・ハリー・ハイト」(~9. 13)  
1815年7月 03:00|ウルグアイ| |||<就任>東方州知事「Miguel Barreiro」(~18170120)  
1815年7月 04:00|サン・マルタン/イギリス| |||<就任>イギリス領サン・マルタン司令官「Thomas Inches」(~1816. 10)  
1815年7月 04:00|サン・マルタン/イギリス| |||イギリスがセント・マルテンのフランス部分を再占領(~18161122)  
1815年7月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍インディペンデンス級戦列艦「インディペンデンス」(1891t, チャールズ・タウン海軍工廠で建造)  
1815年7月3日-01:00|フランス/ドイツ/イギリス| |||イギリス・プロシア同盟軍がパリへ再入城し、ふたたび占領  
1815年7月7日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王(復古ブルボン朝)「ルイ18世」(~18240916)  
1815年7月7日 04:00|グレートブリテン/イギリス| |||<就任>グレートブリテン総督代行「ジョージ・ハタソン」(1回目~9月)  
1815年7月7日-09:00|日本|大分県竹田市|文化12年6月1日|<交替>豊後岡藩70440石「中川久貴」隠居⇒婿養子「中川久教」が継ぐ(⇒天保11年9月28日(18401023)、死去)  
1815年7月8日-01:00|アントワープ| |||<再任>アントワープ公国共同大公「フランス王(ブルボン家)ルイ18世」(~18240916)  
1815年7月9日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国初代首相「シャルル・モリス・ド・タレーラン=ペリゴール」(~18150926)  
1815年7月22日-01:00|ベルギー/ルクセンブルク| |||プロシヤはルクセンブルクの一部  
1815年7月26日-01:00|ドイツ| |||<加盟>ドイツ連邦:バーデン大公国  
1815年7月28日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバ・グラナダ連合州大統領「マヌエル・ファン・ロプ・ステイアーノ・デ・ロス・トモス・ロドリゲス・トリベス・イ・キロス」(~11. 15)  
1815年7月30日-09:00|日本|奈良県桜井市|文化12年6月24日|<死去>織田長教(83歳)前大和芝村藩主  
1815年7月31日 00:00|イギリス| |||イギリス・イングランド・北東部サンダーランド郊外で実験段階の蒸気機関車「Mechanical Traveller」のボイラーが爆発し、見物人など13~16人が死亡  
1815年8月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリシア州大統領「Franz Seraph Freiherr von Hauer」(~18170930)  
1815年8月 05:00|コロンビア/スペイン| |||カルタヘナでボヘスの指導する王政派の反乱が起き、独立派は敗北  
1815年8月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ジャック級フリゲイト「ジャック」(1508t, Flannigan & Parsonsで建造)  
1815年8月5日-09:00|日本|東京都台東区|文化12年7月|江戸浅草牛頭天王別荘大円精舎で、朝顔合わせ(コンクール)あり  
1815年8月5日-07:00|ベトナム| ||越南・嘉隆14年7月|嘉隆律例の発布  
1815年8月7日-01:00|スイス| |||スイスが、22の州よりなる連邦国家になる

1820迄 (2692件)

1815年8月8日-01:00|フランス| |||仏邦・レオン・セント・ヘレ島へ配流  
1815年8月9日-09:00|日本|福島県いわき市|文化12年7月5日|<交替>陸奥泉藩2万石「本多忠誠」隠居⇒長男「本多忠知」が継ぐ(⇒天保7(1836)年11月5日、隠居)  
1815年8月10日 04:00|グアドループ/イギリス| |||<就任>グアドループ 総督「Sir James Leith」(~18160726死去)  
1815年8月10日 04:00|グアドループ/イギリス| |||グアドループをイギリスが占領(~18160726)  
1815年8月10日 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||スペイン王室、通商自由法を制定。島民による外国との貿易を認め、外国人の入国を許可  
1815年8月12日 00:00|イギリス| |||<死去>6代セント・オールバンス公「オーブリー・ボークレーク」  
1815年8月12日 00:00|イギリス| |||<就任>7代セント・オールバンス公「オーブリー・ボークレーク」(~18160219死去)  
1815年8月12日-09:00|日本|秋田県秋田市|文化12年7月8日|<死去>出羽久保田藩205800石「佐竹義和」(41歳)⇒9月17日、長男「佐竹義厚」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年9月8日、死去)  
1815年8月18日-05:30|インド| |||<就任>ティルヴァティムコ王国摂政「ガウリ・パールヴァティ・イ・バイ」(~18290421)  
1815年8月26日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/イギリス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島イギリス司令官「David Buchan」(~同年)  
1815年8月26日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍インディペンデンス級戦列艦「ワシントン」(2257t, ホーヰマス海軍工廠で建造)ホーヰマスにて  
1815年9月-05:30|インド/イギリス| |||タミル国はイギリス保護領  
1815年9月 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「エドワード・ステュアート」(~1816年7月)  
1815年9月 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ 総督「チャールズ・ジョーリー卿」(2回目~11.30)  
1815年9月1日-01:00|ドイツ| |||<加盟>ドイツ連邦:ヴュルテンベルク王国  
1815年9月2日-01:00|ルクセンブルク/ベルギー| |||<就任>ルクセンブルク総督「ジャン・ジョルジュ・オットン・ヴィクトラン・ザ・カリー・ウィルマー」(~18301231)  
1815年9月3日-09:00|日本| ||文化12年8月|<刊行>仙石政和「類聚国史」(892年菅原道真編、散逸していたものをまとめる)  
1815年9月3日-09:00|日本| ||文化12年8月|<出版>大阪の狂画堂蘆洲「芝翫節用戯通」  
1815年9月4日-05:30|インド/イギリス| |||マロガ国はイギリス保護領  
1815年9月5日-09:00|日本|長野県長野市|文化12年8月3日|<死去>真田幸弘(76歳)前信濃松代藩主  
1815年9月6日-05:30|インド/イギリス| |||ケントール国はイギリス保護領  
1815年9月7日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍戦列艦「コンバース」(2480t, ワシントン海軍工廠で建造)  
1815年9月8日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|文化12年8月6日|<死去>近江水口藩25000石「加藤明允」(33歳)⇒9月27日、長男「加藤明邦」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年2月5日、隠居)  
1815年9月13日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ジェームズ・チザム」(~1816年7月)  
1815年9月20日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランケバル)総督(ギュバーン)「ケルハルト・シーヴァース・ヒル」(~18161119没)  
1815年9月21日-05:30|インド/イギリス| |||シルム国、バジ国はイギリス保護領  
1815年9月26日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第2代首相「アルマン・エマニュエル・ド・ヴァレノワ・デュプレシ」(~18181209)  
1815年9月26日-01:00|オーストリア/ロシア| |||ロシア暦9月14日|パリで、ロシア皇帝アレクサンドル、オーストリア皇帝フランツ、プロシヤ王フリードリッヒ・ウィルヘルムが署名して、女予言者の提言する「神聖同盟」が成る  
1815年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マリア・ベルツツィ」「フィリッポ・フィリッピ」  
1815年10月3日-09:00|日本| ||文化12年9月|<出版>歌川豊国「四天王大阪入」  
1815年10月4日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「イギリス女王エリザベッタ」》  
1815年10月5日-01:00|ドイツ| |||<就任>ドイツ連邦議会大統領特使(フランクフルト・アム・メイン)「フランツ・ヨーゼフ・フライヘル・フォン・アルビニ・アウ・デ・ユルトリート」(~12.16)  
1815年10月5日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<就任>ドイツ連邦大統領「オーストリア皇帝」(~18660824)  
1815年10月13日-08:00|台湾| |||台湾、台北淡水地震/M6.7~7.7、死者約100人  
1815年10月13日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>元両シチリア王「ジョアッキーノ1世(ジョアキーン・ボナパルト・ミュー)」銃殺  
1815年10月15日-01:00|フランス| |||フランスの物理学者ジャン・フレネルは、光の波動説の論文「光の回折について」を科学アカデミーに提出  
1815年10月15日 00:00|セントヘレ/フランス/イギリス| |||ナポレオン1世、英国政府により南大西洋の孤島セントヘレに流刑  
1815年10月22日 00:00|セントヘレ/イギリス| |||<就任>イギリス領アセンション島司令官「ジェームズ・カーニー・ホワイト」(~18160318)  
1815年10月22日 00:00|セントヘレ/イギリス| |||アセンション島:英国が所有権を取得  
1815年10月23日-08:00|中国| |||中国・山西省、平陸地震M6.8、死者13090万人  
1815年10月23日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文化12年9月21日|<交替>大和小泉藩11129石「片桐貞彰」隠居⇒長男「片桐貞信」が継ぐ(⇒天保12(1841)年9月21日、隠居)  
1815年10月27日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「スレイマン・パシャ」(~18180123)  
1815年11月-05:30|インド/イギリス| |||カッチ国はイギリス保護領(18191013条約により確認)  
1815年11月4日-09:00|日本|千葉県富津市|文化12年10月4日|<死去>保科正率(64歳)前上総飯野藩主  
1815年11月5日-02:00|ギリシャ/イギリス| |||<発足>英国保護領イオニア諸島合衆国(コルフ島、ケファロニア島、ザンティ島、サントマウ島、イカ島、セゴ島、パクス島の7つの島からなる連邦共和国)  
1815年11月5日-01:00|アルバニア/ギリシャ/イギリス| |||サノ島は、イギリス保護領イオニア諸島の一部となる  
1815年11月6日-01:00|オーストリア| |||<創設>オーストリア国立大学(工学と自然科学を研究⇒ウィーン工科大学)

1820迄 (2692件)

1815年11月6日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|文化12年10月6日|<交替>駿河小島藩1万石「松平信圭」隠居⇒長男「松平信友」が継ぐ(⇒天保7(1836)年5月14日、隠居)

1815年11月9日 00:00|イギリス| ||イギリスで炭鉱内でも使える安全灯発明

1815年11月12日-09:00|日本| ||文化12年10月12日|<死去>初代野沢吉兵衛(不明)浄瑠璃三味線方

1815年11月13日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ最高政府議長「イクナオ・アラス」(~12.15)

1815年11月14日 06:00|ニカラガア| ||<即位>モスキート王「ジョージ3世フレリック・アウグストゥス」(~18240309)

1815年11月15日 05:00|コロンビア| ||<就任>ヌエバ・グラナダ連合州大統領「ホセ・カミロ・クレメンテ・トレス・テリオ」(~18160314)

1815年11月15日 10:00|ポリスシア| ||<就任>ツシエ諸島統治者「Pomare2世」(2期目~18211207)

1815年11月16日-09:00|日本|東京都|文化12年10月16日|<死去>初代尾上松緑(72歳)歌舞伎役者(初代尾上松助)

1815年11月16日-09:00|日本|栃木県日光市|文化12年10月16日|日光山五重塔が全焼

1815年11月17日-09:00|日本|大分県速見郡日出町|文化12年10月17日|<死去>豊後日出藩25000石「木下俊良」(21歳)⇒弟「木下俊敦」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年8月16日、隠居)

1815年11月18日-05:30|インド| ||<就任>ジュバル国統治者(ナ)「フラン・チャンド」イギリス保護領(2回目~1839年)

1815年11月20日-01:00|ドイツ| ||ザールラントをプロシヤ(ライン州の一部)に併合。一部はバイエルン州(フアルツ州の一部)に併合

1815年11月20日-01:00|オーストリア/フランス/ドイツ/イギリス/ロシア| ||パリで、ナポレオン追放後の第2次パリ条約が締結され、イギリス、ロシア、オーストリア、プロシヤが四国同盟を結ぶ/フランスの侵略戦を防止し、パリ条約を監視するため

1815年11月21日-01:00|セルビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「マシュリ・アリ・パシャ」(~18171106)

1815年11月21日-01:00|セルビア| ||<就任>セルビア公国管理評議会会長「ペトル・コラエヴィッチ・モレル」(~18160516)

1815年11月21日-09:00|日本|東京都足立区|文化12年10月21日|酒井抱一や谷文晁ら文人を審査員に招き、酒飲み比べが催される。酒を九升一合飲んで千住宿の松助、饅頭を九九個も食べた千住掃部屋の八兵衛などの記録が残る(千住の酒合戦)

1815年11月22日 00:00|イギリス| ||<昇格>4代チャムリー伯「ジョージ・チャムリー」⇒初代チャムリー侯(~18270410死去)

1815年11月24日 00:00|イギリス| ||<就任>初代ウェルラム伯「ジェームズ・ウォルター・グリムストン」(~18451117死去)

1815年11月27日-08:00|インドネシア| ||インドネシア、バリ島で地震、死者10253人

1815年11月29日 04:00|ポリアニア/ペルー| ||独立派の蜂起。支援に出たロンデウ指揮下のペルー遠征軍、副王アパスカルの軍とチュキパンパを中心に戦闘状態となるが、シハシハで惨敗/独立派は壊滅、指導者は全員処刑される

1815年11月30日 04:00|グレタ/イギリス| ||<就任>グレタ総督代行「ジョージ・パターソン」(2回目~18160802)

1815年12月-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ニコライ軍事知事「ランゲロン伯爵Alexandre Louis Andrault」(~1822.7)

1815年12月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>ビサウ司令官「ジョアン・ヒギノ・カルモ・セメド」(~1823年1月)

1815年12月1日 04:30|ベネズエラ/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネズエラ総督兼総司令官「Pablo Morillo y Morillo」(~18201201)

1815年12月1日-09:00|日本| ||文化12年11月|<出版>谷本春泉斎「西山鑑知国師図会全伝」

1815年12月1日-09:00|日本|静岡県|文化12年11月|駿河、遠江の各地で、強訴打ち壊しなど頻発

1815年12月1日-09:00|日本|東京都中央区|文化12年11月|<初演>「慇懃葉汗顔見世」<伊達の十段>[作・四代目鶴屋南北], 七代目市川團十郎, 三代目尾上梅幸, →三代目尾上菊五郎、中村座

1815年12月2日 06:00|ホジュラス| ||<就任>テグサルバ暫定市長「シモン・グティエス」(~1817年)

1815年12月9日-09:00|日本|山形県米沢市|文化12年11月9日|<交替>米沢新田藩1万石「上杉勝定」隠居⇒甥「上杉勝義」が継ぐ(⇒天保13(1842)年3月9日、隠居)

1815年12月12日-09:00|日本|東京都千代田区|文化12年11月12日|<大相撲>文化12年11月場所[江戸麹町拾丁目心法寺](10日間)優勝:(東大関)柏戸, 6勝1敗3休

1815年12月14日 07:00|メキシコ| ||モリス、ゲレロで捕えられ処刑される

1815年12月15日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ最高政府議長「執行委員会:ホセ・マヌエル・ラファエル・シモン・デ・ミエル・イ・テラン・イ・テルエル/イクナオ・アラス/アントニオ・クンプリト」(~1817年)

1815年12月16日-01:00|ドイツ| ||<就任>ドイツ連邦議会大統領特使(フランクフルト・アム・メイン)「フオル＝シャウエンシュタイン伯爵ヨハ・ルトルフ・グラーフフォン」(~18230224)

1815年12月16日 00:00|イギリス| ||<死去>ノーフォーク公・アランデル伯・サリ伯「チャールズ・ハワード」

1815年12月16日 00:00|イギリス| ||<就任>ノーフォーク公・アランデル伯・サリ伯「バーナード・エドワード・ハワード」先代の三従兄弟(~18420316死去)

1815年12月16日 00:00|ポルトガル/ブラジル| ||ポルトガル=ブラジル=アルガルヴェ連合王国成立

1815年12月16日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<就任>ブラジル王国摂政「ジョン・デ・ブラガンサ王子」(~18160320)

1815年12月16日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<即位>ブラジル王国女王「マリア1世」(18080122以降、ブラジルに避難~18160320没)

1815年12月20日-05:30|インド/イギリス| ||マングロ国はイギリス保護領

1815年12月25日-01:00|ドイツ| ||<初演>ルトヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《序曲「命名祝日」Op.115》

1815年12月25日-09:00|日本|岐阜県郡上市|文化12年11月25日|<死去>美濃郡上藩48000石「青山幸孝」(38歳)⇒長男「青山幸寛」が継ぐ(⇒天保3(1832)年6月26日)

1815年12月26日-01:00|イタリア| ||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「トルヴァルトとドルリスカ」》

1815年12月26日 04:00|チリ/スペイン| ||<就任>チリ総督・司令官(サンティアゴ)「フアン・スコ・ガシロ・マルコ・デル・ポント・アンヘル・デ・イアス・イ・メンデス」(~18170112)

1815年12月29日-09:00|日本| ||文化12年11月29日|<死去>初代桂文治(43歳)落語家

1815年12月30日-08:00|中国| ||清・嘉慶20年12月|清の直隸で宗教結社の清茶門(聞香教)を弾圧

1820迄 (2692件)

1816年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>モルッカ諸島イギリス居留者代表「ウィリアム・Gordon McKenzie」(2期目~18170420)

1816年-08:00|インドネシア| |||<即位>ゴワ・スラン「I Mappatunru/I Mangikarang Karaeng Lembang Parang」(~1825年)

1816年-08:00|インドネシア| |||<即位>チボーン・クサフ・ハン君主「Sultan Sepuh8世 Syamsuddin」(~1843年)

1816年-08:00|インドネシア| |||<即位>バンテン君主「Muhammad Rafiuddin」(~1832年~1900年死去)

1816年-08:00|マレーシア/タイ| |||ペーラはタイ主権下(~18740120)

1816年-07:00|タイ| |||<即位>チェットン朝国王・チエンマイ国主「タンマランカー」(~1822年)

1816年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ王「トゥアン・スロン」(~1832年)

1816年-05:30|インド| |||<就任>ケニハル国統治者(タークール)「フラン・デ・ウ」(~同年没)⇒「キシェン・シン」(~1866年没)

1816年-05:30|インド| |||<就任>パヴガール国統治者(タクル・サヒブ)「ワジ・シムジ・ワツィムジ」(~1852年没)

1816年-05:30|インド| |||<就任>ハンスワラ国統治者(マハラル)「ウメイト・シン」(~1819年没)

1816年-05:30|インド| |||<就任>マルプール国統治者(ワル)「シグ・シンジ1世」(~1822年)

1816年-05:30|インド| |||<就任>ムト・ル国統治者(ラジ・エ・コルパ・デ・ハ・ハト・ウル)「ゴビント・ラオ・ラジ・エ・コルパ・デ」(~18180220没)

1816年-05:30|インド/イギリス| |||ジャヨ国、ナガール国、バシール国はイギリス保護領

1816年-05:30|インド| |||ジャム・ガパン・ジャブに併合される(~18220617)

1816年-05:00|パキスタン| |||<就任>マラン統治者(サドム)「メフラブ・カーン」(~1839年)

1816年-04:00|UAE| |||<死去>アブ・ダビ首長「Sheikh Shakhbut bin Dhiyab Al Nahyan」

1816年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフチヴァン汗国ハン「カル・アリー・ハン」(7度目~1820年)

1816年-04:00|UAE| |||<即位>アジュマーン首長「Sheikh Rashid bin Humaid Al Nuaimi」(~1838年死去)

1816年-04:00|UAE| |||<即位>アブ・ダビ首長「Sheikh Muhammad bin Shakhbut Al Nahyan」(~1818年)

1816年-04:00|UAE| |||<即位>ウム・アル・カワイン統治者(ハキム)「Sheikh Abdullah1世 ibn Rashid Al Mu`alla」(~1853年)

1816年-03:00|モロコ| |||<即位>ス・ワニ・スルタン国スルタン「アブ・ド・ラ2世ヒン・アラウイ」(1回目~1832年)

1816年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレク・ワリス(総督)「Laz Ahmed Pasha」(~同年)

1816年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>モロツィヤ軍事知事兼ボルトハ=チェルニコフ県民事最高管理者「Knyaz' Nikolay Gri goryevich Repnin-Volkonskiy」(~1834年)

1816年-02:00|南アフリカ| |||<即位>ズールー王国国王「シヤ・ズールー」建国(~18280922死去)

1816年-01:00|ベナン| |||<死去>アジヤ・イェのフォン王国国王「アヨハン」

1816年-01:00|ベナン| |||<死去>クワンテのバリア国支配者「アルス1世バ・タンタメ」

1816年-01:00|ベナン| |||<死去>ケト国支配者「アジボル」

1816年-01:00|ニジェール| |||<就任>アイル国統治者(アモカ)「ムハンマド・ゲマ・タブ・ダリ」(1回目~1821年)

1816年-01:00|イタリア| |||<就任>カラリア公(両シチリア王の推定相続人の称号)「フランチェスコ」カロの弟(~18250104)

1816年-01:00|ベナン| |||<就任>クワンテのバリア国支配者「ソル1世」(~1833年没)

1816年-01:00|ベナン| |||<就任>ケト国支配者「アデビヤ」(~1853年没)

1816年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Francisco Antonio de Villar y Herrera」(2期目~同年)⇒総督「Juan de Potons y Morica」(~1818年)

1816年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=フィリップスール方伯エルスト・コンスタンティン(~1849年)

1816年-01:00|ベナン| |||<即位>アジヤ・イェのフォン王国国王「ト・イトファ1世」(~1818年没)

1816年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「少将Sir Hudson Lowe」(~1821年)

1816年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ総督「Luis de Abreu Vieira」(~1817年死去)

1816年 00:00|セカール| |||<就任>フクトロ統治者統治者(アルマミ)「ユスフ・サ・リー」(3回目)⇒「アマト・ウ・リー卿」(1回目~1817年)

1816年 00:00|セカール| |||<就任>ワロ統治者(フラク)「アル・ファティム・ムボリ・ムボジ」(~1825年)

1816年 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ総督代理「Juan Jose Duran」(~8.21)

1816年 04:00|BES諸島| |||<就任>サバ島副司令官代理「Edward Beaks, Sr.」(⇒1818年副司令官~1825年)

1816年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領セント・バーソロミュー島知事「Johan Samuel Rosensvard」(~1818年死去)

1816年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ボリビア暫定聴問庁長官「ホセ・パスクアル・デ・グアイベロ・イ・サラリア」(~1818年)

1816年 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| |||セントクリストファー、ネイビス、アンギラ、英領ヴァージン諸島植民地(~1871年)

1816年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ暫定総督「ホセ・アルバレス」⇒「ファン・ド・ミンゴ・デ・イトゥラルテ」(~18170717)

1816年 06:00|カタラ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタラ総督「ジョン・コープ・シャーフ・ルック卿」(~1818年)

1816年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ植民地総督「マウリシオ・デ・スゴ」(~同年)⇒「フランシスコ・サン・マセント」(~同年)⇒「ホセ・ファスコット」(~18180526)

1816年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Pedro Maria de Allande」(~1818年)

1816年1月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ホセ・マリア・コピンガー」(~18210710)

1816年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ハンス・フォン・ラインハルト」Con(2期目~12.31)

1816年1月1日 06:00|カタラ| |||モントリオール・キングストン間のカタラ初の乗合馬車の運行が開始される

1816年1月6日 04:00|セント・マルテン/オランダ| |||セント・マルテンのオランダ部分再開

1816年1月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ=ヴァイルブルク侯「Frederick William」

1816年1月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ=ヴァイルブルク侯「William」(⇒3.24ナッサウ公)

1820迄 (2692件)

1816年1月21日-01:00|フランス| |||<初演>ルイ・ケルビーニ《レクイエム短調》  
1816年1月22日-09:00|日本|新潟県柏崎市|文化12年12月24日|<死去>堀著朝(52歳)前越後椎谷藩主  
1816年1月24日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Juan Esteban Lozano de Torres」(~26日)  
1816年1月26日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Pedro Cevallos Guerra」(4期目~10.30)  
1816年1月26日 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>フェルペントウ島主「Francisco Bautista3世 Benitez de Lugo y Lugo Vina」  
1816年1月26日 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>フェルペントウ島主「Elena Sebastiana Benitez de Lugo Arias de Saavedra y Urtusaustegui」(~18371030)  
1816年1月29日-09:00|日本|新潟県妙高市|文化13年|赤倉温泉開湯  
1816年1月29日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|文化13年|<交替>日向国佐土原藩27000石「島津忠持」隠居⇒長男「島津忠徹」が継ぐ(⇒天保10年4月26日(18390607)、死去)  
1816年1月29日-09:00|日本|山形県鶴岡市|文化13年|<移転>出羽庄内藩藩校「致道館」[曲輪十日町]  
1816年1月29日-09:00|日本| |||文化13年1月|<出版>魚屋北溪・磯野文斎「狂歌御国ぶり」  
1816年1月29日-09:00|日本| |||文化13年1月|<出版>北斎「三体画譜」  
1816年2月-05:30|インド/イギリス| |||<ケニル国、クムルサイ国、ダークティ国はイギリス保護領  
1816年2月1日 04:00|BES諸島| |||<再開>セント・ユースティウス島オランダ植民地  
1816年2月1日 04:00|BES諸島| |||<就任>セント・ユースティウス島知事代理「Reinier 't Hoen」(~18170602)  
1816年2月2日-09:00|日本| |||文化13年1月5日|<死去>安田躬弦(54歳)福井藩医、歌人  
1816年2月4日 00:00|イギリス| |||<死去>4代バッキンガムシャー伯「ロバート・ホバート」  
1816年2月4日 00:00|イギリス| |||<就任>5代バッキンガムシャー伯「ジョージ・ロバート・ホバート=ハムデン」(~18490201死去)  
1816年2月8日-05:30|インド| |||<就任>バニヤル国ラジャ「マヘンドラ・シン」(~1850年)  
1816年2月9日-04:00|ロシア| |||ロシア暦:1816/1/28|ロシア青年将校が「救済同盟」を結成  
1816年2月12日-01:00|イタリア| |||ナポリで現役最古劇場「サン・カルロ劇場」が火事で焼失(10ヶ月で再建)  
1816年2月13日 04:00|アンティグア・バプーータ/イギリス| |||<就任>アンティグア総督「ジョージ・ウィリアム・ラムゼイ」(~18191101)  
1816年2月15日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン=フィリップスタール方伯「ルートヴィヒ」  
1816年2月15日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=フィリップスタール方伯「エルスト・コンスタンティン」(~18491225死去)  
1816年2月19日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ジョン・トマス・Layard」(2期目~18170514)  
1816年2月19日 00:00|イギリス| |||<死去>7代セント・オールバンス公「オーブリー・ホークラー」  
1816年2月19日 00:00|イギリス| |||<就任>8代セント・オールバンス公「ウィリアム・ホークラー」(~18250717死去)  
1816年2月20日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「セヴィリアの理髪師」》  
1816年2月22日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランドの哲学者・歴史家ファーガソン/92歳(誕生17230623)  
1816年2月27日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領ギアナ(オランダ西インド会社)総督「ウィレム・ベンジャミン・ファン・パンホイス」(~7.18)  
1816年3月-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>イギリス東インド会社副総督「ジョン・Fendall, Jr.」(~8月)  
1816年3月-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「John Fendall Jr.」(~8月)  
1816年3月1日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴードン=コースト総督「ハーマン・ウィレム・テネルス」(~18180422没)  
1816年3月4日 04:00|キューラ/オランダ| |||<就任>オランダ植民地キューラ総督「Albert Kikkert」(~18191218死去)  
1816年3月11日 04:00|アルバ/イギリス| |||<就任>アルバ島司令官「Lodewijk Christoph Boye」(~18190701)  
1816年3月14日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバグラタ連合州大統領「ルイス・アルバロ・アルカニノ・フェルナンデス・マトリド・イ・フェルナンデス・カストロ」(~6.22)  
1816年3月14日 06:00|アメリカ| |||アメリカで第2合衆国銀行法が制定される  
1816年3月17日-05:30|インド| |||<就任>ネパール国摂政「ナセル・アル・ダウラ・ナセル・モハマト・カン」(~18191111没)  
1816年3月17日-09:00|日本| |||文化13年2月19日|<死去>頼春水(71歳)儒学者、詩人  
1816年3月18日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領アセンション島司令官「ウィリアム・ロバーツ」(~18170826)  
1816年3月20日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||<死去>ポルトガル=ブラジル=アルガルヴェ連合王国女王「マリア1世」81歳(誕生17341217)  
1816年3月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラガンサ公・ペイラ公・パルメラス公・ウイラ・グイザ侯・パルメラス伯・オラム伯・アラヨス伯・ネウヴァ伯「ペドロ・テ・アルカンタラ」ジョン6世国王の次男、ポルトガル=ブラジル=アルガルヴェ連合王国皇太子(~18221012ブラジル皇帝、ポルトガル=アルガルヴェ王)  
1816年3月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ページャ公「ミゲル1世」(~18280711)ジョン6世の息子  
1816年3月20日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||<即位>ポルトガル=ブラジル=アルガルヴェ連合王国国王「ジョン6世」マリア1世とペドロ3世の子(~18260310死去)  
1816年3月22日-05:30|インド| |||<死去>ナグプール国統治者(マハラジャ・セナ・サーヒブ・スパー)「ラギー・ホーンズレー2世」  
1816年3月22日-05:30|インド| |||<即位>ナグプール国統治者(マハラジャ・セナ・サーヒブ・スパー)「ハルソー・ハラ・サーヒブ・パーシャラム」(~18170202没)  
1816年3月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサ公「フリートリヒ」  
1816年3月24日-01:00|ドイツ| |||<即位>ナッサ公「ウィリアム」(ナッサ=ヴァイルブルク侯から~18390820死去)  
1816年3月31日-09:00|日本| |||文化13年3月3日|<死去>文晁(82歳)俳人、浄土真宗の僧  
1816年4月 04:00|バルバドス/イギリス| |||バルバドスで黒人奴隷の反乱  
1816年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カミッロ・ボネリ」[ピエトロ・ベリイ  
1816年4月10日 06:00|アメリカ| |||アメリカ第2合衆国銀行、フィデリティに設立される

1820迄 (2692件)

1816年4月11日 06:00|アメリカ| |||アメリカでアフリカ人メソヂスト監督教会設立  
1816年4月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督・最高司令官「ハットン・ロウ卿」(~18230311)  
1816年4月16日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ連合州暫定執政官「アントニオ・ゴンザレス・デ・バルカルセ」(~18160709)  
1816年4月18日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督代行「ロバート・リット」(1回目~5.20)  
1816年4月21日-09:00|日本|大阪府大阪市|文化13年3月24日|<死去>間重富(61歳)天文学者/寛政の改暦に功績  
1816年4月22日-09:00|日本|東京都港区|文化13年3月25日|<大相撲>文化13年2月場所[江戸西久保八幡宮](8日間)  
)優勝:(東大関)柏戸,7勝1敗  
1816年4月23日 00:00|ガンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領バサースト司令官「アレクサンダー・グラント」(~18260801)  
1816年4月27日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、初の保護関税法が成立  
1816年4月27日-09:00|日本| ||文化13年4月|<刊行>司馬江漢「天地理談」  
1816年4月27日-09:00|日本| ||文化13年4月|<出版>「北斎漫画」五編  
1816年4月27日-09:00|日本|東京都|文化13年4月|江戸で疫病が流行し、閏八月までに多数の死者でる  
1816年4月30日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|文化13年4月4日|<交替>肥前蓮池藩52625石「鍋島直温」隠居⇒養子「鍋島直与」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年7月28日、隠居)  
1816年5月-05:30|インド/イギリス| |||ナガポール国はイギリス保護領(18180106条約により確認)  
1816年5月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Hafiz Amasyali Ali Pasha」(~1817.2)  
1816年5月 05:00|コロンビア/スペイン| |||独立派最後の拠点ボゴタ、モリヨ軍の手に落ちる  
1816年5月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Johan Henrik Christian von Stabel」(1期目~18160701)  
1816年5月2日 00:00|イギリス| |||<死去>ウォリック伯・ブルック伯「ジョージ・グレイヴ」  
1816年5月2日 00:00|イギリス| |||<就任>ウォリック伯・ブルック伯「ヘンリー・リチャード・グレイヴ」先代の息子(~18530810死去)  
1816年5月3日-09:00|日本|長崎県長崎市|文化13年4月7日|長崎式見村で大火.248軒が焼失  
1816年5月4日-05:30|インド| |||<就任>チャタルプール国ラジャ「プラタップ・シン」(~18540519没)  
1816年5月6日 04:30|ベネズエラ| |||<就任>ベネズエラ共和国最高責任者「Simon Jose Antonio de la Santisima Trinidad Bolivar y Palacios」(~18190215)  
1816年5月7日 04:30|ベネズエラ| |||<再独立>ベネズエラ共和国  
1816年5月11日-09:00|日本|京都府亀岡市|文化13年4月15日|<死去>丹波亀山藩5万石「松平信志」(32歳)⇒七男「松平信豪」が継ぐ(⇒天保14(1843)年2月9日、隠居)  
1816年5月16日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督代行「ステッドマン・ローレンス」(1回目~7.15)  
1816年5月20日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督「チャールズ・ウィリアム・マクスウェル」(~1819年)  
1816年5月25日-09:00|日本|岡山県真庭市|文化13年4月29日|<交替>美作勝山藩23000石「三浦前次」隠居⇒養子「三浦てる次」が継ぐ(⇒文政13(1830)年7月6日、隠居)  
1816年5月26日-02:00|モルババ/ロシア| |||<就任>ベッサラビア保持者(総督権限)「アレクセイ・ニコラエヴィチ・ハフメティエフ」(~18200615)  
1816年5月28日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア国務院議長・閣僚委員会委員長「クニャース・ヒョートル・ヴァシリエヴィチ・ロフビン」(~18270418)  
1816年5月29日-01:00|ドイツ| |||プロイセンのカル・ハルデンベルグ首相(66)が、1811年の農民関係の調整令を布告し、農民解放に伴う地主への補償を規定  
1816年5月29日 00:00|イギリス| |||<死去>5代アナンデイル=ハートフェル伯・第3代ホープトン伯「ジョージ・ホープ=ジョンストン」  
1816年5月29日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ホープトン伯「ジョン・ホープ」先代の異母弟(~18230827死去)  
1816年5月29日 00:00|イギリス| |||<就任>6代アナンデイル=ハートフェル女伯「アン・ホープ=ジョンストン」(~18180828死去)  
1816年5月29日-09:00|日本|東京都中央区|文化13年5月3日|江戸、吉原京町1丁目から出火、遊郭が全焼  
1816年5月31日-01:00|スペイン/ロシア/オーストリア/ドイツ| |||スペイン、神聖同盟に加盟.反動体制を強化  
1816年6月2日 05:00|ハイチ| |||ハイチ共和国、新憲法を制定  
1816年6月2日 05:00|コロンビア| |||ボリバル、グアヤナの中心地アンコストラを占領  
1816年6月12日-09:00|日本|東京都|文化13年5月17日|<死去>画人、鈴木芙蓉(68歳)  
1816年6月19日 06:00|カナダ| |||<セブン・オックスの戦い>カナダで毛皮交易をめぐる毛皮交易会社2社交易会社「ハットン湾会社」「北西会社」が戦闘  
1816年6月21日-01:00|ルウェン/スウェーデン| |||<就任>ルウェン総督「副王カル・ヨハン皇太子」(2回目~8.5)  
1816年6月22日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<再開>フランス植民地サンピエール島・ミクロン島(正式に領土返還)  
1816年6月22日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/イギリス/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島イギリス司令官「John Cooksley」(数時間)⇒サンピエール島・ミクロン島弁務官「Jean-Philippe Bourrilhon」(2期目~18181101)  
1816年6月22日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバグラタ連合州大統領代行「リボロ・ホセ・アポリナール・メア・イ・グティエレス・デ・ラ」(~30日)  
1816年6月22日-09:00|日本| ||文化13年5月27日|<死去>鈴木芙蓉(68歳)画家  
1816年6月22日-09:00|日本|東京都|文化13年5月27日|<死去>女義太夫の名人・芝枿(俗名おでん)  
1816年6月27日-09:00|日本|東京都千代田区|文化13年6月3日|<交替>清水徳川家「徳川斉順」紀州藩主「徳川治宝」の養嗣子となる⇒12月3日、弟「徳川保之丞」が継ぐ(⇒文政3(1820)年6月5日、「徳川斉明」に改名、賄料3万俵)  
1816年6月29日-09:00|日本|奈良県奈良市|文化13年6月5日|<死去>柳生俊則(87歳)前大和柳生藩主  
1816年6月30日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバグラタ連合州大統領「ホセ・クステイオ・ガターノ・ガルシア・ロペ」(2回目~7.1

1820迄 (2692件)

0)

1816年7月 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「チャールズ・マッカーシー」(3度目~18200726)  
1816年7月 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ロバート・ダグラス」(~11.16)  
1816年7月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Adrian Benjamin Bentzon」(~18190626)  
1816年7月1日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官、総督代行「ジョン・キャンベル」(11.13)  
1816年7月1日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ホセ・マリア・ゴンサレス・デ・シエンフエゴス・イ・ホベラス」(~18190829)  
1816年7月1日 10:00|ハワイ/ロシア| |||<就任>エリザベス要塞のロシア総督「Georg Anton Scheffer」(~18170707)  
1816年7月1日 10:00|ハワイ/ロシア| |||カアイ島ワイマ近くのエリザベス要塞(および18161008アレクサンダー要塞とバークレイ要塞)にあるロシア領アメリカの植民地(~18170707)  
1816年7月2日-01:00|フランス| |||ホレオン失脚後の植民地の返還を受け、セカールに官僚を輸送するフランス海軍のフリゲート「メューズ」が、艦長の不適切な指揮によって座礁。乗員乗客はボート2艘と筏で脱出したが、まもなくボートは筏を見捨て切り離れた。ボートに乗った者の大半と、筏で漂流した約150人のうち10人、船に残った17人のうち3人が生還  
1816年7月3日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ルイス・ダ・モッタフェオ・エ・トレス」(~18190907)  
1816年7月6日 00:00|フェロー諸島/デンマーク| |||<就任>フェロー諸島知事代理(トスハウ)「Emilius Marius Georgius Lobner」(⇒1821年知事~18280630)  
1816年7月6日 00:00|フェロー諸島/デンマーク| |||フェロー諸島はデンマークの郡になる  
1816年7月7日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「ヴァルメ侯ホセ・デ・ラ・ペスエラ・イ・サンチェス・ムニョス・デ・ベラスコ」(~18210129)  
1816年7月8日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ウィリアム・ミス」(2期目~18171111)  
1816年7月8日-09:00|日本|京都府宮津市|文化13年6月14日|<死去>松平宗允(37歳)前丹後宮津藩主  
1816年7月8日-09:00|日本|千葉県香取市|文化13年6月14日|<死去>下総小見川藩1万石「内田正肥」(27歳)⇒養子「内田正容」が継ぐ(⇒天保8(1837)年8月14日、強制隠居)  
1816年7月9日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ連合州最高執政官「ファン・マルティン・デ・フエイロ」(~18190609)  
1816年7月9日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||アルゼンチンのリオ・デ・ラ・プラタ諸州連合が、スペインからの独立を宣言  
1816年7月14日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント総督代行「ロバート・ポール」(5回目~18171222)  
1816年7月15日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督「トマス・フレイザン」(~18190110没)  
1816年7月16日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバグラナダ連合州大統領「マヌエル・フェルナンド・セラノ・イ・ウリベ」(~9月)  
1816年7月16日-09:00|日本| ||文化13年6月22日|<死去>3代黒沢琴古(45歳)尺八奏者  
1816年7月18日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領ギアナ(オランダ西インド会社)総督代行「コーネリス・ラインハルト・ヴァイヤン」(~18220401)  
1816年7月23日 06:00|グアテマラ| |||グアテマラ、サンペドロロマで地震(M7.6)死者23人  
1816年7月26日 04:00|グアドループ/イギリス| |||<死去>グアドループ 総督「Sir James Leith」  
1816年7月26日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 総督「Antoine Philippe, comte de Lardenoy」(~18230630)  
1816年7月27日 06:00|アメリカ| |||フロリダの先住民セミノール族が逃亡奴隷や密輸商人の聖域を提供しているとし、ジャクソン、ゲインズ 将軍の率いる米軍部隊がスペイン領フロリダへ侵攻  
1816年8月-01:00|オランダ/イギリス/インドネシア| |||イギリスが、インドネシアをオランダに引き渡した  
1816年8月 06:00|アメリカ| |||軍艦の艦砲射撃により弾薬庫が爆発、パナマコーラ守備隊のほとんどが即死/セミノール族はフロリダ州北部に追いやられる  
1816年8月1日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>タウリアのロシア総督「Aleksandr Stepanovich Lavinskiy」(~18200109)  
1816年8月2日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ 総督「フィニアス・リアル」(1回目~18190520)  
1816年8月8日 03:00|日本|長崎県長崎市|文化13年7月15日|昼頃、長崎本紺屋町より出火。13町が焼ける/材木町、今下町、袋町、引地町、酒屋町、今魚町、本大工町、豊後町、桜町、新町、堀町、東築町に延焼/家屋341軒、土蔵9戸前が焼失。破壊家屋59戸→翌日鎮火  
1816年8月14日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||スロベニアはオーストリア領イリュリア王国の一部  
1816年8月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>英国トリスタン・ダ・クーニャ担当役員「ロバート・ウォーガン・ジョージ・フェスティンガ」(~17日)  
1816年8月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||英国は正式にトリスタン・ダ・クーニャ島を併合  
1816年8月17日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>英国トリスタン・ダ・クーニャ担当役員「デヴィッド・ライズ」(~11.28)  
1816年8月17日 06:00|ニカラガ/コスタリカ/スペイン| |||<就任>レオン総督・代官「マリア・ノ・デ・ベルトラナ・イ・リャノ」(~1819年)  
1816年8月19日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ東インド会社行政長官「Cornelis Theodorus Elout/Goder tアレクサンダー-Gerard Philip van der Capellen/Arnold Adriaan Buyskes」(~18190116)  
1816年8月20日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| |||<就任>ノルウェー総督「ホルム・アフ・ツナ伯爵カール・カールソン」(~18181018)  
1816年8月21日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ州総督管理官「Miguel Manuel Francisco Barreiro y Bermudez」(1期目~9.3)  
1816年8月21日-09:00|日本|埼玉県川越市|文化13年7月28日|<死去>武蔵国川越藩15万石「松平直温」(22歳)⇒弟「松平齊典」が継ぐ(⇒天保12(1841)年、2万石加増され17万石)  
1816年8月22日-09:00|日本| ||文化13年7月29日|<死去>初代鈴木万里(不明)長唄唄方

1820迄 (2692件)

1816年8月23日 00:00|ガンビア/イギリス| |||イギリスがコンボ王からバンジュール島を購入、セント・マリー島と改名/バースト植民地設立

1816年8月31日-09:00|日本| ||文化13年8月9日|<死去>岡田寒泉(77歳)儒学者、旗本、寛政の三博士の一人

1816年9月3日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ州総督管理官「Cabildo, Justicia y Regimiento」(~4日)

1816年9月3日 05:00|コロンビア/スペイン| |||ヌエバ・グラナダ連合州はスペインによる再征服により政体消滅

1816年9月4日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ政治軍事総督「Miguel Manuel Francisco Barreiro y Bermudez」(2期目~18170220)

1816年9月5日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ18世、議会の行き過ぎを恐れ「議会」を解散

1816年9月5日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|文化13年8月14日|<死去>青山忠高(83歳)前丹波篠山藩主

1816年9月9日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルムタキル・アフマド」

1816年9月10日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルマフディ・アフダラー」アルムタキル・アフマドの息子(~18351128死去)

1816年9月12日-09:00|日本|京都府綾部市|文化13年8月21日|<死去>丹波山家藩1万石「谷衛萬」(21歳)⇒弟「谷衛弥」が継ぐ(⇒文政3(1820)年10月13日、24歳で死去)

1816年9月20日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「ウエナデイト伯爵ファン・ルイス・デ・アホ・ダ・カ・イ・エリザ・ロハ・ス・デ・レナ・イ・ラスケティ」(~18210705)

1816年9月26日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「ガゼツタ(新聞)」》

1816年9月27日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルイ・シュポーア《ヴァイオリン協奏曲第8番イ短調》

1816年10月-01:00|スペイン/ペルー| |||セル・アントニオ・パイス将軍、ヤゲアルの戦いでスペイン軍を破りアプレ地方の支配権を掌握

1816年10月 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Leffrenque」⇒「baron de Proissie」(1期目)⇒「Gaston」

1816年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルイージ・ジ・ヤンニニ」「マッテオ・マルテッリ」

1816年10月4日-01:00|フランス| |||フランスで、立憲主義者と自由主義者が選挙で多数を占める

1816年10月10日-09:00|日本|茨城県水戸市|文化13年閏8月19日|<死去>常陸水戸藩35万石「徳川治紀」(44歳)⇒9月28日、長男「徳川斉脩」が継ぐ(⇒文政12(1829)年10月4日、死去)

1816年10月14日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|文化13年閏8月23日|<死去>播磨三日月藩15000石「森長篤」(22歳)⇒10月16日、養子「森長国」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年9月10日、隠居)

1816年10月16日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<死去>イギリス領バルバドス元帥兼総督「James Leith卿」

1816年10月19日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|文化13年閏8月28日|<死去>武蔵岩槻藩2万石「大岡忠正」(36歳)⇒弟「大岡忠固」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年4月1日、3000石加増され23000石)

1816年10月21日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Spooner」(3期目~18170408)

1816年10月24日-09:00|日本|東京都千代田区|文化13年9月4日|<死去>一橋徳川家10万石「徳川斉敦」(37歳)⇒10月4日、次男「徳川斉礼」が継ぐ(⇒文政13(1830)年6月14日、28歳で死去)

1816年10月25日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ト・ケレイ女伯「アマヘル・ヨーク」(~18330304死去)

1816年10月27日-09:00|日本|東京都|文化13年9月7日|<死去>山東京伝。胸痛の発作のため(56歳、宝暦11(1761)0815生)戯作者、浮世絵師/絵を北尾重政に学ぶ

1816年10月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>グェルテンベルク国王「フリートリヒ1世」

1816年10月30日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Jose Garcia de Leon y Pizarro」(~18180914)

1816年10月30日-01:00|ドイツ| |||<即位>グェルテンベルク国王「ウイヘルム1世」(~18640625死去)

1816年11月 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「baron de Proissie」(2期目~1817.9)

1816年11月3日-09:00|日本|茨城県下妻市|文化13年9月14日|<交替>常陸下妻藩1万石「井上正建」隠居⇒養子「井上正廬」が継ぐ(⇒文政2(1819)年12月20日、28歳で死去)

1816年11月3日-09:00|日本|兵庫県明石市|文化13年9月14日|<交替>播磨明石藩6万石「松平直周」隠居⇒次男「松平斉韶」が継ぐ(⇒天保11(1840)年2月26日、隠居)

1816年11月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュトレリッツ大公「カール2世」

1816年11月6日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュトレリッツ大公「ゲオルク」カール2世の息子(~18600906死去)

1816年11月7日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国国務院副議長兼閣僚評議会議長「ヨハン・ヘントリック・モリス」(18170210まで代行~18290701)

1816年11月13日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官。総督「フレデリック・フィリップ・ス・ロビンソン卿」(1期目~1819年)

1816年11月16日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「リチャード・オーガスタス・シーモア」(~18171021)

1816年11月19日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランケバル)総督「ギュバーン」ヨハン・ピーター・ハーマンソン」(2度目~18220215)

1816年11月19日-01:00|ポーランド| |||ロシア皇帝アレクサンドル1世の許しによりポーランドに「ワルシャワ大学」設立

1816年11月20日-05:45|ネーデルラント| |||<死去>ネーデルラント国王「ギルバン・ユグタ・ビ・クラム・シャー・デ・イ・ヴァ」17歳

1816年11月20日-05:45|ネーデルラント| |||<即位>ネーデルラント国王「ラジエントラ・ビ・クラム・シャー・デ・イ・ヴァ」(~18470512)

1816年11月22日 04:00|サン・マルタン/フランス| |||フランスのサンマルタン政権が再開

1816年11月28日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>英国トリスタン・ダ・クーニャ担当役員「アブラハム・ヨシア・クロエテ」(~18170515)

1816年11月29日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「リオ・パルト伯爵デ・イコ・デ・ス・サ」(~1821091

1820迄 (2692件)

6)

1816年12月 00:00|セカール/イギリス| |||<就任>イギリス領セカール総督代行「D・マッケンジー」(~18170125)  
1816年12月2日 00:00|イギリス| |||ロンドンのスパー・フィールズで行われた議会の改革を求める集会で、聴衆が暴動を起こす/これが人身保護法廃止への引き金になっていく  
1816年12月2日-09:00|日本|東京都千代田区|文化13年10月13日|<解任>老中「牧野忠精」  
1816年12月4日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「デュピュイ伯爵アントレ・ジュリアン」(~1825年10月)  
1816年12月4日-05:30|インド/フランス| |||ボンデ・イシェーとシャンデルナゴールがフランスに復帰  
1816年12月4日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「オテロ、またはヴェネツィアのムア人」》  
1816年12月4日 03:00|ブラジル/アメリカ| |||パイ奥地の砂糖栽培地帯サント・アマロ、サンフランシスコで奴隷の反乱  
1816年12月4日 06:00|アメリカ| |||アメリカ大統領選でモンローを大統領に選出  
1816年12月6日 00:00|イギリス| |||<就任>ヘイスティングス侯・初代ロンドン伯「フランス・ロートン=ヘイスティングス」2代モイラ伯(~18261128死去)  
1816年12月6日-09:00|日本|東京都墨田区|文化13年10月18日|<大相撲>文化13年10月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(東大関)柏戸,9勝0敗1無勝負  
1816年12月8日-08:00|中国| |||中国・四川省炉霍地震M7.5、死者2945人  
1816年12月8日-01:00|イタリア| |||フェルディナンド4世はナポリとシチリアの二つの王国を両シチリア王国の名の下に合併/首都はナポリ/ナポリ王フェルディナンド4世、シチリア王フェルディナンド3世の名を捨て両シチリア王フェルディナンド1世と改名(-1825)  
1816年12月10日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン総督「セ・ガルド・キ・デ・ハラベ・イテア」  
1816年12月10日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「Mariano Fernandez de Folgueras」(2期目~18221030)  
1816年12月11日 00:00|イギリス| |||<死去>4代エフィンガム伯「リチャード・ハワード」  
1816年12月11日 06:00|アメリカ| |||<加盟>インディアナ準州(以前の北西部領土より)⇒アメリカ合衆国インディアナ州(19番目)  
1816年12月11日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文化13年10月23日|<死去>姫路新田藩1万石「酒井忠質」(37歳)⇒子の「酒井忠全」が継ぐ(⇒文化14(1817)年11月3日、死去無嗣廃藩)  
1816年12月12日-01:00|イタリア| |||<即位>両シチリア王「フェルディナンド1世」ナポリ王フェルディナンド4世、シチリア王フェルディナンド3世(~18250104)  
1816年12月15日 00:00|イギリス| |||<死去>3代スタンホープ伯「チャールズ・スタンホープ」  
1816年12月15日 00:00|イギリス| |||<就任>4代スタンホープ伯「フィリップ・ヘンリー・スタンホープ」(~18550302死去)  
1816年12月16日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ18世の「国王命令」により、国立の美術学校「エコール・ロイヤル・エ・ス・パシアル・デ・ボザール」設立(1819年「エコール・デ・ボザール」と改称)  
1816年12月20日-09:00|日本|静岡県賀茂郡松崎町|文化13年11月2日|伊豆松崎津波。民家漂失多数、死者多数  
1816年12月24日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|文化13年11月6日|<交替>伊予吉田藩3万石「伊達村芳」隠居⇒養子「伊達宗翰」が継ぐ(⇒天保14(1843)年6月24日、隠居)  
1816年12月28日 06:00|アメリカ| |||アメリカ植民協会が結成され、リベリア建設へむけ活動を開始  
1816年12月30日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル王国主席大臣「バルサバアントニオ・デ・アラウージョ・デ・アゼベド」(~18170623)  
1817年-10:00|ケニア/北マリアナ諸島/フィリピン/スペイン| |||ケニア、マリアナ諸島はフィリピンに従属(~18980621)  
1817年-07:00|タイ| |||<就任>ソクラ-知事(プラー・スンソー・ヌラック)「ティエンセン・ナ・ソクラ」(~1847年)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>オランダ国ジャバ「ラム・ハル」(~1834年没)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>コロン国統治者(サルケル)「ラゴジ2世アングリア」(~18381226没)、摂政「グイナヤク・ハルシラム・ヒョアルカル」(1回目~1825年頃)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>サマル国ジャ「ランジット・シン2世」(~1827年没)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>サンバル国ジャ「ジャヤンタ・シン」(2回目~1818年)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>シヒ国摂政「シェオ・シン」(~18470111)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>デワス国ジャ「アノト・ラオ・ブアル・ラオ・サヒブ」(~1840年没)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>ナルグント国統治者(ラオ)「ダダジラオ2世」(~1842年)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>ベジャ国統治者(ターケル)「ブラタップ・チャント」(~1841年没)  
1817年-05:30|インド| |||<就任>ルナバタ国統治者(ラナ)「シブ・シン」(~1818年)  
1817年-05:30|インド| |||チョタ・ナグプール国はベンガルの一部  
1817年-05:30|インド| |||ハッサ国をケワリエルが占領(~1822年)  
1817年-05:30|インド/イギリス| |||ホパール国はイギリス保護領(18180308条約により確認)  
1817年-05:30|インド| |||ラ国はトク州の一部(~1868年)  
1817年-05:00|パキスタン| |||<就任>チトラル国統治者(ミフタル)「シャー・ナワズ・カン」(2回目~1833年)  
1817年-05:00|パキスタン| |||<即位>カーター・ハン国ハン「Mir Mehrab Khan Ahmadzai2世」(~18391113死去)  
1817年-03:00|マヨット| |||<死去>マロ・スルタン国スルタン「スハリ・ビン・サリム」  
1817年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダットのベイ及びワリス「ダウト・ハシヤ」(~1831年6月)  
1817年-03:00|マヨット| |||<即位>マロ・スルタン国スルタン「マワ・アマデ・ビン・ホイ・コンボ」(~1829年没)  
1817年-02:00|ザンビア| |||<死去>ムント 統治者(ムウェネ)「シヨハ・カヤンベラ」  
1817年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Muftizade Ahmed Pasha」(~1818年)  
1817年-02:00|モザンビーク| |||<就任>キタンゴニア首長「スレイマン・ブワ・ハジ」(~1850年)  
1817年-02:00|ザンビア| |||<就任>ムント 統治者(ムウェネ・ムント・ワルナ)「マテ・シンキヤ・ムント1世」(~1860年)  
1817年-02:00|モザンビーク| |||<即位>アンゴシェ・スルタン国スルタン「ハサン・カマカマ」(~1821年)

1820迄 (2692件)

1817年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベ・イレリ「メフメト (反乱)」(1回目)  
1817年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ・プリンシペ 総督「Luis de Abreu Vieira」  
1817年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>アリカ王国統治者 (アリカ)「モリバ・キント・バンガラ」(~1825年没)  
1817年 00:00|セカール| |||<就任>サルム統治者 (フール・サルム)「ヒラム・シュレジャ・ムボ・ジ・ンジエ」(~1823年)  
1817年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「運営委員会」⇒総督「Felipe de Freitas」(~1824年)  
1817年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>テム王国統治者 (バイス)「アリカ・モリバ・キント・バンガラ」(~1825年没)  
1817年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド 検査官「Johannes West」(~1825年)  
1817年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「John Foster Alleyne」(~同年)⇒総督「The Lord Combermere」(~1820年)  
1817年 04:00|セントクリストファー・ネイビス| |||<就任>ネイビス大統領「ウォルター・メイナード」(~1831年頃)  
1817年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Rogers」  
1817年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者「ファン・ミゲル・デ・ブスタマンテ」(~1818年)  
1817年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ファン・イクナオ・ペレス」(~同年)  
1817年 06:00|ホンジュラス| |||<就任>テグシガルパ 市長「カルシコ・マルロ」(~18210321没)  
1817年 10:00|ポリーニア| |||<即位>パロ王「Tereau」(~1825年)  
1817年1月 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||アルティガス、カランでたたかいを挑むが、敗れる。ポルトガル軍、モンテビデオを制圧  
1817年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ニコラス・ルドルフ・フォン・ワッテンウール」Mod (1期目~12. 31)  
1817年1月3日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領リュリア王国ライプツハ州知事「ユリウス・グラーフ・フォン・ストラツルト」(~18180120)  
1817年1月6日-05:30|インド| |||<就任>ジャオ国支配者 (ナワブ)「アブドゥル・ガフル・モハメド・カーン」建国 (~18250909没)  
1817年1月6日-09:00|日本| ||文化13年11月19日|<死去>夏目成美 (68歳) 俳人  
1817年1月8日-09:00|日本|長野県諏訪市|文化13年11月21日|<交替>信濃高島藩3万石「諏訪忠肅」隠居⇒長男「諏訪忠恕」が継ぐ (⇒天保11 (1840) 年5月4日、隠居)  
1817年1月11日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ギルフォード 伯「フランシス・ノース」  
1817年1月11日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ギルフォード 伯「フレデリック・ノース」(~18271014死去)  
1817年1月12日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ対立総督・司令官 (サンティアゴ)「フランシスコ・カシモ・マルコ・デル・ポンテ・デ・イアス・イ・メンデス」(~18190519)  
1817年1月14日-05:30|インド/フランス| |||カリカがフランスに復帰  
1817年1月16日-09:00|日本|大阪府大阪市|文化13年11月29日|<死去>桂文治・初代 (落語家) [1774年生~]  
1817年1月20日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>アシラ州知事「Carlos Frederico Lecor」(~18260203)  
1817年1月20日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル/ブラジル| |||<就任>ポルトガル/ブラジル軍モンテビデオ総督「ラウラ・ナ男爵Carlos Frederico Lecor」(~18220911)  
1817年1月20日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル/ブラジル| |||モンテビデオをポルトガル/ブラジルが占領 (~18210731)  
1817年1月24日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル首相「フェルディナント・ペレ」  
1817年1月24日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル首相「バルボア・アントニオ・デ・アラウホ・デ・アゼベド」(~6. 21死去)  
1817年1月25日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョーキー・ノッシーニ《歌劇「シンデレラ、または真心の勝利」》  
1817年1月25日 00:00|セカール/フランス| |||<就任>フランス領セカール司令官「ジュリアン・シュマルツ」(1回目~18180101)  
1817年1月25日 00:00|セカール/フランス| |||フランスがセカール植民地を再占領  
1817年1月25日 04:00|チリ| |||サン・マルティン、オイヤースらがアルゼンチンからアンデス超えを行ってチリに進軍しチリを解放  
1817年1月29日-01:00|ドイツ| |||<死去>ロイス＝グライツ侯「ハインリヒ13世」  
1817年1月29日-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイス＝グライツ侯「ハインリヒ19世」(~18361031死去)  
1817年1月29日 00:00|イギリス| |||<死去>4代マルバラ公「ジョージ・スペンサー」  
1817年1月29日 00:00|イギリス| |||<就任>5代マルバラ公「ジョージ・スペンサー＝チャーチル」先代の子 (~18400305死去)  
1817年2月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス (総督)「Salih Pasha」(~同年)⇒「Suleyman Pasha al-Adili」(2期目~1819年)  
1817年2月 00:00|セカール| |||<就任>フクトロ統治者統治者 (アルマニ)「ユフ・サイア・リー」(4回目~同年)⇒「ヒラン・イブラー・ワーン」(1回目~数か月)⇒「タッブ・シル・ママト・ウ・ママト・ウ・アーン」(~同年)⇒「ユフ・サイア・リー」(5回目~1819年)  
1817年2月 05:00|ペルー/スペイン| |||サンマルチン、チャコでスペイン軍を破る  
1817年2月2日-05:30|インド| |||<死去>ナグプール国統治者 (マハラジャ・セナ・サヒブ・スパー)「ハルソー・ジ・ハラ・サヒブ・ハ・シャム」  
1817年2月2日-05:30|インド| |||<即位>ナグプール国統治者 (マハラジャ・セナ・サヒブ・スパー)「ムトージ 2世アッハ・サヒブ」(~18180315)  
1817年2月2日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督・総司令官「ホセ・フランシスコ・デ・ボラ・カヴァルカンティ・デ・アルバ・カーキ」(~18181113)  
1817年2月5日-01:00|フランス| |||フランスで、ドクトリネル主導で、憲章にのっとった直接制限選挙を規定する選挙法が成立  
1817年2月8日 04:00|チリ| |||アンデス軍の先鋒ラスエラス隊、サンタマを占領  
1817年2月8日-09:00|日本|神奈川県横浜市金沢区|文化13年12月23日|<死去>米倉昌由 (40歳) 前武蔵六浦藩主  
1817年2月10日-05:30|インド/イギリス| |||シムは英領インド保護領  
1817年2月11日 00:00|イギリス| |||<死去>13代ロイズ 伯「ジョージ・ウィリアム・イヴリン＝レスリー」  
1817年2月11日 00:00|イギリス| |||<就任>14代ロイズ 女伯「ヘンリエッタ・アン・イヴリン＝レスリー」先代の娘 (~18190130死去)  
1817年2月12日 04:00|チリ| |||カハット隊、コンボ州を制圧/タビラ隊、コピアを占領、フレイル隊はメカを占領

1820迄 (2692件)

1817年2月12日 04:00|刊| |||刊独立派の軍隊が、チャブコ<sup>o</sup>の戦いでスペイン軍を破る  
1817年2月14日 04:00|刊| |||サンマルチン、サンチャゴ<sup>o</sup>に入市。刊を解放  
1817年2月16日-09:00|日本|東北大学|文化14年|仙台藩医学学校設置(明倫養賢堂から分離)  
1817年2月16日-09:00|日本|福島県二本松市|文化14年|第9代陸奥二本松藩主・丹羽長富によって藩校「敬学館」を設置  
1817年2月16日 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊最高監督「ペルナルト・オイギンス・リカルメ」(~18230129)  
1817年2月16日 04:00|刊| |||<就任>刊大統領「ペルナルト・オイギンス」(~18230128)  
1817年2月16日-09:00|日本| |||文化14年1月|<出版>歌川豊国「役者似顔早稽古」  
1817年2月16日-09:00|日本| |||文化14年1月|<出版>溪斎英泉「俳諧百人一句集」  
1817年2月16日-09:00|日本| |||文化14年1月|<出版>「北斎漫画」四編より八編に至る五冊  
1817年2月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカのボルネオ<sup>o</sup>の街頭に世界初のガス灯がともる  
1817年2月22日-05:30|インド/フランス| |||マヘがフランスに復帰  
1817年2月27日 04:00|刊/スペイン| |||ファンフェルナンデス諸島のスペイン王党派軍は降伏  
1817年2月27日-07:00|日本|東京都中央区|文化14年1月12日|暁八つ時に江戸日本橋新乗物町南側から出火、堺町の中村座、葦屋町の市村座も焼失  
1817年3月-05:30|インド/ミャンマー| |||アッサム国をビルマが占領(~1817年4月)  
1817年3月3日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督「ヨハン・エマヌエル・レッター」(~10.5没)  
1817年3月3日 06:00|アメリカ| |||<発足>アメリカ、アラバマ準州設立  
1817年3月4日 00:00|イギリス| |||前年のスペイン・フィリス<sup>o</sup>の暴動がきっかけとなって、人身保護法が停止される  
1817年3月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国第5代大統領「ジェームズ・モンロー」民主党(~18250303)  
1817年3月6日 03:00|ブラジル| |||ペルナンブコ州で、ドミンゴ・ジョゼ・マルチンら軍内クリオーリョが率いる共和主義者が武装蜂起  
1817年3月7日-09:00|日本|東京都墨田区|文化14年1月20日|<大相撲>文化14年1月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(西関脇)鳴滝, 6勝1敗1分1無勝負  
1817年3月7日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文化14年1月20日|<死去>柳沢保光(65歳)前大和郡山藩主  
1817年3月8日 03:00|ブラジル| |||ペルナンブコ州で、反乱軍、州都レフィエを占拠し臨時政府を宣言  
1817年3月8日 06:00|アメリカ| |||世界最大の証券取引所「ニューヨーク証券取引所」が発足  
1817年3月15日-09:00|日本|東京都|文化14年1月28日|<死去>2代澤村田之助(30歳)歌舞伎役者  
1817年3月18日 04:00|日本|北海道石狩市|文化14年2月|(~文政元(1818)年4月)イシカリ場所に疱瘡流行/アイヌ人別2130人余のうち926人が罹病, 833人死亡  
1817年3月18日 06:00|日本|神奈川県小田原市|文化14年2月1日|<小田原文化14年の大火>未の下刻(15時ごろ)、突然、筋違橋町に住む大工、半蔵の家から出火、炎は瞬間に城下に広がり、火元の筋違い橋をはじめ、欄干橋町から中宿町へと進み、本町、宮前町、高梨町へ、また万町、茶畑町、代官町、千度小路、青物町、一丁田町、台宿町と軒並び灰にした/城内は三の丸にも延焼、武家屋敷、足軽屋敷をはじめ城下の町家、土蔵など、城下郊外の山王村へ飛び火し、網一色村まで残らず焼けた/被害は御用屋敷及び土蔵、番所5か所、往還出張門など3門、侍屋敷76軒、小役人屋敷11軒、同長屋9棟、足軽小屋26棟、町家は本陣、脇本陣を含め1060軒、町家店借り(借家)204軒、寺院門前の家18軒、穢多(部落民)の家34軒、農家150軒、寺院26か所、神社15か所、お堂14か所など計55か所、土蔵120棟など、合計家屋1553軒、35棟、26人死亡  
1817年3月20日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「マヌエル・バルト」(~5.27)  
1817年3月25日-09:00|日本| |||文化14年2月8日|<死去>金子金陵(不明)画家  
1817年3月26日-09:00|日本|東京都|文化14年2月9日|<死去>画人、金子金陵  
1817年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・オファリ」「ピエトロ・ゾーリ」  
1817年4月1日-09:00|日本|大阪府大阪市|文化14年2月15日|<死去>中井履軒(86歳)儒学者/大坂の学問所懐徳堂学派で最大の学問的業績を残した  
1817年4月2日-08:00|インドネシア/イギリス/オランダ| |||バンダ諸島はオランダに戻された  
1817年4月5日 04:00|刊| |||ラスエラス隊、コンセプションを占領  
1817年4月7日 06:00|アメリカ| |||メリーランド州で、200人の黒人奴隷が暴動を起こす  
1817年4月8日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリアで、最初の銀行ニューサウスウェールズ銀行、メリライバーから賃貸したマクウォーレー・ブレイスの店舗で営業を開始  
1817年4月8日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Foster Alleyne」(~6.4)  
1817年4月11日 05:00|エクアドル| |||独立派カティエリョのひとりマヌエル・カルロス・ピアル、王党派とのサンフェリクス<sup>o</sup>の戦闘に勝利、アングストゥーラ(現シタ・ボリーバル)を解放、オリノコ川の支配権を確立し第三共和制を開始  
1817年4月12日-05:30|インド/フランス| |||ヤサオンがフランスに復帰  
1817年4月19日-05:30|インド| |||<就任>ジョートプル国摂政「チャタル・シン」(~18180106没)  
1817年4月20日-01:00|ナイジェリア| |||<死去>ソト帝国 سلطان「ウスマン・ダン・フォティオ」  
1817年4月21日-01:00|ナイジェリア| |||<即位>ソト帝国 سلطان「ムハンマド・ベロ」(~18371025死去)  
1817年4月22日-09:00|日本|東京都中央区|文化14年3月7日|<初演>「櫻姫東文章」[作・四代目鶴屋南北]五代目岩井半四郎、河原崎座  
1817年4月27日 06:00|カナダ/アメリカ| |||アメリカとカナダが、ラッシュ・バゴット協定を締結し、五大湖の海軍力を削減  
1817年4月29日 00:00|イギリス/アメリカ| |||アメリカとイギリスが、五大湖の海軍力削減のためのラッシュ・バゴット協定に調印  
1817年5月2日-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデイ「アリ6世コージャ」(~18180301没)

1820迄 (2692件)

1817年5月7日-09:00|日本|京都府京都市|文化14年3月22日|<譲位>119代「光格天皇」  
1817年5月7日-09:00|日本|京都府京都市|文化14年3月22日|<踐祚>120代「仁孝天皇」/9月21日即位式(〜18460206)  
1817年5月8日-09:00|日本|東京都墨田区|文化14年3月23日|両国柳橋の万八楼で大酒大食の会が催される/酒は3  
升入りの杯で6杯半  
1817年5月9日-09:00|日本|千葉県富津市|文化14年3月24日|<交替>上総飯野藩2万石「保科正徳」隠居⇒長男「保科  
正丞」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年3月17日、死去)  
1817年5月10日-09:00|日本|島根県安来市|文化14年3月25日|<交替>出雲母里藩1万石「松平直方」隠居⇒長男「松  
平直興」が継ぐ(⇒天保14(1843)年9月13日、隠居)  
1817年5月14日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「Francisco Antonio de Araujo e Az  
evedo」(1期目〜18201018)  
1817年5月15日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>英国トリスラン・ダ・ケニヤ担当役員「ロバート・スコット・アイチソン」(〜11.18)  
1817年5月16日-09:00|日本| ||文化14年4月|<出版>北斎「画本早引」初編  
1817年5月16日-09:00|日本|京都府京都市東山区|文化14年4月|京都三十三間堂通矢「五十間堂百射」で、岩崎梅之  
助が64(総矢数100)を記録  
1817年5月18日-08:00|インドネシア| |||<開設>ボゴール植物園(インドネシア、ラインワルト)  
1817年5月20日 03:00|ブラジル| |||中央政府軍、弾圧に乗り出す。臨時政府は内部分裂のため樹立後2ヶ月半で崩  
壊。首謀者15名が死刑  
1817年5月25日-09:00|日本| ||文化14年4月10日|<死去>山田検校(61歳)箏曲家  
1817年5月27日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「アントニオ・マリア・マルティネス」(〜18220817)  
1817年5月31日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「泥棒かささぎ」》  
1817年5月31日-09:00|日本|東京都江東区|文化14年4月16日|江戸深川三十三間堂通矢「全堂日矢数」で、杉立信吉  
が5368本(総矢数9158本中)を記録  
1817年6月 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督代行「ビャルニ・グン・イク・フツソン・ソラレンセン」(〜18190618)  
1817年6月1日-09:00|日本|東京都|文化14年4月17日|<死去>杉田玄白/85歳(誕生:享保18(1733)0913)医学書ターヘル  
・ファトミア(解体新書)の翻訳者、蘭学者  
1817年6月2日 04:00|BES諸島| |||<就任>セント・ユースティウス島知事「Abraham de Veer」(〜18220118)  
1817年6月4日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「Stapleton Cotton, Viscount Com  
bermere」(〜18200612)  
1817年6月8日 07:00|メキシコ/スペイン| |||ミナ部隊、バジエ・デル・マイスでビジャセニョール大尉の率いるスペイン軍と交戦し、撃  
破  
1817年6月13日-05:30|インド/イギリス| |||イギリス・マフラツ条約によって別個の州として認められたマフラツ族の首長国ハ  
・シュワ自治領はポルトガル(イギリス保護領)と名付けられた/インディアン国は州(カル州、後に大部分が主にインドール州となる)  
として承認/グワリエル国は州(シンディヤ州、後に大部分が主にグワリエル州となる)として承認/コルハール国は独立国家と  
して承認/ナグプール国は州(ナグプール州)として承認/バローダ国は州(バーナール州、後に大部分がバーナール州)として承認  
1817年6月15日 07:00|メキシコ/スペイン| |||ボスティョ牧場で義勇軍とスペイン軍が激突。義勇軍は6倍の軍勢を相手に勝  
利を収め  
1817年6月15日-09:00|日本|東京都墨田区|文化14年5月1日|江戸両国万八楼で大食い大会あり、飯では68杯、蕎麦  
では63杯、酒では3升入り盃で6杯など記録  
1817年6月17日-09:00|日本|東京都|文化14年5月3日|<死去>古賀精里(68歳)儒学者、寛政の三博士の一人  
1817年6月21日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル首相「バルボア・アントニオ・デ・アラウ・デ・アゼベド」  
1817年6月23日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル首相「ジョン・パウロ・ベゼラ・デ・セイシャス」(〜11.29死去)  
1817年6月23日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル王国主席大臣「イタグアイ男爵ジョアン・パウロ・ベゼラ・デ・セイシャス」(〜11.2  
9)  
1817年6月24日 07:00|メキシコ/スペイン| |||義勇軍、独立派ゲリラが占拠したエル・ツンブレロ砦に入り、合流。オルトニス將軍の  
率いるスペイン軍部隊を撃破  
1817年6月26日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ジョン・トマス・Layard」(3期目〜9.26)  
1817年7月-05:30|スリランカ| |||<即位>キャンディ王国国王「キリティシリ・トラヤミ(偽装者)」(〜1818年10月)  
1817年7月1日-04:00|リュネオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Hilaire Urbain de Lafitte du Courteil」(〜18180  
909)  
1817年7月1日 00:00|カリブ諸島| |||<就任>スペイン王国カリブ諸島市民知事「Felipe de Sierra y Pambley」(〜1819.  
7)  
1817年7月1日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|文化14年5月17日|<死去>本多忠永(94歳)前伊勢神戸藩主  
1817年7月2日-09:00|日本|愛媛県今治市|文化14年5月18日|今治藩、池内八郎兵衛屋敷跡へ藩校を再興  
1817年7月5日 00:00|イギリス| |||(英)ウーリン金貨再登場\*20シリング  
1817年7月5日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|文化14年5月21日|<死去>出羽亀田藩2万石「岩城隆恕」(53歳)⇒7月  
13日、長男「岩城隆喜」が継ぐ(⇒嘉永6(1854)年12月9日、死去)  
1817年7月7日-01:00|ドイツ| |||<加盟>ドイツ連邦:ヘッセン・ホフブルク  
1817年7月7日 07:00|メキシコ/スペイン| |||ミナ軍、デル・ハル牧場を占拠  
1817年7月10日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ノサンパ・ラント公・2代ハノーバー伯「ヒュー・ハノーバー」  
1817年7月10日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ノサンパ・ラント公「ヒュー・ハノーバー」先代の長男(〜18470211死去)  
1817年7月13日-09:00|日本|京都府京都市|文化14年5月29日|<死去>経世家、海保青陵(63)  
1817年7月14日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの女性文学者スタール夫人(1766-、51歳)スイスの政治家・財政家故ジャック・ネ

1820迄 (2692件)

## ツケルの娘

1817年7月17日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「アレハンドロ・デ・ホル」(~18200708没)  
1817年7月18日-01:00|ナミビア/イギリス| |||イギリスが北緯18度線以北のウアルビス湾沿岸地域の領有権を放棄  
1817年7月18日 06:00|カナダ| |||カナダが、北西部インディアンと最初の条約を結ぶ  
1817年7月26日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・議長「ファン・ラミレス・オロスコ」(~18190414)  
1817年7月28日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘルム・カール・フォン・フランセス・イ・カレロ」(~18240927)  
1817年8月4日 07:00|メキシコ/スペイン| |||スペイン軍、エル・ソブレルロ砦を総攻撃。ミナ軍はこれを撃退  
1817年8月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・デッサウ公「Leopold3世」  
1817年8月9日-01:00|ドイツ| |||<即位>アンハルト・デッサウ公「レオポルト4世」(⇒1863年、アンハルト公に称号変更~18710522死去)  
1817年8月12日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|文化14年6月30日|大飯郡高浜浦町から出火、家273軒焼失  
1817年8月26日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「ジェームズ・ソーン」(~18190911)  
1817年9月11日-09:00|日本| ||文化14年秋|画家石崎融思が「フロンツ家家族図」を描く  
1817年9月16日-09:00|日本|茨城県下妻市|文化14年8月6日|<死去>井上正建(42歳)前常陸下妻藩主  
1817年9月20日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||コマンデルの入植地がオランダに復元され、マバールは英領インドに併合(1818年発効)  
1817年9月26日-09:00|日本|愛知県豊橋市|文化14年8月16日|<死去>三河吉田藩7万石「松平信明」⇒10月16日、次男「松平信順」が継ぐ(⇒天保13(1842)年12月13日、隠居)  
1817年9月26日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|文化14年8月16日|<死去>上野伊勢崎藩2万石「酒井忠寧」(29歳)⇒長男「酒井忠良」が継ぐ(⇒天保2(1831)年5月、隠居)  
1817年9月30日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリツ州知事「Franz Seraph Freiherr von Hauer」(~18221125)  
1817年10月-05:30|インド| |||カカ国はベンガルの一部(1912~1936年ビハール州とオリッサ州、1936年からオリッサ州)  
1817年10月-02:00|モルドバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア総督代行「マトヴェイ・イェゴロフ・イ・クルペンスキー」(~12.30)  
1817年10月-01:00|フランス| |||フランス「新選挙法」のもとで行われた選挙で「立憲王党派」が多数を占め、自由主義的改革が推進される  
1817年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フェデリコ・ゴジ」「ウインチェンツォ・ベッゾッピ」  
1817年10月3日-09:00|日本| ||文化14年8月23日|<就任>老中格「水野忠成」(~文政1年8月2日)  
1817年10月5日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督代行「イェンス・ニコライ・コネリアス・レイアセン」(~18190506没)  
1817年10月5日-09:00|日本|東京都千代田区|文化14年8月25日|<就任>老中「阿部正精」(~文政6年10月11日)  
1817年10月9日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「タルボット伯爵チャールズ・フェットウィント・タルボット」(~18211229)  
1817年10月9日-09:00|日本|東京都千代田区|文化14年8月29日|<死去>老中首座「松平信明」55歳  
1817年10月11日 00:00|イギリス| |||(英)ハーフ・ソヴリン発行  
1817年10月11日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<死去>ボネール司令官「Samuel Bartholomeus van den Broek」  
1817年10月11日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ボネール司令官「Isaac Debrot」(~18270323)  
1817年10月22日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>サラメント新植民地スペイン軍司令官「Jose Leon Guerreros (commander) + Bernardo de Castro y Callorda(ラ・ケル知事)」(~18180502)  
1817年10月23日-03:00|マダガスカル| |||マダガスカル王「ラマニ世」が島の大部分を征服  
1817年10月24日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジョン・ジョセフ・ウィングラー」(~11.6)  
1817年10月24日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文化14年9月14日|<移封>陸奥棚倉藩6万石「小笠原長昌」⇒肥前唐津藩6万石(⇒文政6(1823)年9月29日、28歳で死去)  
1817年10月24日-09:00|日本|静岡県浜松市|文化14年9月14日|<移封>肥前唐津藩6万石「水野忠邦」⇒遠江浜松藩6万石(⇒天保5(1834)年3月1日、1万石加増)  
1817年10月24日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|文化14年9月14日|<移封>遠江国浜松藩6万石「井上正甫」⇒陸奥棚倉藩6万石(⇒文政3(1820)年4月16日、隠居)  
1817年10月27日-05:30|インド| |||サントウル国はペシュワ自治領に併合(~18180701)  
1817年10月28日-09:00|日本|岡山県津山市|文化14年9月18日|<加増>美作津山藩5万石「松平齊孝」+5万石⇒10万石(⇒天保2(1831)年11月22日、隠居)  
1817年11月-03:00|サハラ/アラビア/エジプト| |||エジプトがマウヤを占領  
1817年11月3日 06:00|カナダ| |||カナダで最古の銀行「モントリオール銀行」設立(1935年カナダ銀行設立まで中央銀行)  
1817年11月5日-05:30|インド/イギリス| |||シンディア家はイギリスと軍事保護条約「ワーリヤル条約」を締結/シンディア家はラージヤスタン地方における権益を放棄し、その進出を認めたばかりか、イギリスの対ヒンダーラー戦争においてはヒンダーラーの掃討への協力も約した/シンディア家はイギリスに従属する藩王国となった(「ワーリヤル藩王国」)  
1817年11月5日-05:30|インド/イギリス| |||マラータ宰相「バジーラオ2世」はブネ近郊カキのイギリス駐在官邸を将軍「バーゴ・ゴール」に襲わせ(カキの戦い)第三次マラータ戦争が始まった  
1817年11月6日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公「ミロシュ・オブレンヴィッチ1世」(~18390625、退位)  
1817年11月6日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「エドワード・ホウ」(~18180625)  
1817年11月8日-01:00|モコ/イタリア| |||モコはサルデーニャ・ピエモンテ保護領(~18600718)  
1817年11月8日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ司令官兼管理者「Jean-Francois」(~18190725)  
1817年11月8日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||フランス領ギアナがフランスに復帰  
1817年11月9日-05:30|インド/イギリス| |||カラウリ国はイギリス保護領(条約により)

1820迄 (2692件)

1817年11月11日-01:00|イタリ| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「アルミーダ」》  
1817年11月11日-01:00|スペイン/メキシコ| |||<独立運動家>フランシスコ・ハビエル・ミナ、リナ元帥の作戦本部で銃殺される  
1817年11月11日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ジェームズ・コックハート卿」(2期目~18190415)  
1817年11月12日-05:30|インド/イギリス| |||<サタール国はイギリスにより国家として認められ、イギリス保護領となった(条約により)>  
1817年11月13日-09:00|日本|愛知県名古屋|文化14年10月5日|葛飾北斎名古屋滞在中、百二十畳敷の紙に達磨半身の大図を画く  
1817年11月13日-09:00|日本|東京都墨田区|文化14年10月5日|<大相撲>文化14年10月場所[江戸本所回向院境内](10日間)優勝:(東大関)柏戸, 6勝1敗1預2休  
1817年11月14日-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイテンベルク公「オイゲン」(~118240221)  
1817年11月15日-05:30|インド| |||<就任>トンク国支配者(ナワブ)「アミール・カーン・イブン・ハヤット・カーン」建国(条約によりイギリス保護領)(~18341102没)  
1817年11月18日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領トリスタン・ダ・クーニャ島民総代「ウィリアム・ケラス」(~18531124死去)  
1817年11月18日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<撤退>トリスタン・ダ・クーニャ英国駐屯軍  
1817年11月19日-04:00|モリシヤス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシヤス総督・最高司令官代行「ゲージ・ジョン・ホール」(~18181210)  
1817年11月26日-05:30|インド/イギリス| |||<コタ国はイギリス保護領(条約により)>  
1817年11月27日-05:30|インド/イギリス| |||<ナグプル太守マード・ジー・ボーンズレー2世はシーターバルデーの戦いで敗れた>  
1817年11月29日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル首相「ジョン・パウロ・ベゼラ・デ・セイシャス」  
1817年11月29日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル首相「トマス・アントニオ・デ・ウイラ=ノヴァ・ポルトガル」(~18210226)  
1817年11月29日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル王国主席大臣「トマス・アントニオ・デ・ウイラ=ノヴァ・ポルトガル」(~18210226)  
1817年11月29日-09:00|日本|茨城県笠間市|文化14年10月21日|<交替>常陸笠間藩8万石「牧野貞喜」隠居⇒次男「牧野貞幹」が継ぐ(⇒文政11(1828)年8月18日、死去)  
1817年12月-03:00|サウジアラビア/エジプト| |||<エジプトがアル=ラス、アル=カブラ、ウアイダ、フライダを占領>  
1817年12月 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Louis Auguste Elliot」(1期目~1823. 2)  
1817年12月 04:00|刊/スペイン| |||<チロリは刊本土から逃げるスペイン軍の残党によって占領された>  
1817年12月9日-09:00|日本|東京都|文化14年11月2日|<死去>3代市川團之助。経営失敗を苦に自宅で自殺(32歳)歌舞伎役者/12年より桐長桐座(市村座変え櫓)の経営  
1817年12月10日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ミシシッピ準州、ジョージア州により連邦政府に寄贈された土地で構成⇒アメリカ合衆国ミシシッピ州(20番目)  
1817年12月10日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文化14年11月3日|<死去改易>姫路新田藩1万石「酒井忠全」(3歳)無嗣断絶、姫路藩に併合  
1817年12月14日-09:00|日本|千葉県野田市|文化14年11月7日|<交替>下総関宿藩58000石「久世広誉」隠居⇒嫡孫「久世広運」が継ぐ(⇒文政13(1830)年8月20日、死去)  
1817年12月16日-05:30|インド/イギリス| |||<ナグプル太守マード・ジー・ボーンズレー2世はイギリスに降伏>  
1817年12月21日-05:30|インド/イギリス| |||<マヒドプルの戦い>ホールカル家はイギリスとマヒドプルの戦いで大敗  
1817年12月22日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント総督「チャールズ・ブリスベン」(3回目~18291115)  
1817年12月27日-01:00|イタリ| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「ボルコ・ニャのアデライデ」》  
1817年12月28日-09:00|日本|岡山県真庭市|文化14年11月21日|<死去>三浦前次(61歳)前美作勝山藩主  
1817年12月29日-09:00|日本|東京都八王子市|文化14年11月22日|江戸中に雷のような音を立てて光り物が飛び、八王子横山宿の畑の中に落ちる  
1817年12月30日-02:00|モルドバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア総督「コンスタンティン・アントノビッチ・カカジ」(⇒18180511ベッサラビア州総督~18250826)  
1818年-08:00|マレーシア| |||<就任>ペラ摂政「ラジャ・タジュディン・イブニ・アル=マルフム・スルタン・アブドゥル=マリク・ムアッザム・シャー・ジャマルッラー」(~18250818)  
1818年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャイロ・スルタン「Muhammad Hajuddin Syah」(~1825年)  
1818年-08:00|インドネシア| |||<復位>アチ王国スルタン「Alauddin Jauhar ul Alam」(~1824年)  
1818年-08:00|インドネシア| |||<復位>パレンバン・スルタン「Sultan Mahmud Badaruddin2世」(~1821年)  
1818年-07:00|タイ| |||<即位>ラムハン国主「カチヤ」(約半年)→<即位>ラムハン国主「ノイイン」(~1829年)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「ヒュアント・ラシン・ナレントラ」(1回目~18190309)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>アリラーゼプール国統治者(ラナ)「ムサフィール・メラン(篡奪者)」(~同年)⇒「ジャシュワント・シン」(~18620317没)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>ウダール国ラジャ「カリヤン・シン・デオ」スルガジャ内に分立地所(ザミナリ)として設立(~1852年)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>カシヤ国統治者(サルダール)「ソハール・シン」(~18580214没)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>サリヤ国ラジャ「アムル・シン」(~1842年)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>ジョハット国統治者(ラナ)「サハト・シン」(~1864年没)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>スルガナ国統治者(デ・シュムク)「マルハル・ラオ」(~1819年没)

1820迄 (2692件)

1818年-05:30|インド| |||<就任>セイウケラ国ラジャ「ヒ・ラム・シン2世」(~1823年没)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>ナゴト国ラジャ「ハルバト・ラ・シン」(~1831年)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>ホラハット国ラジャ「ガ・ナシム・シン」(~1820年以降)⇒「アチュタ・シン2世」(~不明)⇒「チャクラタル・シン」(~1839年)  
1818年-05:30|インド| |||<就任>ルハバダ国統治者(ラ)「ファテ・シン」(~1849年没)  
1818年-05:30|インド| |||<即位>カンカー国統治者(マハラジャティ・イラージ)「ブッ・デ・オ」(2回目~1839年)  
1818年-05:30|インド/イギリス| |||アリラーンプール国、カティワラ国、クルワイ国、ジャブア国、ジョハット国、スルガナ国、マヌール国、ラーシガル国、ラタンマル国はイギリス保護領  
1818年-05:30|インド/イギリス| |||サハヌール国はイギリス保護領となり、国家として認められる  
1818年-05:30|インド/イギリス| |||サンバルプール国はイギリスが領地管理(~1820年)  
1818年-05:30|インド| |||ヒプロダ国はジャオラの属領  
1818年-05:00|パキスタン| |||<死去>タラ統治者(ミール)「ヌアブ・カーン」  
1818年-05:00|パキスタン| |||<就任>タラ統治者(ミール)「ヘ・インダ・カーン」(~1843年没)  
1818年-05:00|パキスタン| |||<就任>ラスベラ国ジャム・サハブ「アリ・カーン2世」(~1830年)  
1818年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カブール首相(ワズール・イ・アザム)「ド・ースト・モハマト・カーン・モハマト・ザイ」⇒「モハマト・アジム・カーン」(~1823年)  
1818年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン対立大王(ヘラート)「マフムト・シャー」(2回目~1819年)  
1818年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン対立大王(ヘ・シャワール)「アイユブ・シャー」(1回目)⇒「シュジャー・アル・ムルク・シャー」(2回目)⇒「アイユブ・シャー」(2回目~1829年)  
1818年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン大王(ハト・シャー)「スルタン・アリ・シャー」(~1819年退位)  
1818年-04:30|アフガニスタン| |||<退位>アフガニスタン大王(ハト・シャー)「マフムト・シャー」  
1818年-04:00|UAE| |||<即位>アブ・ダビド統治者「Sheikh Shakhbut ibn Dhiyab Al Nahayan」,「Sheikh Tahnun ibn Shakhbut Al Nahayan」(~1833.4死去)  
1818年-04:00|ロシア| |||アヴ・アール、アクシャ・タルジヨ、カイタグ、タハサラン、メフトウリがロシアに反乱(~1819年)  
1818年-03:00|カンタラ| |||<就任>キタル統治者(オムカマ)「イハ・ンダ・2世」  
1818年-03:00|カンタラ| |||<就任>バ・イマ統治者(オムカマ)「キブゴ・イゴ・デ・イ」  
1818年-03:00|カンタラ| |||<就任>バ・グウェリ統治者(オムカマ)「ワヌ・ナムハヤ」  
1818年-03:00|カンタラ| |||<就任>ブ・ガブラ統治者(オムカマ)「カコ・タ」(~1845年頃)  
1818年-03:00|カンタラ| |||<就任>ブ・クアンガ・キ統治者(オムカマ)「カギヤ」  
1818年-03:00|カンタラ| |||<就任>ブ・シ統治者(オムカマ)「ムインダ」  
1818年-03:00|カンタラ| |||<就任>ブ・ジンバ統治者(オムカマ)「イハ・ンダ」  
1818年-03:00|カンタラ| |||<就任>ブ・ラキ統治者(オムカマ)「ジボント・4世・ブ・ウイ2世」  
1818年-03:00|ケニア| |||<即位>パテ・スルタン国スルタン「Fumo Luti ibn Ahmad, Mfalume」(~不明)⇒「Bwana Shaykh ibn Fumo Madi, Mfalume」(1期目~1823年)  
1818年-03:00|サウジアラビア/エジプト| |||アルハサをエジプトが占領(~1819年)  
1818年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Hurshid Ahmed Pasha」(~1820年)  
1818年-02:00|モザンビーク| |||<就任>マコ統治者(マソボ)「チンカ・ニヤルムウエ2世・インハルグ」(2回目~1822年)  
1818年-01:00|ベナン| |||<死去>アジ・ヤチ・イホのフォン王国国王「ト・イ・ト・ファ1世」  
1818年-01:00|ドイツ| |||<死去>ロイス=シュライツ侯「Heinrich42世」  
1818年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウラ暫定総督「Francisco Antonio de Villar y Herrera」(3期目~同年)⇒総督「Jose Miranda y Cabezon」(1期目~1819年)  
1818年-01:00|スウェーデン| |||<就任>セーデルマンラント公「オスカル」(~18440308)カール14世ヨハンの息子  
1818年-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国管理評議会会長「アヴラム・ペトロヴィッチ」(1回目~1820年)  
1818年-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイス=シュライツ侯「Heinrich62世」(~1848.10解任)  
1818年-01:00|ベナン| |||<即位>アジ・ヤチ・イホのフォン王国国王「フウエ」(~1828年没)  
1818年-01:00|ベナン| |||<即位>タホ王国国王「ケゾ・ケバランベ・セトコ」(~1858年12月没)  
1818年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王領セント・バーソロミュー島知事「Johan Samuel Rosensvard」  
1818年 04:00|トニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「セバスチャン・キンデラン・イ・オルゴン」(~1821年)  
1818年 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カナダ 総督「リッチモンド 公爵チャールズ・レノックス」(~1819年)  
1818年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者「シモン・グティエレス」(~同年)⇒「セル・マリア・ペ・イナート」(2回目~18200129)  
1818年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニュー・メキシコ総督「Facundo Melgares」(⇒1822.1メキシコ領ニュー・メキシコ総督~18220705)  
1818年 10:00|ホリネシア| |||<死去>タタ統治者「Keatonui」  
1818年 10:00|ホリネシア| |||<就任>タタ統治者「Iotete」(~1842.9)  
1818年1月 00:00|モリタニア| |||<就任>ブラクナ連合エミール「アフマト・ウルト・シディ・アリ1世」(~1841年没)  
1818年1月1日-05:30|インド/イギリス| |||マラータ宰相バーザー・ラーオ2世はコーレガールでイギリスに敗北(コーレガールの戦い)  
1818年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ニコラス・フリート・リヒ・フォン・ミュリネン」Lib(1期目~12.31)  
1818年1月2日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル司令官代行「アイメ・ベッン・ジャミン・フルリオ」(~18190710)  
1818年1月4日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督「Mariano Osorio」(~18180405)  
1818年1月4日-09:00|日本|京都府京都市下京区|文化14年11月28日|国学者富士谷御杖が、京都五条坊門に審神舎

1820迄 (2692件)

を創設

1818年1月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ブル・ウル・デルヴァイッシュ・メフメト・パシャ」(~18200105)  
1818年1月5日 00:00|イギリス/アメリカ| |||ニューヨークとリヴァプールを結ぶ最初の大西洋横断の定期航路が始まる  
1818年1月6日-05:30|インド/イギリス| |||シヤオ国、ジョートブル国はイギリス保護領(条約により)国)  
1818年1月6日-05:30|インド/イギリス| |||ナグプール太守マートン・ジョー・ホーンズレー2世はイギリスと講和条約(軍事保護条約)を結び、ホーンズレー家はイギリス従属化の藩王国となった(ナグプール藩王国)  
1818年1月6日-05:30|インド/イギリス| |||ホルカル家とイギリスとのあいだでマンドサル条約が結ばれ、ホルカル家はイギリスに従属する藩王国となった(インド藩王国)/ジャイプル、ジョートブル、ウダipur、コター、ブーンディーなどのラージプート諸王国の主権を放棄させられた  
1818年1月6日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Francois Xavier」(~1826. 6)  
1818年1月7日-09:00|日本| |||文化14年12月1日|<完成>女流文学者、只野真葛、経世論「独考」(1819、曲亭馬琴に送る)  
1818年1月15日 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>ホンジュラス州市長「ジョセフ・グレゴリー・ティコ・デ・コントラス」(~18211121)  
1818年1月20日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領イリュリア王国ライハツ州知事代行「フランツ・セザリン・リッター・フォン・エペナウ」(~5. 9)  
1818年1月23日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「モリス・ベキル・パシャ」(~29日)  
1818年1月27日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アハコン侯「ジョン・ジェイムズ・ハミルトン」  
1818年1月27日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アハコン侯「ジェイムズ・ハミルトン」先代の孫(⇒18680810初代アハコン公~18851031死去)  
1818年1月29日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「デルヴァイッシュ・ムスタファ・パシャ」(~18190727)  
1818年1月29日-09:00|日本| |||文化14年12月23日|<死去>石川大浪(56歳)画家  
1818年1月31日-09:30|オーストラリア| |||パラマッタとエミュー・フォード間、30キロ以上のグレート・ウェスタン・ロード完成。二つの料金所が設けられる  
1818年1月31日-05:30|インド/イギリス| |||ウダipur国はイギリス保護領(条約により)  
1818年2月5日-01:00|スウェーデン/ルウェー| |||<死去>スウェーデン国王「カール13世」兼ルウェー国王「カール2世」70歳(誕生17481007)  
1818年2月5日-01:00|スウェーデン/ルウェー| |||<即位>スウェーデン王国国王「カール14世ヨハン」兼ルウェー王「カール3世ヨハン」(~18440308死去)  
1818年2月5日-09:00|日本| |||文化15年1月|<出版>岩崎灌園「草木育種」  
1818年2月5日-09:00|日本| |||文化15年1月|<出版>大田南畝、狂歌狂文集「万紫千紅」「蜀山百首」  
1818年2月5日-09:00|日本| |||文化15年1月|<出版>豊国・国貞・辰斎・戴一・国丸・国安・春亭・武清・玉山等の挿画「以代美満寿」  
1818年2月5日-09:00|日本| |||文化15年1月|<出版>北溪「東海道岐嶺街道狂歌合」  
1818年2月5日-09:00|日本| |||文化15年1月|<出版>北斎「秀画一覧」  
1818年2月5日-09:00|日本| 京都府京都市中京区|文化15年1月|柊家旅館創業  
1818年2月6日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「アントニオ・ブシッ」(~18210505)  
1818年2月10日-05:30|インド/イギリス| |||ブーテンディ国はイギリス保護領(条約により)  
1818年2月12日 04:00|チリ/スペイン| |||チリが共和国として独立を宣言  
1818年2月12日 05:00|コロンビア| |||ボリバー、モリーヨのひきいるスペイン軍をカラボリで撃破。その後ボリバーは一気にカラボリに進攻を試みるが失敗  
1818年2月20日-05:30|インド| |||<就任>ムト・ル国統治者(ラジェ・ゴルパ・デ・バハドール)「ウエンカト1世・ラジェ・ゴルパ・デ」(~1854年12月没)  
1818年2月22日 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ボリビア聴問庁長官「ラファエル・マロ・イサース」(~1824年)  
1818年3月-01:00|スペイン/ペルー| |||スペイン軍反攻。カンチャ・ヤダのたたかいでサンマルチン軍を破る/3週間後にはマイポールの戦いに敗れ撤退  
1818年3月1日-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデ・イ「フェイン3世」(~18300705)  
1818年3月2日-02:00|エジプト/イタリア| |||「王家の谷」の発見者、イタリアのベルツォニはこの日ギザの第2のピラミッドを開いた  
1818年3月2日-02:00|ラトビア| |||ピルツェはクルランドに完全に編入され自治権廃止  
1818年3月5日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキノ・ロッシーニ《歌劇「エジプトのモゼ」》  
1818年3月7日-09:00|日本| |||文化15年2月|<出版>北斎と大阪の立好斎「萍水奇画」  
1818年3月9日-05:30|インド/イギリス| |||ビカネル国はイギリス保護領(条約による)  
1818年3月9日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバ・グラナダ副王「ファン・ホセ・フランシスコ・デ・サマノ・イ・ウリバリ・デ・レボラル・イ・マゾラ」(ハナマ、18190809から名目上~18210803没)  
1818年3月11日 00:00|イギリス| |||メアリー・シェリー「フランケンシュタイン」初版発行  
1818年3月15日-05:30|インド| |||<就任>ナグプール国摂政「バカ・バハイ」(~18180626)  
1818年3月20日 04:00|チリ| |||ホルト・ニエス指揮下の王党軍、外れ近郊のカンチャ・ヤダで独立軍を夜襲/ホセ・ゲキンスは負傷、サンマルチンの副官も倒れるなど大混乱  
1818年3月21日-09:00|日本| 東京都台東区|文化15年2月15日|<大相撲>文化15年2月場所[江戸浅草八幡宮](10日間)優勝:(西大関)玉垣、7勝0敗1無勝負2休  
1818年3月21日-09:00|日本| 東京都中央区|文化15年2月15日|幕府が、京都定職以外の銀箔製造を禁じ、江戸呉服町に京都銀箔所を再建

1820迄 (2692件)

1818年3月22日-08:00|インド/ネパール| |||<就任>ベンガル副総督「トマス・Stamford Bingley Raffles」(~1824年)  
1818年3月26日-05:30|インド/イギリス| |||キヤンガル国はイギリス保護領(条約による)  
1818年3月27日 04:00|サン・パウル島/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領セント・バーツロミュー島知事「Johan Norderling」(~18260502)  
1818年3月27日-09:00|日本| ||文化15年2月21日|<死去>感和亭鬼武(59歳)戯作者  
1818年3月28日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「カルロス・デ・ウルティア・イ・モントヤ」(~18210909)  
1818年3月29日 05:00|ハイチ| |||<死去>ハイチ共和国大統領「アレクサンドル・サベ・ペション」後継者を指名せずに  
1818年3月29日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領代行「ジャン・クリストム・アンペール(国務長官)」(3回目~4. 1)  
1818年3月31日-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「ジェイコブ・アントリース・ファン・フラム弁務官」(~5. 19)  
1818年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・マルベリ」「リビオ・ガザリ」  
1818年4月1日 05:00|ハイチ| |||<就任>ハイチ共和国大統領「ジャン・ピエール・ボイヤ」(~18430314)  
1818年4月2日-05:30|インド/イギリス| |||ジャイプール国はイギリス保護領(条約による)  
1818年4月4日 06:00|アメリカ| |||モンロー大統領、国旗法に署名/アメリカ国旗の星の数を20とし縞の数をもとの13に戻す  
1818年4月5日-01:00|スペイン/チリ| |||サン・マルティン(40)が、マプーでスペイン軍を破り、チリが完全に解放される  
1818年4月6日-09:00|日本| ||文化15年3月|<出版>歌川国直「歌舞妓雑談」  
1818年4月6日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|文化15年3月|飯田金毘羅山(稲葉山)が造営される  
1818年4月6日-09:00|日本|東京都中央区|文化15年3月|久留米藩主、有馬頼徳が久留米水天宮の分社として水天宮(東京都)創建  
1818年4月7日 06:00|アメリカ/スペイン| |||フロリダ国境守備軍司令官となったジャクソン、独断でフロリダ侵攻を開始。スペイン総督を追放しスペイン国旗を引き降ろす。さらに親せみの英国人二人を処刑。フロリダのセントマークスを占拠  
1818年4月9日-09:00|日本|山口県下関市|文化15年3月4日|<交替>長門清末藩1万石「毛利匡邦」隠居⇒養子「毛利政明」が継ぐ(⇒同月26日、死去)  
1818年4月9日 13:00|日本|新潟県上越市|文化15年3月4日|<越後今町文化15年の大火>夜、四つ時(22時ごろ)、横町の長吉の後家りわ宅と清次郎の後家もと宅の両家からほぼ同時に出火、火元の横町51軒、本砂山町73軒、坂井町74軒、新坂井町55軒、中嶋町100軒、片原町85軒、中町102軒、寄町38軒、川端町156軒、新町82軒と軒並み焼け野原となった/被災合計899軒で当時の今町1139軒の79%が燃えた。その内、借家68軒、土蔵16棟、納屋105棟、控え屋3軒、寺5か所、寺の鐘楼2か所、同山門1か所、消火のための漬家2軒、廻船5隻  
1818年4月12日-09:00|日本|東京都中央区|文化15年3月7日|<初演>3代目尾上菊五郎、清元「保名」(篠田金治作詞)都座  
1818年4月13日-09:00|日本|東京都|文化15年3月8日|<死去>画人、谷文一(32歳、文晁の男也)  
1818年4月17日 06:00|アメリカ| |||米国の著名なパベル・ブランドである「BROOKS BROTHERS」が創業  
1818年4月18日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督代行「ウィリアム・ピーター・マニングス」(2回目~18200928)  
1818年4月18日 06:00|アメリカ/イギリス| |||アメリカ、モンロー大統領、西インド諸島から出港した英船に対して閉港令  
1818年4月20日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、1818年関税法制定  
1818年4月22日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総督代行「フランス・クリスチャン・エバーハルト・オルテンハーグ」(~18200110没)  
1818年5月1日-09:00|日本|山口県下関市|文化15年3月26日|<死去>長門清末藩1万石「毛利政明」(30歳)⇒翌年8月16日、養子「毛利元世」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年7月27日、死去)  
1818年5月2日 03:00|ウルクアイ/ポルトガル| |||<就任>サクラメント新植民地ポルトガル総督「ラファエリ・カルロス・フェリペ・デ・レコア」(~16日)  
1818年5月2日 03:00|ウルクアイ/ポルトガル| |||サクラメントの新植民地をポルトガル(18220907~ブラジル)が支配(~18280820)  
1818年5月9日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領イリュリア王国ライパツ州知事「カール・ボロメウス・グラーフ・フォン・インゲル」(~18190426)  
1818年5月13日-05:30|インド| |||インドでベンガル語紙「サマチャール・ダルバン」が創刊  
1818年5月13日-01:00|フランス| |||<死去>アンギャン公「ルイ3世ジョゼフ」兼ギーズ公「ルイ4世ジョゼフ」  
1818年5月13日-01:00|フランス| |||<就任>アンギャン公「ルイ4世アンリ」兼ギーズ公「ルイ5世アンリ」(~18300827死去)  
1818年5月15日-05:30|インド| |||<就任>ナガプル藩王「ラージー・ボーンズレー3世」(~18531211死去)  
1818年5月16日 03:00|ウルクアイ/ポルトガル| |||<就任>サクラメント新植民地ポルトガル総督「Sebastiao Pinto de Araujo Correia」(~同年死去)  
1818年5月17日-09:00|日本|東京都中央区|文化15年4月13日|<死去>伊能忠敬、江戸八丁堀で(74歳、延享2(1745)0111生)商人、測量家/日本地図作成  
1818年5月18日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、1818年関税法制定  
1818年5月19日-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「フランス・カスパー・レーゲル」(~18231127没)  
1818年5月20日-09:00|日本| ||文化15年4月16日|幕府が真字二分判金を新鑄  
1818年5月21日 00:00|イギリス| |||<死去>6代サントウィッチ伯「ジョージ・ジョン・モンタギュー」  
1818年5月21日 00:00|イギリス| |||<就任>7代サントウィッチ伯「ジョン・ウィリアム・モンタギュー」先代の息子(~18840303死去)  
1818年5月24日 06:00|アメリカ| |||ジャクソン、フロリダのペンサコーラを占領/第1次セミノール戦争終結  
1818年5月26日-01:00|ドイツ| |||バイエルンで、王と貴族の大きな権力を認め、第一院は貴族、第二院は他の階級で構成する二院制議会の開設を定めた欽定憲法が制定される  
1818年5月26日-01:00|ドイツ| |||プロイセン関税法が制定され、国内関税を廃止  
1818年5月26日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領西フロリダ植民地総督「ウィリアム・キング」(~18190204)

1820迄 (2692件)

1818年5月26日-09:00|日本| ||文政1年4月22日|「文政」に改元  
1818年5月28日 06:00|アメリカ| ||第一次セミノール戦争終結. ジャクソンは黒人奴隷をジョージア州の「正統な持ち主に返却」  
する  
1818年5月28日-09:00|日本|島根県松江市|文政1年4月24日|<死去>松平治郷(松平不昧)(68歳)前出雲松江藩主、  
茶人  
1818年5月31日-01:00|フランス| ||<死去>ギース公「ルイ4世ジョゼフ」  
1818年5月31日-01:00|フランス| ||<即位>ギース公「ルイ5世アンリ」(~18300827死去)  
1818年6月-05:30|インド| ||<就任>サターラ藩王「プラーブ・シング」(マラーター王国君主~18390905解任)  
1818年6月3日-05:30|インド/イギリス| ||「ペシュワ自治領」(プネ)が英領インドに併合される(ボンベイの一部として)  
1818年6月3日-05:30|インド/イギリス| ||マラータ宰相バーザーラーオ2世もイギリスに降伏、第三次マラーター戦争は終結. マラーター同  
盟は崩壊し、宰相の政権も同時に崩壊⇒イギリスはバーザーラーオ2世の領土を没収し、カンゴールへ追放. マラーター王プラーブ  
・シングと軍事保護条約を締結し、残りの領土を保有する権利を認め、マラーター王国を藩王国化(サターラ藩王国)  
1818年6月4日-09:00|日本|福井県福井市|文政1年5月1日|<加増>越前福井藩30万石「松平治好」+2万石⇒32万石(  
⇒文政8(1826)年12月1日、死去)  
1818年6月10日-09:00|日本| ||文政1年5月7日|<死去>3代山彦源四郎(不明)浄瑠璃三味線方  
1818年6月10日-09:00|日本| ||文政1年5月7日|<死去>有賀長収(69歳)歌人  
1818年6月12日-03:00|エチオピア| ||<死去>エチオピア帝国(後期ソモン朝)皇帝「イブス2世・ヒズケス」  
1818年6月16日-09:00|日本/イギリス|神奈川横須賀市|文政1年5月13日|イギリス人ゴルトン浦賀に來り貿易を求む→  
のち幕府は拒絶  
1818年6月19日-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝)皇帝「イブス2世・ヒズケス」(~18210603没)  
1818年6月20日-09:00|日本|福井県大野市|文政1年5月17日|<死去>越前大野藩4万石「土井利器」(36歳)⇒養子「土  
井利忠」が継ぐ(⇒文久2(1862)年、隠居)  
1818年6月23日-05:30|インド| ||<就任>パタナ国摂政「サジ・ラオ・ゲーワール」(~18191002)  
1818年6月25日-05:30|インド/イギリス| ||ジャマナ国はアジメールの一部としてグワリエルによってイギリスに割譲された  
1818年6月25日 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジョン・キン卿」(1回目~1821年6月)  
1818年6月26日-05:30|インド| ||<即位>ナガポール国統治者(マハラジャ・サハ・サヒブ・スパー)「ラギー3世パフ・サヒブ」(~185  
31211没)  
1818年6月26日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文政1年5月23日|<死去>松平乗尹(42歳)前三河奥殿藩主  
1818年6月27日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文政1年5月24日|<死去>建部政賢(72歳)前播磨林田藩主  
1818年7月1日-05:30|インド| ||<就任>サントール国統治者(ヒンドウ・ラオ、マリカト・マダール)「シヴァ・ラオ2世」国家として認め  
られる(イギリスの保護領)(2回目~18400502)  
1818年7月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| ||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督「Peter Carl Frederik vo  
n Scholten」(1回目~18200211)  
1818年7月4日 00:00|イギリス| ||<就任>4代ケー伯「ヘンリー・ペティフィッツモリス」3代ラズダウ侯(~18630131死去)  
1818年7月4日 05:00|コロンビア/フランス| ||(旧)フロビデンス島とセントキャサリン諸島をフランス海賊ルイ・ミッシェル・オーリが占領(~182  
10830)  
1818年7月6日-09:00|日本|福井県大野市|文政1年6月4日|<死去>土井利義(42歳)前越前大野藩主  
1818年7月20日-09:00|日本|熊本県宇土市|文政1年6月18日|<死去>肥後宇土藩3万石「細川立之」(35歳)⇒8月9日、  
長男「細川立政」が継ぐ(⇒文政9(1826)年4月4日、熊本藩の家督を継ぐ)  
1818年8月 04:00|刊| ||最初の刊暫定憲法、国民投票で承認される  
1818年8月12日 04:00|日本|福井県福井市|文政1年7月11日|<福井文政元年の大火>午の下刻(13時ごろ)、城下の  
木田横町より出火/炎は橋南の家屋すべてを焼き払い、足羽川を挟んで対岸の八幡町に飛び火し、西の方に延焼  
/愛宕山にある足羽、国龍、愛宕諸神社を全焼させ、孝顕寺、松尾寺もことごとく焼けた/町家1179軒、侍屋敷34軒  
、足軽の家60軒、在家信者の家65軒、土蔵44棟、神社6か所、寺院34か所、社家(神職の家)2軒、庵2軒が焼失  
1818年8月13日-09:00|日本|福井県|文政1年7月12日|小浜西津から出火、約350軒焼失  
1818年8月15日-09:00|日本|福井県|文政1年7月14日|南条郡今庄で火事、町家142軒・在家134軒など焼失  
1818年8月22日 00:00|イギリス| ||<松平治好>初代インド総督をつとめたヘスティングス/85歳(誕生17321206)  
1818年8月24日-09:00|日本|東京都千代田区|文政1年7月23日|<就任>西丸老中「酒井忠進」  
1818年8月28日 00:00|イギリス| ||<死去>6代アナンデイル=ハートフェル女伯「アン・ホープ=ジョンストン」  
1818年8月28日 00:00|イギリス| ||<就任>7代アナンデイル=ハートフェル伯「ジョン・ホープ=ジョンストン」(~18760711死去)  
1818年9月2日-09:00|日本|京都府京都市|文政1年8月2日|<就任>京都所司代「松平乗寛」(⇒1822(文政5年9月3日)  
)  
1818年9月2日-09:00|日本|東京都千代田区|文政1年8月2日|<就任>老中格「水野忠成」→老中(~天保5年2月28日)  
1818年9月2日-09:00|日本|東京都千代田区|文政1年8月2日|<就任>老中「大久保忠真」(~天保8年3月19日)  
1818年9月3日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文政1年8月3日|<死去>水野忠鼎(75歳)前肥前唐津藩主  
1818年9月11日-03:00|サジアラビア/エジプト| ||エジプト総督ムハンマド・アリの息子イブラヒム(29)が、ワハブ王国の首都ダ  
イヤを攻め、ワハブ王国を滅ぼす  
1818年9月13日-04:00|レニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Pierre Bernard de Milius」(~18210214)  
1818年9月14日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Carlos Martinez de Irujo y Tacon」(  
~18190612)  
1818年9月16日-09:00|日本|岡山県浅口市|文政1年8月16日|<死去>池田政直(73歳)前備中鴨方藩主  
1818年9月17日 00:00|イギリス| ||<死去>9代リンジー伯「アルバ・マール・パーティ」

1820迄 (2692件)

1818年9月17日 00:00|イギリス| |||<就任>10代リンズー伯「ジョージ・オーガスタス・フレデリック・アルベマル・パーティ」(~18770321死去)

1818年9月20日-08:00|マレーシア/オランダ/イギリス| |||マラッカは、オランダに返還された

1818年9月30日-09:00|日本| ||文政1年9月|<出版>葛飾戴斗「和語陰陽文絵抄」

1818年10月-05:30|スリランカ/イギリス| |||キャンディ王国をセイロン植民地に編入

1818年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリアーノ・ベグニ」(ジョヴァンニ・マルベリ)

1818年10月4日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|文政1年9月5日|<死去>下総多古藩12000石「松平勝升」(41歳)⇒養子「松平勝権」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年10月7日、隠居)

1818年10月5日-05:30|インド/イギリス| |||ハルカール国はイギリス保護領(条約による)

1818年10月5日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国枢密院議長「ニールス・ローゼンクランツ・ティル・ライコール」(~18240107没)

1818年10月15日-03:00|マダガスカル/フランス| |||<設立>フランス領マダガスカル島のセント・マリー島(フルボン島[レユニオン]に從属)

1818年10月18日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| |||<就任>ノルウェー総督「ヨハン・アウグスト サンデル」(1回目~18240411)

1818年10月18日-09:00|日本|栃木県日光市|文政1年9月19日|酒井忠近が東照宮五重塔再建(高さ35m)

1818年10月19日-05:30|インド| |||<就任>アフト・国ラジャ(パドシャー・エ・アフト、シャー・エ・ザマン)「ガースィ・アッデ・イン・モイッス・アッデ・イン・アブール・モザッファル・ハイダル・シャー」皇帝から正式独立(~18271019)

1818年10月19日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、チソー族と条約締結

1818年10月20日 06:00|アメリカ/イギリス/カナダ| |||アメリカとイギリスが協約を結び、カナダとアメリカのロッキー山脈以東の国境線を定める

1818年11月1日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島暫定司令官兼管理者「Augustin Valentin Borius」(1期目~18190620)

1818年11月4日-09:00|日本| ||文政1年10月6日|<死去>閑院宮美仁親王(62歳)皇族

1818年11月4日-09:00|日本|熊本県人吉市|文政1年10月6日|<交替>肥後人吉藩22165石「相良頼徳」隠居⇒長男「相良頼之」が継ぐ(⇒天保10(1839)年7月17日、隠居)

1818年11月4日-09:00|日本|東京都|文政1年10月6日|<死去>念仏行者、徳本上人(61歳)

1818年11月13日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク総督・総司令官「暫定政府:ニコラウ・デ・ヘス・マリア・ペカト・修道士/アマロ・ゲデス・ダ・シルバ/フランスコ・カルロス・ダ・コスタ・ラセ」(~18190914)

1818年11月14日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「ホルゴ・ニャのエンリコ」》

1818年11月15日-01:00|オーストリア/フランス/ドイツ/イギリス/ロシア| |||アーヘン会議で、フランスが四国同盟に参加するアーヘン議定書が締結され、五国同盟になる

1818年11月15日-09:00|日本|東京都|文政1年10月17日|浅草寺法善院より出火し、本所・深川、さらに砂村まで延焼

1818年11月16日-05:30|インド/イギリス| |||パンスワ国はイギリス保護領(条約により)

1818年11月19日-09:00|日本|東京都|文政1年10月21日|<死去>司馬江漢(72歳、生年1738年)絵師、蘭学者/初め鈴木春信の門人となり春重と称し浮世絵を画き、又二代春信とも称す/後長崎に至りて西洋画を学び盛んに油絵を画き又銅版画を製作/著書には西洋画談、西遊旅譚、長崎見聞志、春波樓筆記、和蘭通船、泰西諸国銭考等

1818年11月22日-09:00|日本| ||文政1年10月24日|<死去>山口素絢(60歳)画家

1818年11月23日-09:00|日本|東京都台東区|文政1年10月25日|<大相撲>文政1年10月場所[江戸浅草八幡宮](10日間)優勝:(東大関)柏戸、7勝1敗1無勝負1休

1818年11月26日-09:00|日本|大分県臼杵市|文政1年10月28日|<死去>稲葉弘通(67歳)前豊後臼杵藩主

1818年11月28日-09:30|オーストラリア| |||サウス・ヘッドにマウオリ・タワーと灯台が完成

1818年11月28日-09:00|日本| ||文政1年11月|<完成>渡辺崋山「一掃百態」

1818年12月-13:00|トンガ/イギリス| |||LMSハウスのジョン・ニコルソン大尉によってミネルバが最初に発見され、ニコルソンのサゴ礁と呼ばれる

1818年12月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ガチー司令官「ジョアン・テレス・デ・メネズ・ド・ラモン」(~18190709)

1818年12月 04:00|刊| |||フレイルのひきいる独立軍、ヌブレ川をわたりチランを占領

1818年12月2日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ジョン・トマス・Layard」(4期目~18191004)

1818年12月3日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「リッチャルトとゾライン」》

1818年12月3日 06:00|アメリカ| |||<加盟>イリノイ準州(以前の北西部領土より)⇒アメリカ合衆国イリノイ州(21番目)

1818年12月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケーテン公「Louis Augustus Karl Frederick Emil」

1818年12月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>バーテン大公「カール」

1818年12月8日-01:00|ドイツ| |||<即位>アンハルト・ケーテン公「Frederick Ferdinand」(~18300823死去)

1818年12月8日-01:00|ドイツ| |||<即位>バーテン大公「ルートヴィヒ1世」(~18300330死去)

1818年12月10日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官代行「ジョン・ダリソール」(~18190206)

1818年12月11日-05:30|インド/イギリス| |||ジャヤサルミル国、タンガloor国はイギリス保護領(条約により)

1818年12月12日-05:30|インド/イギリス| |||デウス国はイギリスの保護領(条約により)

1818年12月15日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「ばかげた行い」》

1818年12月16日-09:00|日本|山形県東置賜郡高島町|文政1年11月19日|<死去>出羽国高島藩2万石「織田信浮」(68歳)⇒12月27日、九男「織田信美」が継ぐ(⇒文政11(1828)年5月24日、出羽村山郡天童村に陣屋を移転、出羽国天童藩2万石立藩)

1818年12月21日-05:30|インド| |||<死去>ジャイプール国マハラジャ「サワイ・ジャガット・シン2世」

1820迄 (2692件)

1818年12月22日-05:30|インド | |||<即位>ジャイプーール国マハラジャ「サワイ・マン・シン2世(篡奪者)」(~18190425)  
1818年12月25日-01:00|オーストリア | |||オーストリアのオーベールドルフで、ゲルバー作曲の「聖しこの夜」がギターの曲として初めて歌われる  
1818年12月28日-05:30|インド | |||<就任>サグアンディ国摂政「ラニ・サグイトリ・バイ・ラジエ・ラニ・ヌムダ・ハイ」(~18230211)  
1818年12月29日-01:00|フランス | |||<就任>フランス王国第3代首相「シヤン・シヨフ・マクイ・デ・ソル」(~18191119)  
1818年12月31日-09:00|日本 |大分県中津市|文政1年12月5日|九州を旅した頼山陽が、日田から中津へ抜ける途中、山と水と人の風景にうたれ、そこを「耶馬溪」と名付ける  
1819年-12:00|ウリス・フツ | |||<即位>ウア王「Lavekava」(~1820年)、「Hiva」(~1820年死去)  
1819年-08:00|マレーシア | |||<就任>レバウ統治者(ウンダ・ン・ルカ・レンバウ)「ダ・トゥク・レバ・マハラジャ・ガニット」(~1843年)  
1819年-08:00|インドネシア | |||<復位>アチ王国スルタン「Alauddin Jauhar ul Alam」(~18231201)  
1819年-07:00|ラオス | |||<即位>チャンパ・サク王国「チャオ・ヨー」(~1827年)  
1819年-07:00|ラオス/タイ | |||チャンパ・サクをタイが占領(~1821年)  
1819年-06:00|プータン | |||<就任>プータン摂政「テンジン・ト・ラグ・ト・ラ」(~1823年)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>キルチーール国統治者(デ・ユワン)「ハ・ルワント・シン」⇒「シル・シン」(~1868年没)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>サント国統治者(ラ)「ガ・ジ・シンジ 2世ケシュリシンジ」(同年没)⇒「カリヤンシンジ・シフ・シンジ」(~1835年没)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>スルガナ国統治者(デ・シュムク)「ヒ・ガシ・ラオ」(~1820年)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>知ツク国統治者(タークル・サーヒブ)「シヨブ・シン」(~1839年没)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>チョタ・ウダ・イール国ラジャ「フリティ・ラージ」(~1822年没)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>ニルギリ国ラジャ「コ・ビンダ・チャンド・ラ・マル・ラージ・ハリヤンダン」(~1832年)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>ハスター国ラジャ「マヒパル・デオ」  
1819年-05:30|インド | |||<就任>ハムラ国ラジャ「ハ・ランカブル・サハ・デブ」(~1832年)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>ハンスワラ国統治者(マハラル)「ハ・ワニー・シン」(~18381106没)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>マニプーール国ラジャ「シュボ・ル」(ヒルマ統治下~1823年)  
1819年-05:30|インド | |||<就任>ミラージ国統治者(ラ)「ガンパ・トラオ1世ティ・ア・サーヒブ」(~1833年没)  
1819年-05:30|インド/イギリス | |||カナヌール国はイギリス領インド(マドラスの一部)に併合  
1819年-05:30|インド/イギリス | |||サント国、キルチーール国、クランド・ワド国、ジャムカンディ国、セライク国、ナリシガル国、ルナバダ国、ハラシノール国、ハリワソ国、バルワニ国、ミラージ国、ムト・ル国はイギリスの保護領  
1819年-05:30|インド | |||ヒラフル国コット・ダール地区はシーク教徒に占領された(~1867年)  
1819年-05:30|インド/ミャンマー | |||マニプーール国をヒルマが占領(~18250612)  
1819年-04:30|アフガニスタン | |||<就任>アフガニスタン対立摂政(カンダハール)「シル・イル・カーン・モハマト・ザイ」(~1826年)  
1819年-04:30|アフガニスタン | |||<即位>アフガニスタン対立大王(ヘラート)「マフムト・シャー」(3回目~1826年)  
1819年-04:30|アフガニスタン | |||<即位>アフガニスタン大王(パト・シャー)「アイユーブ・シャー」(~1823年退位)  
1819年-04:30|アフガニスタン | |||<退位>アフガニスタン大王(パト・シャー)「スルタン・アリ・シャー」  
1819年-03:00|サウジアラビア/エジプト | |||<就任>ネジュト首長「トルキ・ブン・アフ・ト・ラ」(1度目~1820年)  
1819年-02:00|シリア・アラブ/トルコ | |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Dervish Mehmed Pasha」(~1822年)  
1819年-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Pablo Menacho y Tutillio」(~同年)⇒暫定総督「Vicente Rosique」(~1820年)  
1819年 00:00|セカール | |||<就任>サアジ統治者(ファンカマ)「ワ・テンバ・ジ・ヤ・ロ」(2回目~1846年)  
1819年 00:00|トコ | |||<就任>テグベ統治者「オクベ」  
1819年 00:00|セカール | |||サアジがシーグーに併合される  
1819年 03:00|ウルグアイ/ポルトガル | |||<就任>サクレメント新植民地ポルトガル総督「タクリ男爵Manuel Jorge Rodrigues」(~18280820)  
1819年 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス | |||<就任>アンティグア大統領「トマス・ノーベリー・カービー」(⇒1819年総督代行~1820年没)  
1819年 04:00|モントセロ/イギリス | |||<就任>イギリス植民地モントセロ大統領「Joseph Herbert」(2期目~1836年)  
1819年 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス | |||<就任>トバゴ総司令官. 総督代行「ジョージ・クミン」(~同年)⇒司令官. 総督「フレデリック・フィリップ・ス・ロビンソン卿」(2期目~1820年)  
1819年 06:00|コスタリカ/スペイン | |||<就任>コスタリカ総督代行「モン・ヒメネス・イ・ロブレド」(~同年)  
1819年 06:00|ニカラガ/コスタリカ/スペイン | |||<就任>レオン総督・代官「ミゲル・ゴンサレス・デ・サラビア・イ・コラル」(1820年から上級政治首長~18210915)  
1819年1月 04:00|刊 | |||ハルカ地のひきいる独立軍, コンセプションを制圧  
1819年1月1日-09:30|オーストラリア | |||ジョージ・ストリートに男子の孤児院(50人)が、女子の孤児院の跡に開設される  
1819年1月1日-01:00|スイス | |||<就任>スイス連合国会議長「ヨセフ・カール・ザウエル・レホルト・レテガー・アムリン」Lib(1期目~12.31)  
1819年1月4日-02:00|エストニア/ロシア | |||<就任>ロシア領エストニア総督「(ホグ・ダン・ブト・ベルク男爵)ゴットハルト・ヴァイルヘルム・フライヘル・ブト・ベルク・フォン・ベニング・ハゼン將軍」(~18320810没)  
1819年1月5日-05:30|インド/イギリス | |||シマウ国、シャイナ国、ラトラム国はイギリスの保護領  
1819年1月8日-09:00|日本 | |||文政1年12月13日|<死去>2代助高屋高助(72歳)歌舞伎役者  
1819年1月10日-05:30|インド/イギリス | |||タール国はイギリスの保護領(条約により)  
1819年1月10日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス | |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督代行「ジョン・W・D・ウィルソン」(1回目~9.27)

1820迄 (2692件)

1819年1月13日-09:00|日本|三重県津市|文政1年12月18日|<交替>伊勢久居藩53000石「藤堂高邁」隠居⇒弟「藤堂高やつ」が継ぐ(⇒天保3(1832)年3月9日、隠居)  
1819年1月14日-09:00|日本|岡山県岡山市|文政1年12月19日|<死去>池田治政(69歳)前備前岡山藩主  
1819年1月16日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>オランダ領東インド総督「Godertアレクサンダー・Gerard Philip van der Capellen」(~18260101)  
1819年1月17日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンドル・ト・ラコ・ニコラエ・ストゥ」(3回目~18210119没)  
1819年1月20日-01:00|ドイツ| ||ドイツの政治家カール・シュタインが「ドイツ古史学協会」を設立  
1819年1月20日 00:00|セネガル| ||<就任>ブントゥ統治者(アルマ・ミ)「ム・サ・イエロ・マリック・アイサ・タ・シ」(~1826年)  
1819年1月24日-09:00|日本|三重県鳥羽市|文政1年12月29日|<死去>志摩鳥羽藩3万石「稲垣長統」(48歳)⇒翌年3月5日、四男「稲垣長剛」が継ぐ(⇒天保13(1842)年5月11日、隠居)  
1819年1月25日 03:00|仏領ギニア/フランス| ||<就任>ギニア司令官兼管理者「Pierre Clement」(~18230312)  
1819年1月26日-09:00|日本| ||文政2年|<刊行>塙保己一「群書類従」正編  
1819年1月26日-09:00|日本|東京都荒川区|文政2年|羽二重団子「藤の木茶屋」として創業  
1819年1月26日-09:00|日本|富山県黒部市|文政2年|前田慶寧の命により鐘釣温泉開湯  
1819年1月26日 00:00|イギリス| ||<死去>17代エロ伯「ウィリアム・ヘイ」  
1819年1月26日 00:00|イギリス| ||<就任>18代エロ伯「ウィリアム・ジョージ・ヘイ」(~18460419死去)  
1819年1月26日-09:00|日本| ||文政2年1月|<出版>「北斎漫画」九編より十一編  
1819年1月30日 00:00|イギリス| ||<死去>14代ロズ女伯「ヘンリエッタ・アン・イヴリン・レスリー」  
1819年1月30日 00:00|イギリス| ||<就任>15代ロズ伯「ジョージ・ウィリアム・イヴリン・レスリー」先代の息子(~18410310死去)  
1819年1月30日 00:00|イギリス/シंगाポール| ||イギリスの植民地行政官トマス・ラッフルズ(38)が、シंगाポール島をイギリス植民地とする条約を結ぶ  
1819年2月4日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領西フロリダ植民地総督「ホセ・マリア・カラハ」(~18210717)  
1819年2月6日-08:00|シंगाポール/イギリス| ||<就任>イギリス保護領シंगाポール居住司令官「ウィリアム・ファーカ」(~18230426)  
1819年2月6日-08:00|シंगाポール/イギリス| ||<制定>イギリス保護領シंगाポール  
1819年2月6日-08:00|マレーシア| ||<即位>ジョホール・ダル・タジム占領地域・植民地スルタン「フサイン・ムアッザム・シャー・イブ・ニ・アル=マルフム・スルタン・マフムド・シャー」(~18350905没)  
1819年2月6日-04:00|モリシャス/イギリス| ||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官「ラルフ・ターリング」(1回目~18200706)  
1819年2月7日 04:00|刊| ||ケヨ州サルイスの捕虜収容所で暴動。鎮圧によりオルト・ニエス、フロ・マ・テ・リベラらが殺害される  
1819年2月15日 04:30|ベネズエラ| ||ボリバル、アングストゥーラを臨時首都としてベネズエラ共和国を再建  
1819年2月15日 05:00|コロンビア| ||ボリバル、「コロンビア共和国」の創設を宣言<就任>コロンビア大統領「モン・ホリバル」(~18300504)  
1819年2月16日-01:00|モコ| ||<死去>モコ公「オル4世」  
1819年2月16日-01:00|モコ| ||<即位>モコ公「オル5世(オル・ケリマルディ)」(~18411002没)  
1819年2月16日 00:00|イギリス| ||<死去>9代ハミルトン公・6代ブランドン公「アーチボルド・ハミルトン」  
1819年2月16日 00:00|イギリス| ||<就任>10代ハミルトン公・7代ブランドン公「アレクサンダー・ハミルトン」先代の息子(~18520818死去)  
1819年2月16日 00:00|南極/イギリス| ||英国人探検家ウィリアム・スミスが南極海に「サウス・シェットランド」諸島を発見  
1819年2月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「徐龍輔」(~18200724)  
1819年2月22日 06:00|アメリカ/スペイン| ||アメリカがスペインからフロリダを買収するオス・アダムズ条約調印  
1819年2月22日-09:00|日本|長崎県島原市|文政2年1月28日|<死去>肥前島原藩65000石「松平忠馮」(49歳)⇒四男「松平忠侯」が継ぐ(⇒天保11(1840)年4月9日、死去)  
1819年2月23日-09:00|日本|三重県桑名市|文政2年1月29日|<死去>増山正賢(増山雪斎)(66歳)前伊勢長島藩主、画家  
1819年3月-05:30|インド| ||<就任>アッサム国ラジャ「ステインファ・チャント・ランタシハ・ナレンドラ」(2回目~1821年4月)  
1819年3月-05:30|インド/ミャンマー| ||アッサム国、カチャリ国をビルマが占領(~1825年6月)  
1819年3月2日 06:00|アメリカ| ||<分離>アメリカ、アカンソー準州、ミズーリ準州から分離  
1819年3月2日 06:00|アメリカ| ||モンロー大統領、最初の移民法に署名  
1819年3月2日 08:00|ビトケアン諸島/イギリス| ||英国大尉ヘンリー・キングはヘンターソン島をエリザベス島と名付けた  
1819年3月9日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|文政2年2月14日|<死去>本多忠居(49歳)前播磨山崎藩主  
1819年3月19日-01:00|オランダ| ||<就任>オランダ王国国務長官「ジャン・ジスベルト・ド・メイ・ファン・ストリーフェルク」(18221228まで代行~18351112)  
1819年3月19日-09:00|日本|新潟県上越市|文政2年2月24日|<死去>榊原政敦(65歳)前越後高田藩主  
1819年3月25日-05:30|インド| ||<就任>カチ国統治者(シル・マハラオ)「ダ・イシャルジ2世」(~18600726没)、摂政「ジェームズ・マクマート」(~1820年没)  
1819年3月26日-09:00|日本|岐阜県|文政2年3月|幕府が、飛騨国森部蔵柱金山、和佐保・三ツ谷銅山の経営を試みる  
1819年3月27日-01:00|イタリア| ||<初演>ジョアキノ・ロッシーニ《歌劇「エルモネ」》  
1819年3月28日-09:00|日本|東京都墨田区|文政2年3月3日|<大相撲>文政2年3月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(東大関)柏戸,5勝1敗2無勝負2休  
1819年3月30日-08:00|中国| ||<就任>チベット摂政「第2代ツェモンリン・ラ」(1回目~18220206)  
1819年4月 05:00|コロンビア| ||サンタフェルの部隊、王党派軍を撃破

1820迄 (2692件)

1819年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」「アントニア・アルベルトーニ」  
1819年4月14日 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領土暫定総督・議長「メルチョー・デ・アイメリッヒ・イ・ビシジャファナ」(1回目~18211226)  
1819年4月15日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ウィリアム・スミス」(3期目~11.25)  
1819年4月16日-09:00|日本|岐阜県山県市|文政2年3月22日|<交替>美濃高富藩1万石「本庄道昌」隠居⇒養子「本庄道貴」が継ぐ(⇒安政5(1858)年8月26日、死去)  
1819年4月20日 00:00|イギリス| |||<死去>4代バクル公・6代クイーンズベリー公「チャールズ・モンタギュー=スコット」  
1819年4月20日 00:00|イギリス| |||<就任>5代バクル公・7代クイーンズベリー公「ウオルター・モンタギュー=ダグラス=スコット」(~18840416死去)  
1819年4月24日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「エドゥアルドとクリスティーナ」》  
1819年4月24日-09:00|日本| ||文政2年4月|<出版>葛飾北斎、絵手本「北斎画式」「画本早引」後編  
1819年4月24日-09:00|日本| ||文政2年4月|<出版>北溪「狂歌五十人一首」  
1819年4月25日-05:30|インド| |||<即位>ジャイプール国マハラジャ「サイ・ジャイ・シン3世」(~18350206没)、摂政「マハラニ・パティヤンシ2世」(~1834年没)  
1819年4月26日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領イリュリア王国ライハツ州知事「ヨーゼフ・ゲラーフ・スヴェールツ=スホーク」(~18220930)  
1819年4月29日-09:00|日本| ||文政2年4月6日|<死去>本多貞吉(54歳)陶工  
1819年5月-01:00|ポーランド| |||ワルシャワで民族フリーメーソン創設  
1819年5月 00:00|ポルトガル| |||<死去>マティン総督「Florencio Jose Correia de Melo」  
1819年5月 10:00|ハワイ| |||<就任>ハワイ諸島王国首相「Elisabeta Kaahumanu」(~18320605)  
1819年5月5日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>サンタリ国が国家として承認される(イギリス保護領)  
1819年5月6日 00:00|カナデンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールト=コースト総督代行「クリスチャン・スガァネキヤ」(~18210101)  
1819年5月8日 06:00|アメリカ| |||<死去>ハワイ諸島王国国王「カハヘハ1世大王」81歳(誕生1737年)  
1819年5月14日-09:00|日本|長野県小諸市|文政2年4月21日|<交替>信濃小諸藩15000石「牧野康長」隠居⇒弟「牧野康明」が継ぐ(⇒文政10(1827)年7月25日、死去)  
1819年5月15日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マティン総督「Sebastiao Xavier Botelho」(~18210702)  
1819年5月20日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ 総督代行「アントニョ・ヒューストン」(1回目~18210208)  
1819年5月20日 10:00|ハワイ| |||<即位>ハワイ諸島王国国王「カハヘハ2世」カハヘハ1世大王の息子(~18240714死去)実権は皇太后のカアマが握る  
1819年6月-05:30|インド| |||ポナ国がジャムナ・ガミールに併合される  
1819年6月 08:00|ビトアン諸島/イギリス| |||英国大尉がオノ島発見  
1819年6月5日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ王「ホダウファヤ」  
1819年6月5日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ王「バキト」(~18370415)  
1819年6月10日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ連合州最高執政官「ホセ・ガミロ・ロンドー=ペレイラ」(~18200211)  
1819年6月10日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ暫定総督「フアン・マヌエル・カニャス・デ・トルヒーリョ・イ・サンチェス・デ・マトリート」(~18211011)  
1819年6月12日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理Manuel Gonzalez Salmon y Gomez de Torres(同日⇒国家主席補佐官Joaquin Jose Melgarejo y Saurin~18200318)  
1819年6月15日-09:00|日本| ||文政2年閏4月23日|幕府が、江戸・京都・大坂・伏見以外の真鍮製造禁止をやめ、各地での自由製造を許す  
1819年6月15日-09:00|日本|京都府京都市|文政2年閏4月23日|上京の町組連合、自治最高機関「大仲」成立  
1819年6月16日-05:30|インド| |||<就任>ジント国ラジャ「ファテ・シン」(~18220203)  
1819年6月16日-05:30|インド| |||インドで地震(M7.6~8.4)死者1440人  
1819年6月17日 08:00|ビトアン諸島/イギリス| |||英国大尉によってヘンダーソン島再発見  
1819年6月17日-09:00|日本|滋賀県長浜市|文政2年閏4月25日|<死去>堀田正毅(58歳)前近江宮川藩主  
1819年6月18日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督「エレンライヒ・クリスティーナ・ルドヴィグ・グレイヴェ=モルトケ」(18191009まで代行~18230930)  
1819年6月19日 13:00|日本|山形県|文政2年閏4月27日|<山形文政2年の大火「和右衛門火事」>夜、四つ時(22時ごろ)、山形城下七日町の足利屋和右衛門宅から出火、七日町、旅籠町から六日町、鍛冶町、宮町まで延焼/各町の被害は全焼したのは火元の七日町から旅籠町、六日町をはじめ、長源寺町、圓応寺町、新鍛冶町、鍛冶町、四日町、百姓町の9か町、半焼で済んだのは櫓物町、横町、薬師町、宮町、小橋町、一ト町、歩町の7か町で、合計1000軒余が焼失/類焼した寺院は、長源寺、極楽寺、行蔵院、天然寺、柏山寺、浄興寺、圓照寺、石泉寺の8か寺  
1819年6月20日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督領主「ミハイル・グリゴール・ツ」(~18210329)  
1819年6月20日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官兼管理者「Philippe Athanasie Helene Fayolle」(~18250611)  
1819年6月20日 06:00|アメリカ/イギリス| |||アメリカの蒸気船ハッソ号が大西洋横断に成功しリヴァプールに到着  
1819年6月22日-09:00|日本|東京都|文政2年5月|(~6月)江戸で多数の死者を出して、麻疹(はしか)が流行  
1819年6月23日 06:00|アメリカ| |||アメリカの文学者ワシントン・アーヴィングが「スケッチ・ブック」第1部を発表  
1819年6月27日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Johan Henrik Christian von Stabel」(2期目~18201016)  
1819年7月 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Agustin Gomez」(~1820年)  
1819年7月 03:00|アルゼンチン/ウルグアイ| |||フレイレトンは最高統領を辞任。ラウロ・グループの権限により後任にロンドウ將軍

1820迄 (2692件)

を選出

1819年7月1日 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ 島司令官代理「Jan van der Biest3世」(2期目~18220101)  
1819年7月2日 00:00|イギリス| |||(英)「ピール条例(金本位実施条令)」可決  
1819年7月2日-09:00|日本|東京都|文政2年5月11日|<死去>画人「清水曲河」73歳  
1819年7月5日-05:30|インド| |||カシミールがパネジャ(パンジャブ州)に併合(~18460315)  
1819年7月6日-01:00|フランス| |||ソフィエ・フランシエルがパリのティグオリ公園における公開飛行中、気球から打ち出した火花が気囊の水素がスに引火。気球は建物の屋根に墜落して彼女は死亡した。航空事故で死んだ最初の女性となった  
1819年7月7日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|文政2年5月16日|<交替>石見津和野藩43468石「亀井矩賢」隠居  
→弟「亀井茲尚」が継ぐ(⇒天保元(1830)年12月25日、死去)  
1819年7月9日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官代行「ル・コレア・デ・パロス」(~1821年)  
1819年7月10日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル司令官「ジュリアン・シュマルツ」(2度目~18200810)  
1819年7月12日-03:30|イラン| |||<就任>ペルシャ大宰相「ハジ・モハンマド・ホセイン・イスファハニ・ニザム・アル・ダウラ」(~1823年死去)  
1819年7月15日-09:00|日本|宮城県仙台市|文政2年5月24日|<死去>陸奥仙台藩62万石「伊達斉宗」(24歳)⇒養子「伊達斉義」が継ぐ(⇒文政11年11月27日(18280113)、死去)  
1819年7月17日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリアで最初の貯蓄銀行、ニューサウスウェールズ貯蓄銀行営業開始  
1819年7月22日-09:00|日本| |||文政2年6月|幕府が小判・一部判を改鑄し草文小判・一分判を鑄造  
1819年7月22日-09:00|日本|東京都中央区|文政2年6月|幕府が本船町の油会所を廃止  
1819年7月24日-09:00|日本|徳島県|文政2年6月3日|阿波国那賀郡仁字谷に一揆が起こる  
1819年7月25日 05:00|コロンビア| |||パイン北方10部のパンタノ・デ・パルガスで前哨戦。共和軍の勝利に終わる  
1819年7月26日-09:00|日本|三重県亀山市|文政2年6月5日|<死去>石川総博(61歳)前伊勢亀山藩主  
1819年7月27日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「メフメド・ラシュディ・イ・パシャ」(~12.8)  
1819年8月-05:30|インド| |||<就任>パリア国ジャ「フリット・イラジ2世ガングスジ」(1回目~同年)⇒「ヒムシムジ・ガングスジ」(~1820年)  
1819年8月2日-05:30|インド| |||<就任>ア・カト国支配者(ナワブ)「アザム・ジャール」(~18251112没)  
1819年8月2日-09:00|日本| |||文政2年6月12日|伊勢・美濃・近江地震/M7.3、死者75  
1819年8月3日-09:00|日本|山形県東根市|文政2年6月13日|<死去>米津通政(70歳)前出羽長瀬藩主  
1819年8月5日-04:00|アゼルバイジャン| |||<廃止>シャッキ汗国  
1819年8月7日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<コロンビア独立戦争>ボヤの戦い>コロンビアで、ボリバル軍がスペイン軍に勝利  
1819年8月10日 05:00|コロンビア| |||ボリバルは副王軍を撃破したあと一気にボゴタを解放  
1819年8月15日-09:00|日本|東京都|文政2年6月25日|幕府が三橋会所・伊勢町米会所を廃止  
1819年8月16日 00:00|イギリス| |||ピーターラーの虐殺/マンチエスターのセント・ピーター教会前広場で、穀物法の廃止を訴えた6万人の群衆が警官隊と衝突し、11人が死亡  
1819年8月19日 00:00|イギリス| |||イギリスの発明家ジェームズ・ワット死去/83歳(誕生:17360119)蒸気機関を発明した  
1819年8月21日-09:00|日本| |||文政2年|夏頃よりコレラ(コレ)が流行し、痼病して死亡する者多し  
1819年8月23日-09:00|日本|岡山県浅口市|文政2年7月3日|<死去>岡山新田藩25000石「池田政養」(48歳)⇒嫡男「池田政共」が継ぐ(⇒文政7(1824)年5月22日、19歳で死去)  
1819年8月27日-09:00|日本|東京都|文政2年7月7日|<死去>2代並木五瓶(52歳)歌舞伎作者  
1819年8月28日 00:00|イギリス| |||<死去>リッチモンド公・レノックス公・マーチ伯・ダーンリー伯「チャールズ・レノックス」  
1819年8月28日 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモンド公・レノックス公・マーチ伯・ダーンリー伯「チャールズ・ゴートン=レノックス」先代の子(~18601021死去)  
1819年8月29日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ファン・マヌエル・ガングアル・デ・ラ・ベガ・マルティネス・ニコ」(~18210303)  
1819年8月30日-09:00|日本|京都府京都市|文政2年7月10日|<死去>柏木如亭。水腫のため(57歳)漢詩人  
1819年9月 00:00|セネガル| |||<就任>ファトゥ・ト・統治者統治者(アルマミ)「ヒラン・イブラーワーン」(2回目~1821年7月)  
1819年9月7日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「マヌエル・ウエイラ・トバル・デ・アルバカーキ」(~18210722)  
1819年9月7日-09:00|日本| |||文政2年7月18日|<死去>2代浜村蔵六(48歳)篆刻家  
1819年9月8日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|文政2年7月19日|<死去>酒井忠哲(52歳)前上野伊勢崎藩主  
1819年9月11日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「ロバート・キャンベル」(~18230321)  
1819年9月11日 05:00|コロンビア| |||<組織>ヌエバ・グラタ自由州  
1819年9月14日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク総督・総司令官「ジョアン・ダ・コスタ・デ・フリト・サンチス」(~18210625)  
1819年9月19日-01:00|スペイン| |||「トリド」のプラド美術館が完成(→1868年プラド美術館、トリド)  
1819年9月19日-09:00|日本| |||文政2年8月|<出版>高力猿猴庵「世直し草紙」  
1819年9月19日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・嘉慶24年8月1日|忠清道で大洪水(10コウル=府州郡県の総称)、民家1982戸流失、173人溺死  
1819年9月20日 05:00|コロンビア| |||<就任>ヌエバ・グラタ自由州(18200212からクンデ・イマム県)副大統領「フランシスコ・ル・テ・パウラ・サンタンデル・イ・オマニャ」(~18211008)  
1819年9月24日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「湖上の美人」》  
1819年9月24日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・嘉慶24年8月6日|全羅道で大洪水(19コウル、43人溺死)  
1819年9月25日-05:30|インド| |||ペシュワは、元フラック最高支配者のイギリス保護領サラ国として再設立

1820迄 (2692件)

1819年9月25日 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ総督代行「ロバート・リット」(2回目~1820年)  
1819年9月27日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督「チャールズ・ウィリアム・マクスウェル」(1回目~18200507)  
1819年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランчесコ・マリア・ベッルツィ」「フィリッポ・フィリッポ」  
1819年10月2日-05:30|インド| |||<即位>バングラデシュ国統治者「マハジヤ・ゲークワール」「サジヤ・ラオ2世ゲークワール」(~18471228死去)  
1819年10月3日-09:00|日本| ||文政2年8月15日|<死去>2代鈴木万里(45歳)長唄唄方  
1819年10月4日 03:00|ブラジル| |||サルバドル=カショエロ間に初の蒸気船による定期航路が営業開始  
1819年10月12日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Manley Power卿」(1期目~16日)  
1819年10月15日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|文政2年8月27日|<黒川騒動>糸魚川藩郡代・黒川九郎治の苛酷な御用金徴収に対して領民が暴動  
1819年10月21日 11:00|米領サモア/フランス| |||フランスのルイ・ド・フレネ大尉は、ヴァイル・アイランドをローズ島に改名  
1819年10月24日-09:00|日本| ||文政2年9月6日|<死去>鈴木道彦(63歳)俳人  
1819年10月29日-09:00|日本| ||文政2年9月11日|<死去>9代杵屋六左衛門(64歳)長唄家元  
1819年11月1日 00:00|イギリス/インド| |||イギリスがマラーター領を併合し、ボンベイ管区とする  
1819年11月5日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの化学者「ニコラス・ボルト」  
1819年11月7日-09:00|日本| ||文政2年9月20日|小判一分判を改鑄した草文小判・草文一分判が運用開始  
1819年11月11日-05:30|インド| |||<就任>ホーランド国摂政「グロ・シヤ・ベガム」(~18371130)  
1819年11月13日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事代行「統治ジュンタ(クレゴ・リオ・ロドリゲス・ペレイラ/フレイ・バルトロメウ・ペレイラ/アントニオ・カターノ・ティニス)」(~18210313)  
1819年11月14日-09:00|日本|東京都江東区|文政2年9月27日|江戸深川三十三間堂通矢「五十間堂百射」で、大沼貞之助(13歳)が86本(総矢数100中)を記録  
1819年11月14日-09:00|日本|東京都江東区|文政2年9月27日|江戸深川三十三間堂通矢「四十間堂百射」で、永田卯之三(11歳)が94本(総矢数100中)を記録  
1819年11月18日-09:00|日本| ||文政2年10月|<出版>合川珉和「通神画譜」  
1819年11月19日-05:30|インド| |||<就任>コタ国支配者「マハオ」「キョール・シン2世」(~18280720没)  
1819年11月19日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第4代首相「エリー・デュカス」(~1820. 2)  
1819年11月19日-01:00|スペイン| |||スペイン・マドリッドに「プラダ美術館」開館(歴代スペイン王家コレクション展示)  
1819年11月26日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ウィリアム・ラムリー中將」(1期目~18220523)  
1819年11月27日-09:00|日本|新潟県五泉市|文政2年10月10日|<死去>越後村松藩3万石「堀直庸」⇒弟「堀直央」が継ぐ(⇒安政4(1857)年、隠居)  
1819年12月3日-04:00|UAE/イギリス| |||ラース・アル=ハイマをウィリアム・グラント・キール下でイギリスが占領(~18日)  
1819年12月8日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「セラル・デ・イン・パシャ」(~18221128)  
1819年12月8日-09:00|日本|京都府京都市|文政2年10月21日|<死去>2代芳澤いろは(37歳)歌舞伎役者  
1819年12月13日-09:00|日本|東京都|文政2年10月26日|<死去>勝川春英(58歳)浮世絵師(春草の高弟にして俳優の似顔・武者を能くした)  
1819年12月14日 06:00|アメリカ| |||<加盟>アラバマ準州(ミシシッピ準州、ジョージア州の一部より)⇒アメリカ合衆国アラバマ州(22番目)  
1819年12月17日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/エクアドル| |||<就任>コロンビア共和国大統領「シモン・ボリバル・アントニオ・デ・ラ・サンティシマ・トリニダード・ボリバル・イ・パナソス」(18200114から大統領解放者~18300504)  
1819年12月17日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/エクアドル| |||ペルー、エクアドル、コロンビア、パナマ、エクアドルを併せた地域をグラン・コロンビア共和国として創設/国会は憲法を発しボリバルを大統領に選出  
1819年12月18日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Manley Power卿」(2期目~18211206)  
1819年12月18日 04:00|キューバ/オランダ| |||<死去>オランダ植民地キューバ総督「Albert Kikkert」  
1819年12月19日 04:00|キューバ/オランダ| |||<就任>オランダ植民地キューバ総督代理「Petrus Bernardus van Starckenborgh」(~18200720死去)  
1819年12月22日-09:00|日本|東京都墨田区|文政2年11月6日|<大相撲>文政2年11月場所[江戸本所回向院](10日間)優勝:(東大関) 柏戸, 7勝1敗2休  
1819年12月22日-09:00|日本|宮崎県児湯郡高鍋町|文政2年11月6日|<死去>秋月種茂(77歳)前日向高鍋藩主  
1819年12月23日 00:00|イギリス| |||イギリスで紡績工場法が成立  
1819年12月24日-05:30|インド/イギリス| |||コリア国、ジャシュフル国、スルグジャ国がナグプールから割譲された(イギリス保護領)  
1819年12月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「リウ・オニアの大工」》  
1819年12月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「ビアンカとファリエロ、または3人の忠告」》  
1819年12月31日-07:00|ラオス| |||<死去>ルアンパバーン王国国王「アヌルット」  
1819年12月31日-07:00|ラオス| |||<即位>ルアンパバーン王国国王「マンタウラート」(~18370307死去)  
1820年-13:30|キリバス/ロシア| |||ロシアの提督「アダム・フォン・クルーゼンシュテルン」によりギルバート諸島と命名  
1820年-13:30|キリバス/ロシア| |||ロシア人探検家「ファビアン・ゴットリープ・フォン・ベリングスハウゼン」によりグオストック島発見  
1820年-12:00|ウオリス・ツツ| |||<死去>ウオリス王「Hiva」  
1820年-12:00|ウオリス・ツツ| |||<即位>ウオリス王「Muliakaaka」(~1825年)  
1820年-08:00|マレーシア| |||<死去>ジェラブ・スルタン支配者(ウンダ・ン・ルアク・ジェラブ)「ダトウク・トウラム」

1820迄 (2692件)

1820年-08:00|マレーシア| |||<就任>シエラブ 統治者(ヤン・ディー・ペルトアン・ムタ・シエラブ)「テンク・アフマト・シャー・ビン・シンク・クル」(?)

1820年-08:00|マレーシア| |||<就任>シヨホル統治者(ウダング・ルアク・シヨホル)「ダトウク・アフ・ハ・カル・ブンシット」(~1840年頃)

1820年-08:00|マレーシア| |||<即位>シエラブ・スルタン支配者(ウダング・ルアク・シエラブ)「ダトウク・ヘンフル・ランガ・アリ・トウアトウ・ギラト・ウロンガ」(?)

1820年-05:30|インド| |||<就任>カンポール国ラジャ「ハ・シャラム・シェカル・デオ」(~18310226没)

1820年-05:30|インド| |||<就任>コタク 国ラジャ「チッカ・ウイラジエント 2世・ウタ・イアル」(~18340411)

1820年-05:30|インド| |||<就任>サンバル 国ラジャ「マハラジ・サイ」(~1827年没)

1820年-05:30|インド| |||<就任>ジャンブゴダ 国統治者(タクル・サーヒブ)「ジヤガ・ツインジ」(~1870年)

1820年-05:30|インド| |||<就任>ジャンム 国ラジャ「キショ・シン」独立回復(~18220504没)

1820年-05:30|インド| |||<就任>スルガナ 国統治者(デ・シュムク)「ジヤシュワト・ラオ1世・ヒカジ・ラオ」(~1854年)

1820年-05:30|インド| |||<就任>スルガ 国ラジャ「ラル・アマル・シン・デオ」(~1851年)

1820年-05:30|インド| |||<就任>チュダ 国統治者(タークル)「アフ・ハシンジ・ハティシンジ」(~1830年)

1820年-05:30|インド| |||<就任>ハリア 国ラジャ「フリト・イラジ 2世・ガナダ・スジ」(2回目~1864年)

1820年-05:30|インド| |||<就任>ハリアナ 国統治者(タクル・サーヒブ)「カンダジ 4世・ウタ・シ」(~1840年)

1820年-05:30|インド| |||<就任>ヒプロダ 国統治者(タークル)「プリウ・イ・シン」⇒「オンカー・シン」(~18631112没)

1820年-05:30|インド| |||<就任>ミラジ・ジュア 国統治者(ラオ)「マダブ・ラオ1世」(~1845年没)

1820年-05:30|インド| |||<就任>ワダガム 国統治者(タークル)「トラツィムジ」⇒「ジャラムシムジ」(~1848年1月)

1820年-05:30|インド| |||<即位>ハト国マハラジャ「フ・ハール・シン・デオ」(~1848年)

1820年-05:30|インド/イギリス| |||アウンド 国、アルコット 国、ジャンブゴダ と他のレウ・カンタ州のほとんど、ジヨス 国、ダフラ 国、タラト 国と他のパナ・カンタ州のほとんどはイギリスの保護領、ファルタン 国、ホラハット 国、ホール 国、ワ国はイギリスの保護領

1820年-05:30|インド| |||カシュワール 国がインド のパンジャブ 州に併合される

1820年-05:30|インド| |||カナ 国はグジャラート 州の一部(~1943年); サンジ 国、バダル 国はグジャラート 州の一部(~1948年)

1820年-05:30|インド| |||ワ国はパル・カンタ州の準管轄州の一部(~1948年)

1820年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>シバルガン汗国ハキム「マンワー・カーン」(~1829年)

1820年-04:30|アフガニスタン| |||アント・クイはアフガニスタンの宗主国下

1820年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフサ 汗国ハーン「セ・レリ・アリ・ハーン」(~同年)⇒「カリム・ハーン」(3度目~1827年)

1820年-04:00|UAE| |||<即位>ウム・アル・カイワイン 首長「Sheikh Abdullah bin Rashid Al Mualla」(~1853年退位)

1820年-04:00|UAE| |||<即位>シャルジャ 統治者(ハキム)「Sheikh Sultan1世 ibn Saqr al-Qasimi」(2期目~1840年)兼ラ・アス・アル=ハイマ 統治者(2期目~1866年)

1820年-04:00|UAE| |||<退位>ウム・アル=カイワイン 首長「Sheikh Rashid bin Majid Al Mualla」

1820年-04:00|アゼルバイジャン| |||<廃止>シャカ汗国

1820年-04:00|ロシア| |||カジ=クムクはロシアの宗主権下

1820年-04:00|UAE/イギリス| |||ラ・アス・アル=ハイマをイギリスが占領(~1821.7)

1820年-03:00|スーダン| |||<即位>タリ国王(ウスター)「ウマル・ワラト・アヒ・ハ・クル」(~1835年)

1820年-02:00|ザンビア| |||<死去>ベンバ 国統治者(シテムクル)「シルマワ・シテムクル23世」

1820年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレホ・ワリス(総督)「Beylanli Mustafa Pasha」(~1822年)

1820年-02:00|ザンビア| |||<就任>ベンバ 国統治者(シテムクル)「チンチン・スラ・シテムクル24世」(~1827年没)

1820年-01:00|ドイツ| |||<就任>イーゼンブルク・ウント・ビューテ ینگン・イン・ビルシュタイン 侯「ゲオルク・フォン・エルンスト3世」(~1866年)

1820年-01:00|ペナン| |||<就任>サグ・イ・フェタ 国統治者「デ・デ」(~1843年)

1820年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウ 暫定総督「Francisco Antonio de Villar y Herrera」(4期目~同年)⇒総督「Fernando Gomez de Butron」(2期目~1822年)

1820年 00:00|トコ| |||<就任>アグバナンキン 統治者(メト)「ハウンド」(~1822年)

1820年 00:00|トコ| |||<就任>ココツ 統治者(ソマ)「シキ」

1820年 00:00|モリタニア| |||<就任>タニット連邦エミル(アバカ系)「スワイ・イ・アフマト」(~1831年)

1820年 00:00|モリタニア| |||<就任>タニット連邦エミル(シュラティット系)「ムフタル・イブン・ムハンマド・アル=ハ・クル」(?)⇒「アフマト・タヤ」(?)

1820年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ノンゴワ 首長「ゴンブ・ランゴ」建国(?)⇒「コグ・ナヒ・ウアンガ・フン1世」(?)⇒「ケンエイ・カーテ」(?)⇒「ファハ・ケウ・ウオウ」(~1880年)

1820年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ボンペイ 首長「トマス・スティーブン・カーカー」シエラレオネ中南部、南部州北西部に建国(~1832年)

1820年 00:00|モロッコ| |||<就任>モロッコ大宰相「アフ・アブト・アッラー・モハメド・ビン・アフマト・アカンヌ」(~1822年)

1820年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン「サイト」(反乱)(~1822年)

1820年 00:00|モリタニア| |||タニット王朝はアバカ家系とシュラティット家系に分裂

1820年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス 総督代理「John Brathwaite Skeete」(~同年)

1820年 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官. 総督代行「ジョン・ワフリー」(~同年)⇒総司令官. 総督「フレデリック・フィリップ・ス・ロビンソン卿」(3期目~1823年)

1820年 06:00|カタ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタ 総督「ダルハウジ=伯爵ジョージ・ラムゼイ」(~1828年)

1820年1月 03:00|ブラジル/パラグアイ| |||アルティガス 軍, ブラジルとの戦いに敗れ壊滅. アルティガスはパラグアイに亡命

1820年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ゲオルク・ウインツェンツ・ヨスト=ルートヴィヒ・リュッティマン」Con(2期目~12.31)

1820年1月1日-01:00|スペイン| |||カデイス近郊の基地カサ・デ・サン・ファンに集結した新大陸遠征軍の一部が蜂起/1812

1820迄 (2692件)

年憲法の施行を要求/護憲革命が成立

- 1820年1月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「セイト・アリ・パシャ」(~18210326)
- 1820年1月6日-09:00|日本|岡山県新見市|文政2年11月21日|<交替>備中新見藩18000石「関長輝」隠居⇒次男「関成煥」が継ぐ(⇒天保12(1841)年閏1月20日、隠居)
- 1820年1月8日-04:00|UAE/イギリス| |||アラブ 首長国連邦(アジュマン、アブ・ダビ、ウム・アル・カイワイン、シャルジャ、ドバイ)が英国との航海自由条約に署名(~3.15)
- 1820年1月8日 00:00|イギリス| |||イギリス政府が、ペルシャ湾アラブ 諸族部長と平和条約を締結
- 1820年1月9日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>タウリアのロシア総督「Aleksandr Nikolayevich Baranov」(~18210501)
- 1820年1月10日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールト=コースト司令官「ヨハネス・オースハルト」(~18210727没)
- 1820年1月13日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ 植民地知事代行「ルファン・ショー・ト・ンキン卿」(~18211130)
- 1820年1月15日-03:00|エチオピア| |||<死去>ハル首長国エミール「アマト 2世・イブ・ムハンマド」
- 1820年1月16日 00:00|南極/ロシア| |||ロシアの提督で探検家のファティ・ペリンスカヤ(41)が南極大陸を発見
- 1820年1月16日-09:00|日本| ||文政2年12月1日|<死去>3代常磐津文字太夫(28歳)浄瑠璃太夫
- 1820年1月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン=ホンフル方伯「フリートリヒ5世」
- 1820年1月20日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=ホンフル方伯「フリートリヒ10世」(~18290402死去)
- 1820年1月21日-09:00|日本|千葉県館山市|文政2年12月6日|<死去>安房館山藩1万石「稲葉正盛」(29歳)⇒翌年2月7日、長男「稲葉正巳」が継ぐ(⇒元治元(1864)年12月17日、隠居)
- 1820年1月22日 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス| |||<就任>アンティグア総督「ベンジヤミン卿ダーバン」(~1825年)
- 1820年1月23日 00:00|イギリス/ジブラルタル| |||<死去>初代セントラサン公・初代ダブリン伯・イギリス領ジブラルタル知事「エドワード・オーガスタ王子」
- 1820年1月23日 00:00|イギリス| |||<死去>サフォーク伯・パークシャー伯「ジョン・ハワード」
- 1820年1月23日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク伯・パークシャー伯「トマス・ハワード」(~18511204死去)
- 1820年1月23日-09:00|日本|青森県上北郡七戸町|文政2年12月8日|<立藩>盛岡新田藩11000石「南部信鄰」盛岡藩から分与(⇒文政4(1821)年11月25日、死去)
- 1820年1月24日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|文政2年12月9日|宇和島藩、藩学敷教館を明倫館と改称
- 1820年1月29日 00:00|イギリス/ドイツ| |||<死去>グレートブリテン国王「ジョージ 3世」兼ハノーファー国王「ゲオルク 3世」
- 1820年1月29日 00:00|イギリス/ドイツ| |||<即位>グレートブリテン国王「ジョージ 4世」兼ハノーファー国王「ゲオルク 4世」ゲオルク 3世の息子(~18300626死去67歳)
- 1820年1月29日 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル管理者「ベント・オルティス・デ・ラ・パリエ」(~18210921)
- 1820年1月31日-09:00|日本| ||文政2年12月16日|<死去>初代花沢伊右衛門(不明)浄瑠璃三味線方
- 1820年2月1日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン総督代行「エドワード・バーンス」(1度目~18220202)
- 1820年2月3日 03:00|アルゼンチン| |||ラリスが率いるリトル連合軍、セバダの闘いで政府軍を撃破。中央政府は崩壊し、憲法も失効
- 1820年2月3日-07:00|ベトナム| ||越南・嘉隆18年12月19日|<死去>阮朝(大南)初代皇帝「世祖嘉隆帝」57歳
- 1820年2月4日-09:00|日本|茨城県下妻市|文政2年12月20日|<死去>常陸下妻藩1万石「井上正廬」(28歳)⇒翌年2月13日、養子「井上正民」が継ぐ(⇒文政11(1828)年3月4日、22歳で死去)
- 1820年2月4日-09:00|日本|新潟県長岡市|文政2年12月20日|<死去>越後与板藩2万石「井伊直朗」(70歳)⇒翌年2月12日、孫「井伊直暉」が継ぐ(⇒文政9(1826)年5月24日、36歳で死去)
- 1820年2月5日 04:00|刊| |||コクレイン、刊南部の王党軍要衝バルティエを攻め落とす/刊国内最後の王党軍基地フロエも攻撃するが、堅い防御のため敗退
- 1820年2月6日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領ケープ・マスト 植民地代理人「サミュエル・A・クロザー」(~4.15没)
- 1820年2月6日 00:00|シエラレオネ/アメリカ| |||黒人解放奴隷86人を乗せた「自由のメイフラワー号」がニューヨーク港を出港し、西アフリカのシエラレオネに向かう
- 1820年2月7日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|文政2年12月23日|<死去>鍋島直宜(57歳)前肥前鹿島藩主
- 1820年2月11日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ連合州最高責任者代行「ファン・ベント・ロ・ジュリアン・アギーレイ・ロハス・デ・アヤ」(~16日、内政および外交権をブエノスアイレス州知事に委任)
- 1820年2月11日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セント・トマス島・セントジョン島総督「Christian Ludvig von Holten」(2期目~3.31)
- 1820年2月13日-01:00|フランス| |||<死去>ペリー公「シャルル・フェルディナン」暗殺される
- 1820年2月13日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サンミゲル島ドナタリ長官「Jose Maria Goncalves Zarco da Amaral」
- 1820年2月13日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||サンミゲル島はポルトガル王所有物に組み込まれる
- 1820年2月13日-09:00|日本| ||文政2年12月29日|<出版>小林一茶、随筆・発句集「おらが春」
- 1820年2月14日-09:00|日本|大分県宇佐市|文政3年|天台僧午道法印が大衆教導の為、横穴迷路・地獄極楽(桂昌寺跡)完成
- 1820年2月14日-09:00|日本|長野県伊那市|文政3年|<交替>信濃高遠藩33000石「内藤頼以」隠居⇒三男「内藤頼寧」が継ぐ(⇒安政6(1859)年7月11日、隠居)
- 1820年2月14日-01:00|フランス| |||<死去>ペリー公「シャルル・フェルディナン」
- 1820年2月14日-01:00|フランス| |||<就任>ペリー公「マリー・カリーヌ」(~18700417死去)
- 1820年2月14日-01:00|フランス| |||パリの「ル・ヴァン街」にある「テアトル・デ・ザール」(8代目オウ座、現2区「ル・ヴァン小公園」にあった)の「貴賓入り口」から出ようとした王弟アルトリ伯(のちのシャル10世)の次男ペリー公が狂信的なナポレオン派の馬具屋ル・ビエール・ル・ヴァンに暗殺される

1820迄 (2692件)

1820年2月14日-09:00|日本| ||文政3年1月|<出版>勝川春亭「戯場百人一首」  
1820年2月14日-09:00|日本| ||文政3年1月|<出版>東里山人(安藤広重挿絵の処女作)「音曲情糸道」  
1820年2月14日-09:00|日本|東京都台東区|文政3年1月1日|<死去>初代本松齋一得(103歳)華道家  
1820年2月14日-07:00|ベトナム| ||越南・明命1年1月1日|<即位>阮朝(大南)第2代皇帝「聖祖明命帝」(~18410120死去49歳)  
1820年2月16日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>プエルトアイレス州暫定知事「マティアス・デ・イリゴージェン」(~18日)  
1820年2月18日-05:30|インド| ||<就任>ジャヤサルミル国統治者(マハラル)「ガイ・シン」(~18461111没)  
1820年2月18日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>プエルトアイレス州暫定知事「マヌエル・デ・サラテア」(~3. 6)  
1820年2月20日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国第5代首相「アルマン・エマニュエル・ド・ウ・イニエロ・デュ・プレシ」(~18211214)  
1820年2月23日 03:00|アルゼンチン| ||プエルトアイレスと連邦派のあいだにピラル条約締結  
1820年2月24日-05:30|インド| ||<就任>ナワガル国統治者(ジャム・サハブ)「ランマルジ2世サージュ」(~18520222没)  
1820年3月3日 06:00|アメリカ| ||合衆国連邦議会でミズーリ協定が成立/ミズーリ州を奴隷州として編入を認めると同時にメインも自由州として連邦に編入するというもの  
1820年3月5日-01:00|ジブラルタル/イギリス| ||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「ジョン・ヒット」(~18350924死去)  
1820年3月6日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>プエルトアイレス州知事「フアン・ラモン・ゴンザレス・バルカサ」(~3. 11)  
1820年3月7日-01:00|ドイツ| ||<死去>アレンバーク公「ルートヴィヒ・エンゲルベルト」  
1820年3月7日-01:00|ドイツ| ||<即位>アレンバーク公「フロスル・ルートヴィヒ」(~18610227死去)  
1820年3月8日-09:00|日本|東京都|文政3年1月24日|<死去>北尾重政(82歳)浮世絵師(絵画のみならず書を能くした)  
1820年3月10日-01:00|スペイン| ||スペイン革命成立. 1812年憲法の復活  
1820年3月11日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>プエルトアイレス州知事「マヌエル・デ・サラテア」(~5. 2)  
1820年3月15日 06:00|アメリカ| ||<加盟>州の同意によりマチューセッツ州メイン地区が分離⇒アメリカ合衆国メイン州(23番目)  
1820年3月18日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Juan Jabat Aztal」(同日⇒主席補佐官 Evaristo Perez de Castro y Brito~18210302)  
1820年3月24日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Juan Vasco y Pascual」(~8. 7)  
1820年3月29日 04:00|トミニカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領トミニカ総督「サミュエル・フォード・ウィットینگラム」(~1821年)  
1820年3月30日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|文政3年2月17日|<交替>肥前鹿島藩25000石「鍋島直彝」隠居⇒養子「鍋島直永」が継ぐ(⇒天保10(1839)年6月4日、隠居)  
1820年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ルイジ・ジ・ヤンニニ」「マッテオ・マルテッリ」  
1820年4月1日 04:00|米領グァージン諸島/イギリス| ||<就任>セント・トマス島・セントジョン島総督「Peter Carl Frederik von Scholten」(2期目~7. 9)  
1820年4月2日-09:00|日本| ||文政3年2月20日|<死去>有栖川宮織仁親王(67歳)皇族  
1820年4月2日-09:00|日本|静岡県静岡市|文政3年2月20日|松平信圭(45歳)前駿河小島藩主  
1820年4月4日 00:00|イギリス| ||<死去>5代セルクーク伯「トマス・ダグラス」  
1820年4月4日 00:00|イギリス| ||<就任>6代セルクーク伯「ダニエル・ジェームズ・ダグラス」先代の息子(~18850411死去)  
1820年4月6日 03:00|ブラジル| ||ブラジル国内で郵便制度が発足  
1820年4月8日-02:00|ギリシャ| ||ギリシャ・ヒース大理石像がエーゲ海ミロス島で発見される  
1820年4月15日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<死去>アメリカ領ケープ・メサド 植民地代理人「サミュエル・A・クロザー」  
1820年4月15日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<就任>アメリカ領ケープ・メサド 植民地代理人代行「サミュエル・ヘーコン」(~5. 2没)  
1820年4月17日-09:00|日本|愛媛県松山市|文政3年3月5日|松山藩領浮穴郡久万町村で155軒を焼失  
1820年4月19日-09:00|日本|徳島県|文政3年3月7日|<死去>斎藤十郎兵衛(58歳)徳島藩能役者/東洲斎写楽の正体ではないかとされる人物  
1820年4月24日 06:00|アメリカ| ||アメリカ, 1820年公有地法制定  
1820年5月-05:30|インド| ||<就任>パランソル国支配者(ナワブ・バビ)「アヒット・ハンジ」(~1822年)  
1820年5月2日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<死去>アメリカ領ケープ・メサド 植民地代理人代行「サミュエル・ヘーコン」  
1820年5月2日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<就任>アメリカ領ケープ・メサド 植民地代理人代行「ダニエル・ユーカー」(~18210308)  
1820年5月2日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>プエルトアイレス州知事「イルデフォンソ・ラモス・メキア」(~6. 20)  
1820年5月2日-09:00|日本|東京都墨田区|文政3年3月20日|<大相撲>文政3年3月場所[江戸本所回向院](6日間)幕内優勝:(東大関)柏戸, 4勝0敗1分1無勝負  
1820年5月4日-09:00|日本|三重県亀山市|文政3年3月22日|<交替>伊勢亀山藩6万石「石川総佐」隠居⇒婿養子「石川総安」が継ぐ(⇒天保4(1833)年1月8日、死去)  
1820年5月6日 00:00|イギリス| ||<死去>2代リスバーン伯「ウィルモット・ウーゴン」  
1820年5月6日 00:00|イギリス| ||<就任>3代リスバーン伯「ジョン・ウーゴン」(~18310518死去)  
1820年5月7日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| ||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督代行「ジョン・W・D・ウィルソン」(2回目~18211220)  
1820年5月15日 06:00|アメリカ| ||連邦議会が、奴隷貿易を海賊行為の一つとみなす規定を制定、モンロー大統領、奴隷貿易禁止法に署名  
1820年5月15日 06:00|アメリカ| ||アメリカ, 1820年公職在任法成立  
1820年5月23日 00:00|カリヤ諸島| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Jose Angel de Soveron」(2期目~18220304)  
1820年5月23日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Juan Jose Ordovas」(~1823年)  
1820年5月24日-01:00|オーストリア/ドイツ| ||ウィーン最終議定書が調印される

1820迄 (2692件)

1820年5月27日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|文政3年4月16日|<交替>陸奥棚倉藩6万石「井上正甫」隠居⇒長男「井上正春」が継ぐ(⇒天保7(1836)年、上野館林藩に移封)  
1820年6月6日-09:00|日本| ||文政3年4月26日|幕府が、金箔・下金類の取り扱いを御金改役後藤三右衛門の一手引き受けとし、金座以外での取引を禁止  
1820年6月9日-09:00|日本|福岡県柳川市|文政3年4月29日|<死去>筑後柳河藩104200石「立花鑑寿」(52歳)⇒養子「立花鑑賢」が継ぐ(⇒文政13年4月11日(18300601)、死去)  
1820年6月11日-09:00|日本| ||文政3年5月|<出版>葛飾北斎「北斎画」  
1820年6月12日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Braithwaite Skeete」(1期目~18210418)  
1820年6月14日-03:00|スーダン/エジプト| ||エジプト軍がスーダンに侵攻し、フツ・ユ・スルタン国が滅亡  
1820年6月14日-01:00|オーストリア| ||<初演>ランツ・ペーター・シュベルト《歌劇「双子の兄弟」》  
1820年6月15日-05:30|インド| ||スルグジャが国家となる  
1820年6月15日-02:00|モルタバ/ロシア| ||<就任>ベッサリア保持者(総督権限)「イヴァン・ニキティッチ・インゾフ」(~18220717)  
1820年6月15日-02:00|ルマニア/トルコ| ||モルダヴィアをオスマン帝国が直接統治(~18221012)  
1820年6月16日-09:00|日本|大分県臼杵市|文政3年5月6日|<交替>豊後臼杵藩5万石「稲葉雍通」隠居⇒長男「稲葉尊通」が継ぐ(⇒文政4(1821)年10月17日、21歳で死去)  
1820年6月20日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>フエリアイス州暫定政府「フエリアイスカ・ルト」(~23日)  
1820年6月23日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>フエリアイス州知事「ミゲル・イタニスラオ・ソレル」(~29日)  
1820年6月29日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>フエリアイス州知事「マヌエル・ド・レゴ」(~9.20)  
1820年7月2日-01:00|イタリヤ| ||陸軍将校たちがボリで憲法制定を求める革命をひきおこす  
1820年7月3日 00:00|イギリス| ||<死去>10代スラスモア・キング・ホーン伯「ジョン・ホース」  
1820年7月3日 00:00|イギリス| ||<就任>11代スラスモア・キング・ホーン伯「トマス・ライオン・ホース」先代の弟(~18460827死去)  
1820年7月8日 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>パナマ暫定総督「フランシスコ・アギラル」(~18201228)  
1820年7月9日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督「Carl Gottlieb Fleischer」(~18220601死去)  
1820年7月10日-09:00|日本| ||文政3年6月|幕府が、江戸の砂糖問屋株(1808年発足)と大坂の江戸積砂糖仲間を禁止し、自由取引とする  
1820年7月12日-09:00|日本|岩手県盛岡市|文政3年6月3日|<死去>陸奥盛岡藩20万石「南部利敬」(39歳)⇒養子「南部利用」が継ぐ(⇒翌年8月21日(18210917)、死去)  
1820年7月12日-09:00|日本|京都府福知山市|文政3年6月3日|<交替>丹波福知山藩32000石「朽木綱方」隠居⇒6日、養子「朽木綱条」が継ぐ(⇒天保7(1836)年5月28日、死去)  
1820年7月14日-09:00|日本|東京都千代田区|文政3年6月5日|<改名>清水徳川家「徳川保之丞」⇒「徳川斉明」賄料3万俵(⇒10月15日、10万石に加増)  
1820年7月20日-03:00|スーダン/エジプト| ||<就任>エジプト領スーダン最高司令官「イスマイル・イスカンデル・アリ・カミル・パシャ王子」(~18221102)  
1820年7月20日 04:00|キュラソー/オランダ| ||<死去>オランダ植民地キュラソー総督代理「Petrus Bernardus van Starckenborgh」  
1820年7月20日 04:00|キュラソー/オランダ| ||<就任>オランダ植民地キュラソー総督代理「Isaac Johannes Rammelman Elsevier」(~11.16)  
1820年7月21日-01:00|デンマーク| ||デンマークの物理学者ハンス・エルステッドは、磁針と平行に置いた導線に電流を流すと磁針が強く振れることに気付いた/電流の磁気作用を発見  
1820年7月21日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||パナマ諸島はシエラレオネ植民地に編入され、カーカ王朝がハンパに移転  
1820年7月23日-09:00|日本|三重県亀山市|文政3年6月14日|<死去>石川総佐(26歳)前伊勢亀山藩主  
1820年7月28日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「アレクサンダー・グラント」(1度目~18210201)  
1820年8月-09:30|オーストラリア| ||インフルエンザがシドニーで流行し、多くのアボリジナルが死亡  
1820年8月4日-08:00|中国| ||清・嘉慶25年6月26日|中国・河南、許昌地震M6、死者400人  
1820年8月5日 05:00|エクアトル/スペイン| ||エスラタ地方が、スペインからの独立を宣言  
1820年8月7日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Gonzalo de Arostegui y Herrera」(~18220211)  
1820年8月11日 00:00|セネガル/フランス| ||<就任>フランス領セネガル司令官代行「ル・ケープ・エ男爵ルイ・ジャン・ル・ケープ・ド・モンテロ」(~18220228)  
1820年8月11日-09:00|日本|茨城県高萩市|文政3年7月3日|<死去>中山信敬(57歳)前常陸松岡藩主、水戸藩家老  
1820年8月15日-09:00|日本|愛媛県今治市|文政3年7月7日|<死去>松平定休(69歳)前伊予今治藩主  
1820年8月16日-01:00|オランダ| ||<就任>オランダ王国国務長官代行「スティーン・ダセヴァール」(~11.15)  
1820年8月18日-09:00|日本| ||文政3年7月10日|<死去>市河寛斎(72歳)儒学者、漢詩人  
1820年8月19日-03:00|スーダン/エジプト| ||コルトファンはエジプト・スーダンの州  
1820年8月19日-09:00|日本| ||文政3年7月11日|<死去>11代市村羽左衛門(30歳)歌舞伎役者  
1820年8月20日 05:00|ペルー| ||サン・マルティン軍がペルーへ進撃開始  
1820年8月24日 00:00|ポルトガル| ||ポルトで軍隊が反乱を起こし、王国最高統治臨時評議会が結成される  
1820年8月28日-09:00|日本| ||文政3年7月20日|幕府が草文丁銀・小玉(豆板)銀通用開始  
1820年9月2日-08:00|中国| ||清・嘉慶25年7月25日|<死去>清第7代皇帝「嘉慶帝」60歳(誕生1760年)仁宗

1820迄 (2692件)

1820年9月5日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| ||ポルトガル、ウルグアイでのアルティガスとの戦いに勝利。アルティガスはパラグアイに亡命

1820年9月7日-09:00|日本| ||文政3年8月|<完成>町人学者山片蟠桃、実学啓蒙書「夢の代」

1820年9月7日-09:00|日本| ||文政3年8月|<出版>歌川貞房「見世ものがたり」

1820年9月8日 05:00|ペルー| ||<就任>ペルー解放軍参謀長「ヨセフ・フランシスコ・デ・サン・マティン」(~18210803)

1820年9月9日-09:00|日本|東京都|文政3年8月3日|<死去>浮世絵師、勝川春亭/51歳(春英の門人、武者絵・役者絵)

1820年9月11日-09:00|日本|兵庫県三田市|文政3年8月5日|<死去>九鬼隆邑(94歳)前摂津三田藩主

1820年9月15日 00:00|ポルトガル| ||リスボンで蜂起によって臨時政府が樹立され、リスボン聖堂の主席司祭フレイト・ア・ノヴァが首班になる

1820年9月15日-09:00|日本| ||文政3年8月9日|<死去>岡田米山人(77歳)画家

1820年9月19日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|文政3年8月13日|<死去>伊達村芳(43歳)前伊予吉田藩主

1820年9月20日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>ブエノスアイレス州知事「マルティン・ロドリゲス」(~18240402)

1820年9月23日-03:00|スーダン/エジプト| ||ムハンマド・アリ率いるエジプトがスーダンのドンガラ征服

1820年9月25日-01:00|フランス| ||アンペールは電流の間に働く力を発見し、その結果をパリ科学アカデミーへ報告

1820年9月28日 05:00|バハマ/イギリス| ||<就任>バハマ植民地総督「リス・ケラント」(1回目~18250517)

1820年9月28日-09:00|日本| ||文政3年8月22日|<死去>貞子女王(71歳)伏見宮貞建親王の王女、徳川重好の正室

1820年10月1日-08:00|インドネシア| ||<死去>マタラム王国スルタン「Pakubuwono4世」

1820年10月1日-08:00|インドネシア| ||<即位>マタラム王国スルタン「Pakubuwono5世」(~18230905死去)

1820年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ガミッロ・ボネリ」(マリノ・ベリイ)

1820年10月2日 05:00|ハイチ| ||サンマルクの第八連隊が反乱

1820年10月2日-09:00|日本|群馬県安中市|文政3年8月26日|<死去>上野安中藩3万石「板倉勝尚」(36歳)⇒10月27日、長男「板倉勝明」が継ぐ(⇒安政4(1857)年4月10日、死去)

1820年10月3日-08:00|中国| ||清・嘉慶25年8月27日|<即位>清皇帝「宣宗道光帝旻寧」(~18500225)

1820年10月7日-08:00|中国| ||清・嘉慶25年9月|東トルキスタンでジャハーンギールの反乱

1820年10月7日-09:00|日本| ||文政3年9月1日|<死去>2代杵屋正次郎(不明)長唄三味線方

1820年10月8日 05:00|ハイチ| ||<死去>ハイチ王国黒人皇帝「クリストフ」53歳(誕生17671006)王国消滅

1820年10月9日 05:00|エクアドル/ペルー| ||グアヤキルで、独立派と軍の一部による独立をめざす反乱成功、ペルー軍の駐屯部隊を駆逐/ペルーバルとサンマルチンの保護下による独立を宣言/市民評議会の議長にはホルメドが就任

1820年10月9日 06:00|カタール| ||カタールで、ケープ・ブレトン植民地が、ノヴァスコシアに併合される

1820年10月10日 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ・スルタン「イブラヒム・イブン・ヤズィード」(ファスとタトゥアンで反乱)」(~18210315)

1820年10月10日-09:00|日本| ||文政3年9月4日|<死去>浦上玉堂(76歳)画家

1820年10月18日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>アゾレス諸島総司令官「Francisco de Borja Garcao Stockler」(1回目~18210521)

1820年10月23日-09:00|日本|奈良県奈良市|文政3年9月17日|<死去>大和柳生藩1万石「柳生俊豊」(31歳)⇒11月8日、長男「柳生俊章」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年11月14日、隠居)

1820年10月24日 05:00|ペルー| ||サンマルチン、ペルー新共和国の国旗と紋章を制定

1820年10月26日 05:00|ハイチ| ||ハイチでボワエ大統領が北部を併合し、南北統一がなる

1820年10月26日-09:00|日本|東京都|文政3年9月20日|<死去>窪俊満(64歳)狂歌師、浮世絵師/北尾重政の門人、狂歌を宿屋飯盛に学び狂名を南陀伽紫蘭と称し、文才あり青本を作り同じく南陀伽紫蘭と署す

1820年10月31日 05:00|ペルー| ||アレナレス隊、高原地帯に入りウアマंगाの町を占拠

1820年11月-03:00|スーダン/エジプト| ||<就任>エジプト領スーダン司令官「Isma'il Kamel Pasha」(~1821年)

1820年11月3日 05:00|エクアドル| ||グアヤキルに続き、ケンカもスペインからの独立を宣言

1820年11月4日-04:00|モリシャス/イギリス| ||<就任>イギリスのロドリゲス島司令官「トマス・ロバート・ハイ」(~18230531)

1820年11月4日-03:00|スーダン/エジプト| ||ムハンマド・アリ率いるエジプトがスーダンのシャイキヤ征服

1820年11月4日 05:00|ペルー| ||コレイン提督、カリヤオ港に侵入し、フリゲート艦エスメラルダ号の乗っ取りに成功

1820年11月6日 04:00|フォークランド/イギリス| ||<就任>イギリス領フォークランド諸島司令官・総督「デヴィッド・Jewett」(~1821.2)

1820年11月6日-09:00|日本| ||文政3年10月|<出版>北溪「新居狂歌合」

1820年11月9日 05:00|エクアドル| ||レオン・デ・フェブレスの率いる独立軍、「カミノ・レアル」の闘いで王党派に勝利

1820年11月16日 00:00|南極/イギリス/アメリカ| ||アメリカのナタニエル・ブラウン・パーマー大尉によってパーマーランドが発見された

1820年11月16日 04:00|キューソー/オランダ| ||<就任>オランダ植民地キューソー知事「Paulus Roeloff Cantz' laar」(~1828.5)

1820年11月17日 06:00|カタール| ||アメリカのナタニエル・パーマー、アザラシを捜しホルアン海峡に入る。海峡の一方の陸地は南極本土で「南極大陸の最初の発見」とされている。パーマーランドと命名

1820年11月18日-09:00|日本|京都府綾部市|文政3年10月13日|<死去>丹波山家藩1万石「谷衛弥」(24歳)⇒養子「谷衛防」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年9月5日、隠居)

1820年11月20日-09:00|日本|東京都千代田区|文政3年10月15日|<加増>清水徳川家3万俵「徳川斉明」⇒10万石(⇒文政10(1827)年6月10日、死去)

1820年11月21日 00:00|イギリス| ||<死去>初代マームズベリー伯「ジェームズ・ハリス」

1820年11月21日 00:00|イギリス| ||<就任>2代マームズベリー伯「ジェームズ・エドワード・ハリス」(~18410910死去)

1820年11月22日 05:00|エクアドル| ||トゥングラウア近郊ウチの闘い、リス・ウルタネーダの率いる独立軍はフランス・ゴンサレスの率いる王党派軍に大敗

1820迄 (2692件)

1820年11月23日-09:00|日本|愛知県犬山市|文政3年10月18日|<死去>成瀬正典(79歳)前尾張犬山藩主、尾張藩家老

1820年11月24日-09:00|日本|東京都港区|文政3年10月19日|<大相撲>文政3年10月場所[江戸山王御旅所茅場町薬師](10日間)幕内優勝:(西大関)玉垣, 7勝1敗1無勝負1休

1820年11月26日 05:00|コロンビア| |||反攻開始以来の政府軍指揮官モリヨ將軍, 本国の指示によりボリーバルと停戦/トルヒーヨでボリーバルと休戦条約締結

1820年11月29日 05:00|ペルー| |||サンマルチン, 7万の人口を擁するウアイヌ県の解放に成功

1820年12月-09:30|オーストラリア| |||グリーンウェイ設計のウインザーのセント・マシューズ教会完成

1820年12月1日 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<就任>ベネズエラ県総督兼総司令官「Miguel de La Torre y Pando」(~18210624)

1820年12月3日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「モテットII世」》

1820年12月6日 05:00|ペルー| |||アレナス軍, ハウハを落としパスコの王党軍を撃破. オライー將軍らを逮捕. ウアラへの連絡路を確保

1820年12月6日 06:00|アメリカ| |||ジェームズ・モンロー(62)が、圧倒的な支持のもとアメリカ大統領に選出される

1820年12月11日-01:00|スペイン| |||スペイン、永代所有財産制廃止

1820年12月20日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>グリクアラント・ウェスト酋長(カフ・ティンス)「アント・リース・ウォーターボーン」(~18521213)

1820年12月20日 05:00|エクアドル| |||マリア・バスケス・デ・ノボアの率いる独立軍, アスアイ近郊ベルデ・ロマの闘いでゴンサレス軍に敗れる

1820年12月28日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ペドロ・ルイス・デ・ポラス」(~18210802没)

1820年12月29日-08:00|インドネシア| |||インドネシア、スラウェシ島で地震(M7.5)死者400~500人

1820年12月29日 05:00|ペルー| |||トルヒーヨ県知事トレ・タグレ, 王党派の反対を押切りサンマルチン政府への合流を決定. チャンカイ以北の北部海岸地帯はすべてサンマルチン軍の手に落ちる